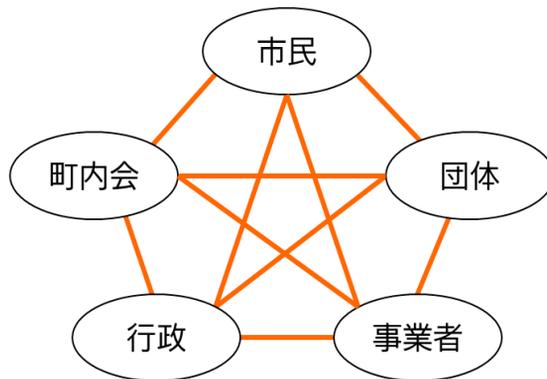


2024（令和6）年度 「協働のまちづくり」アンケート調査結果報告書



異なる立場の人が、同じ目的のため、
それぞれの特性を生かして、協力して
取り組むこと

= 協働

2025年2月

郡山市市民部市民・NPO活動推進課

目 次

I	調査の概要	…	1
II	集計結果（全体概要）	…	3
III	集計結果（無作為抽出した市民）	…	11
	1 集計結果	…	11
	2 主な年代別・地域別集計結果（クロス集計）	…	22
IV	集計結果（町内会）	…	37
	1 集計結果	…	37
	2 主な地域別集計結果（クロス集計）	…	52
V	集計結果（市民活動団体）	…	68
VI	集計結果（事業者）	…	81
VII	調査票	…	92

I 調査の概要

1 調査目的

第三次郡山市協働推進基本計画（計画期間2026（令和8）年度～2033（令和15）年度）の策定にあたり、社会のニーズに適合した施策等の作成の参考とするため、市民、町内会、市民活動団体及び、事業者の協働のまちづくりに関する意見や課題を捉えることを目的とする。

2 調査の設計・回収結果

	市民	町内会
調査対象	郡山市内にお住まいの満18歳以上の方	郡山市内にある全ての町内会・自治会
標本数	1,500人(男性750人、女性750人)	659件 (2024(令和6)年7月24日時点)
抽出方法	住民基本台帳(2024(令和6)年7月1日現在)からの年代、地域の人口比を考慮した無作為抽出	
調査方法	郵送による調査票の配布・回収、インターネットでの回答	郵送による調査票の配布・回収、インターネットでの回答
調査期間	2024(令和6)年7月24日～8月23日(31日間)	2024(令和6)年7月24日～8月23日(31日間)
有効回収数	<u>713人</u>	<u>511件</u>
有効回収率	<u>47.5%</u>	<u>77.5%</u>

	市民活動団体	事業者
調査対象	郡山市市民活動サポートセンター登録団体・個人	郡山市内に本店または支店がある事業者
標本数	358件(団体300、個人58) (2024(令和6)年8月1日時点)	300事業者
抽出方法		法人市民税台帳からの無作為抽出
調査方法	郵送による調査票の配布・回収、インターネットでの回答	郵送による調査票の配布・回収、インターネットでの回答
調査期間	2024(令和6)年8月1日～9月30日(61日間)	2024(令和6)年7月24日～8月23日(31日間)
有効回収数	<u>117件</u>	<u>127件</u>
有効回収率	<u>32.7%</u>	<u>42.3%</u>

3 見方と注意事項

- (1) 「n=〇〇」は回答数を表しています。
- (2) 集計結果の百分率(%)は、小数点第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100.0%にならない場合があります。
- (3) 複数回答の場合、回答者総数に対する割合を表示しているため、構成比の合計が100.0%を超える場合があります。
- (4) 集計結果のグラフは、質問項目や回答の選択肢の言葉を短縮している場合があります。
- (5) クロス集計は、回答数が少ない場合があります、統計的に有意な分析が困難なものがあります。

第二次郡山市協働推進基本計画については、以下のウェブサイトからご覧いただけます。

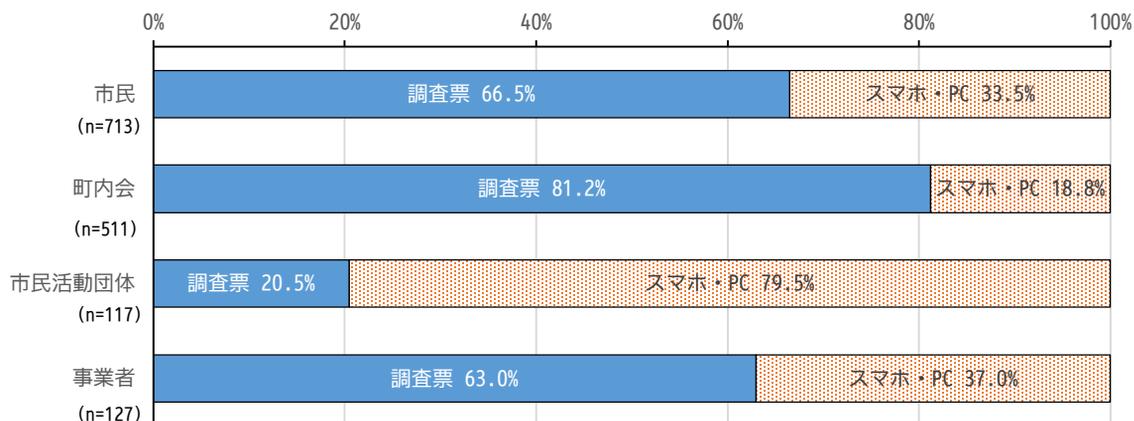
URL : <https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/33/4931.html>

二次元バーコード :

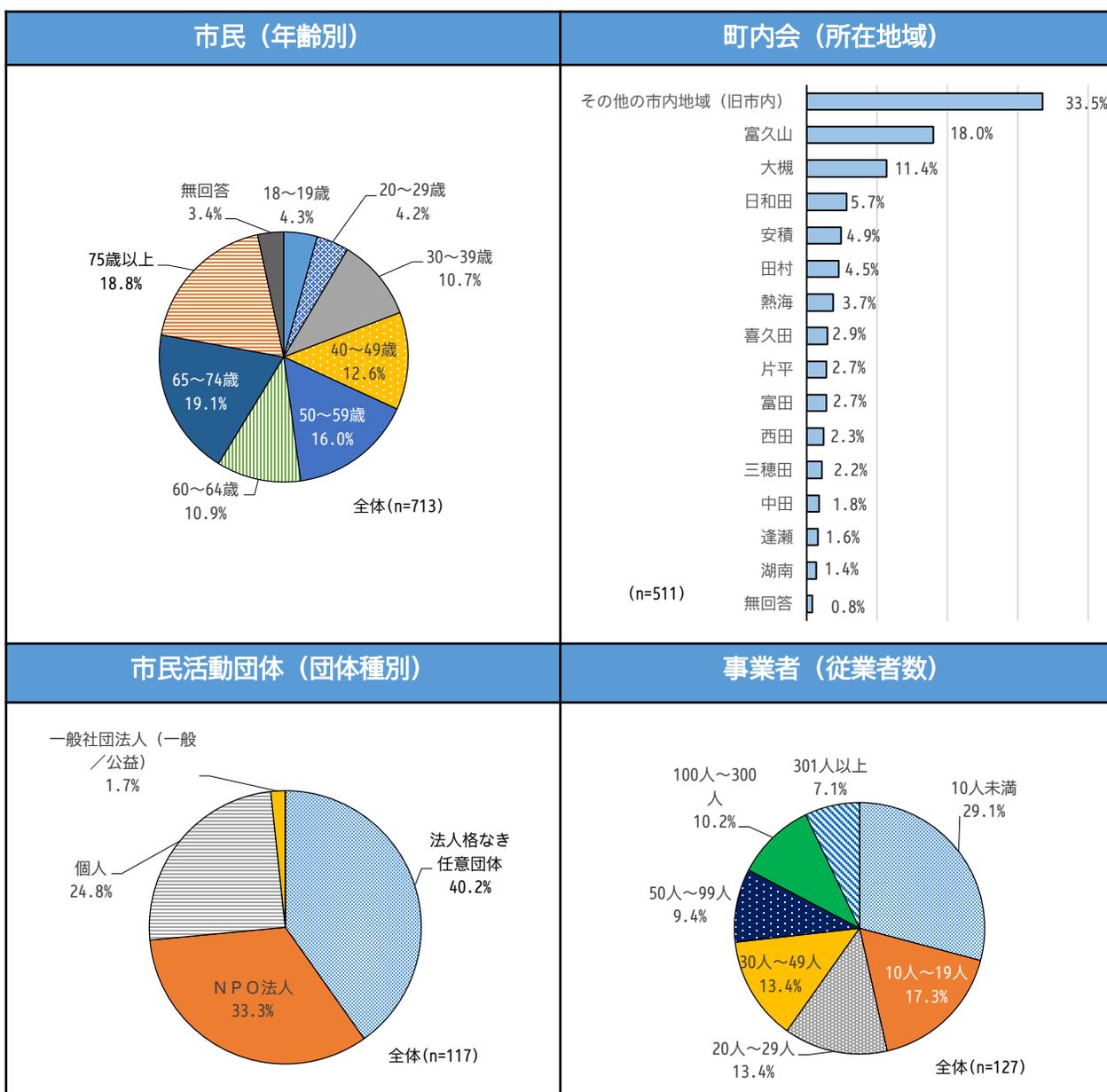


Ⅱ 集計結果〈全体概要〉

◆ 回答方法別

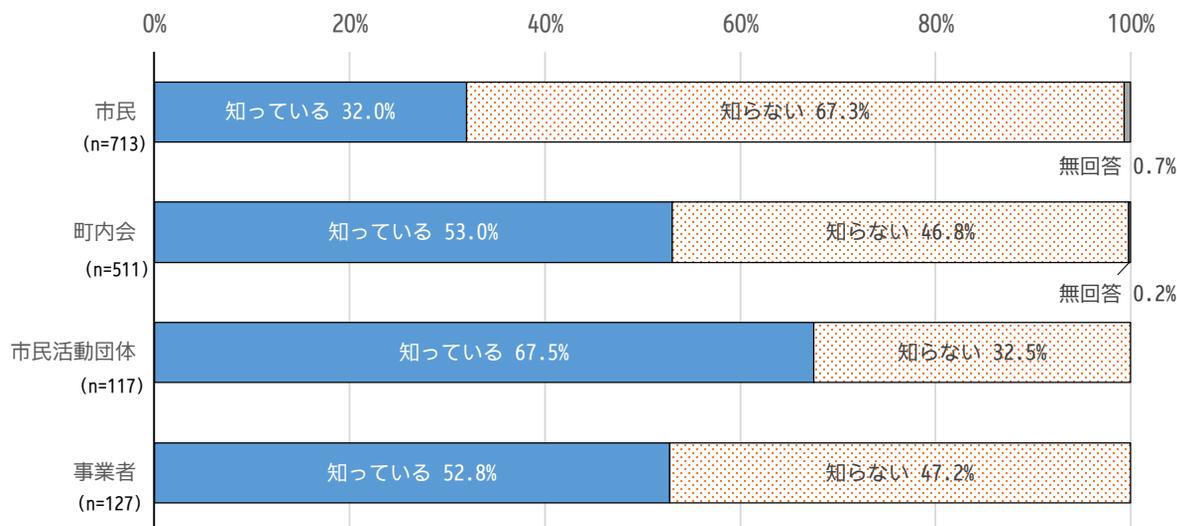


◆ 回答者の主な属性



「郡山市の出生数：1985(昭和60)年4,000人超→2022(令和4)年2,000人割る」
このことをご存知でしたか？

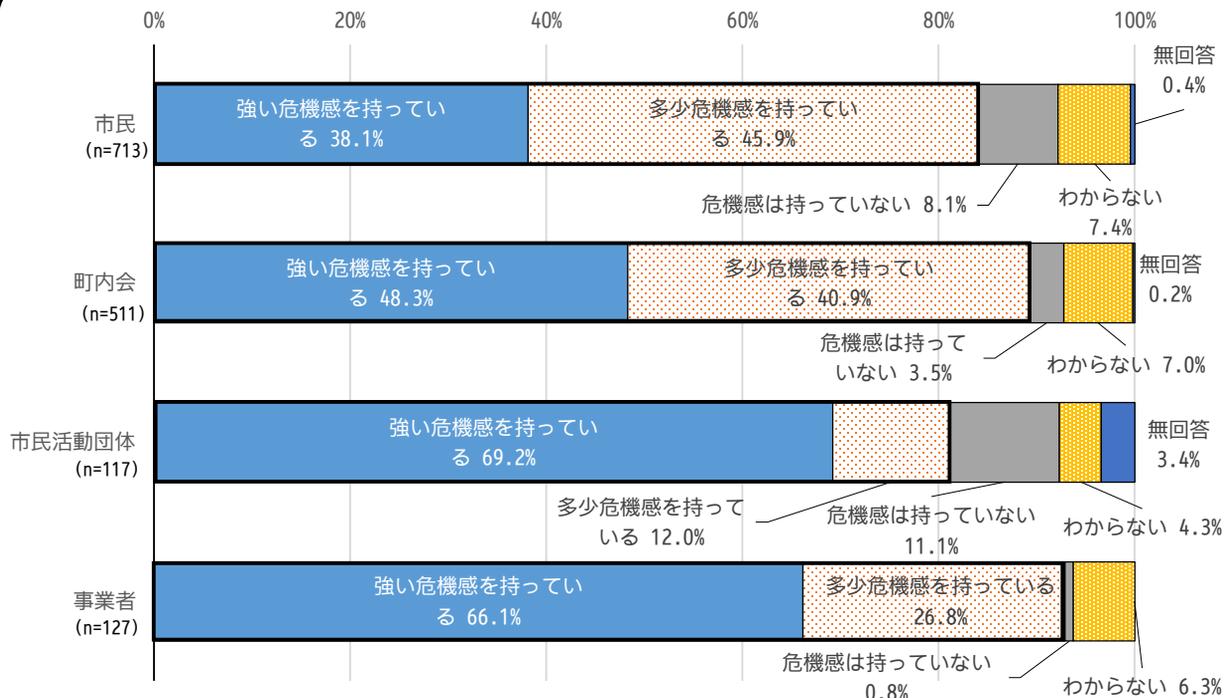
「知っている」と回答しているのが、市民活動団体が7割弱に対し、市民は3割程度です。



推測 具体的な数字までは知らないで「知らない」と回答した可能性があります。

少子高齢化・人口減少をどう受け止めていますか？

すべての団体・個人で、8割以上が危機感を持っています。

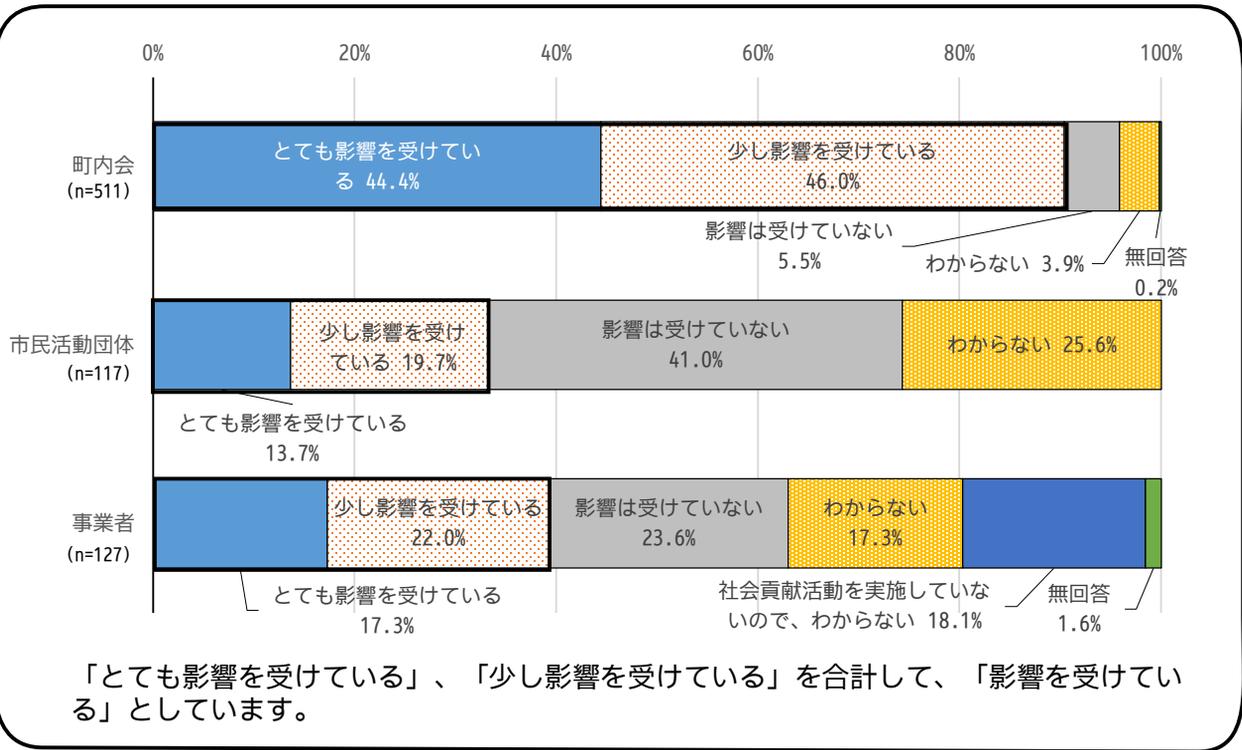


「強い危機感を持っている」、「多少危機感を持っている」を合計して、「危機感を持っている」としています。

推測 このアンケートに回答することで、初めて危機感を持った人もいます。

少子高齢化・人口減少の影響を受けていますか？（市民除く）

「影響を受けている」と回答しているのが、市民活動団体が3割に対し、町内会が9割です。



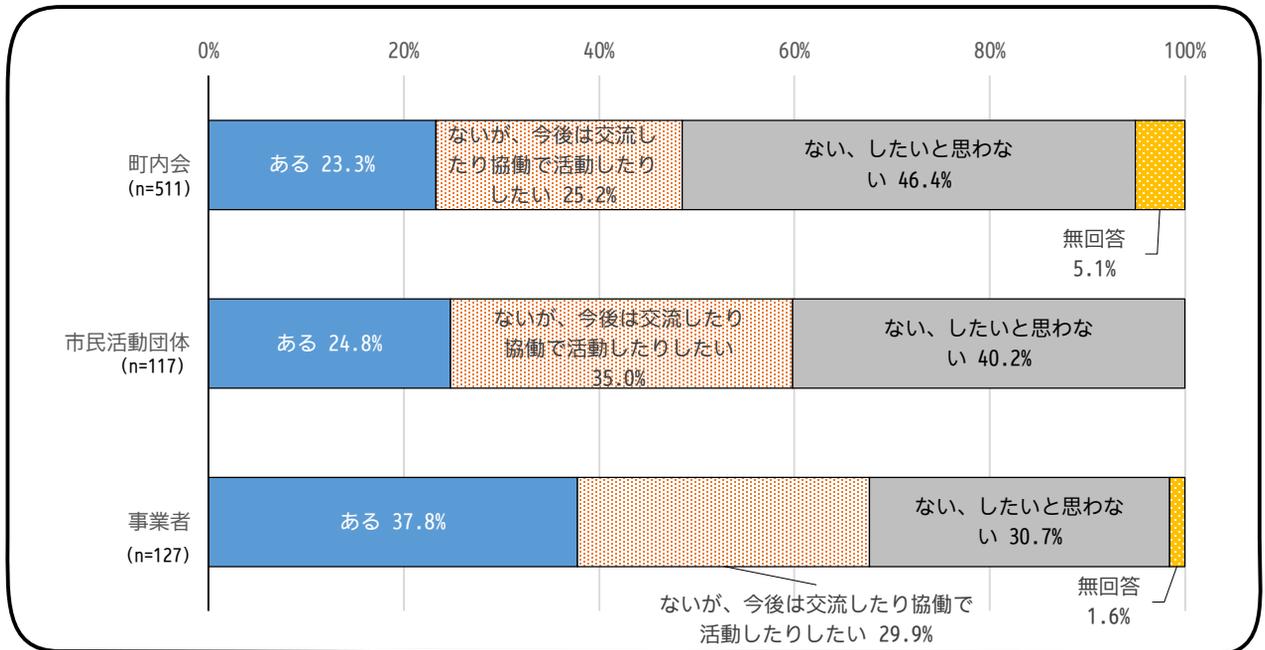
少子高齢化・人口減少の影響を「とても受けている」「少し受けている」と回答した場合、具体的にどのような影響を受けていると感じますか？（複数選択可）

各団体のトップ5

	町内会 (n=462)	市民活動団体 (n=39)	事業者 (n=50)
1位	参加者・会員で高齢者が多い (92.0%)	参加者・会員が少ない (46.1%)	若者の参加者が少ない (70.0%)
2位	若者の参加者が少ない (68.8%)	参加者・会員で高齢者が多い (30.7%)	参加者が少ない (32.0%)
3位	住民の関心が低い (55.2%)	若者の参加者が少ない (20.5%)	参加者で高齢者が多い (30.0%)
4位	参加者・会員が少ない (52.8%)	十分な事業ができない (15.3%)	住民の関心が低い (16.0%)
5位	十分な事業ができない (23.2%)	十分な事業費がまかなえない (10.2%)	十分な事業ができない (14.0%)

他の団体や行政（市）と交流したり 協働で活動したりしたことはありますか？（市民除く）

「ある」と回答しているのが、事業者が4割弱に対し、町内会が2割強です。



交流や協働で活動したことが「ある」と回答した場合
交流や協働のきっかけとなった要因は何ですか？（複数選択可）

各団体のトップ5

	町内会 (n=119)	市民活動団体 (n=29)	事業者 (n=48)
1位	行政・サポートセンターからの紹介 (37.0%)	団体や企業が集まるイベントで知り合った (75.9%)	団体や企業が集まるイベントで知り合った (39.6%)
2位	知人や会員に教えてもらった (13.4%)	行政・サポートセンターからの紹介 (65.5%)	知人や社員に教えてもらった (22.9%)
3位	団体や企業が集まるイベントで知り合った (12.6%)	SNSを見て (41.4%)	知人に（から）連絡 (16.7%)
4位	ウェブサイトを見て (11.8%)	新聞、広報誌、チラシを見て (6.9%)	行政・サポートセンターからの紹介 (12.5%)
5位	新聞、広報誌、チラシを見て (10.9%)	知人や会員に教えてもらった (6.9%)	ウェブサイトを見て (12.5%)

交流や協働で活動したことが「ない、したいと思わない」と回答した場合

交流や協働しない（したくない）理由は何ですか？（複数選択可）

各団体のトップ5

	町内会 (n=237)	市民活動団体 (n=47)	事業者 (n=39)
1位	手間が増えそう (55.7%)	自分たちで活動できている (46.8%)	手間が増えそう (28.2%)
2位	協働の効果が分からない (30.8%)	手間が増えそう (34.0%)	きっかけがない (25.6%)
3位	自分たちで活動できている (23.6%)	協働の効果が分からない (31.9%)	協働の効果が分からない (25.6%)
4位	他の団体知らない (22.4%)	他の団体知らない (14.9%)	他の団体知らない (20.5%)
5位	きっかけがない (15.6%)	きっかけがない (6.4%)	自分たちで活動できている (15.4%)

交流や協働で活動したことが「ある」「したことがないが今後したい」と回答した場合

交流や協働した(したい)相手先はどういった団体ですか？（複数選択可）

各団体のトップ5

	町内会 (n=248)	市民活動団体 (n=70)	事業者 (n=86)
1位	町内会などの地縁団体 (46.4%)	市民活動団体 (45.7%)	行政（国・県・市） (53.5%)
2位	市民活動団体 (44.0%)	町内会などの地縁団体 (27.1%)	商工会議所・商工会 (41.9%)
3位	行政（国・県・市） (35.1%)	民間企業 (20.0%)	学校 (33.7%)
4位	社会福祉法人 (30.2%)	行政（国・県・市） (10.0%)	町内会などの地縁団体 (29.1%)
5位	学校 (28.2%)	学校 (7.1%)	市民活動団体 (24.4%)

交流や協働で活動したことが「ある」「したことがないが今後したい」と回答した場合
交流や協働した（今後したい）理由は何ですか？（複数選択可）

各団体のトップ5

	町内会 (n=248)	市民活動団体 (n=70)	事業者 (n=86)
1位	同じ地域で活動する団体 とつながりたい (50.8%)	違う分野の団体と協働し 課題解決したい (54.3%)	同じ地域で活動する団体 とつながりたい (50.0%)
2位	いろいろな団体と情報交 換したい (38.3%)	資金面でメリットがある (44.3%)	いろいろな団体と情報交 換したい (46.5%)
3位	うまくいっている団体か ら学びたい (34.7%)	同じ地域で活動する団体 とつながりたい (32.9%)	同じ分野の団体とつなが りたい (29.1%)
4位	同じ分野の団体とつなが りたい (25.4%)	同じ分野の団体とつなが りたい (25.7%)	うまくいっている団体か ら学びたい (19.8%)
5位	違う分野の団体と協働し 課題解決したい (24.6%)	うまくいっている団体か ら学びたい (20.0%)	違う分野の団体と協働し 課題解決したい (15.1%)

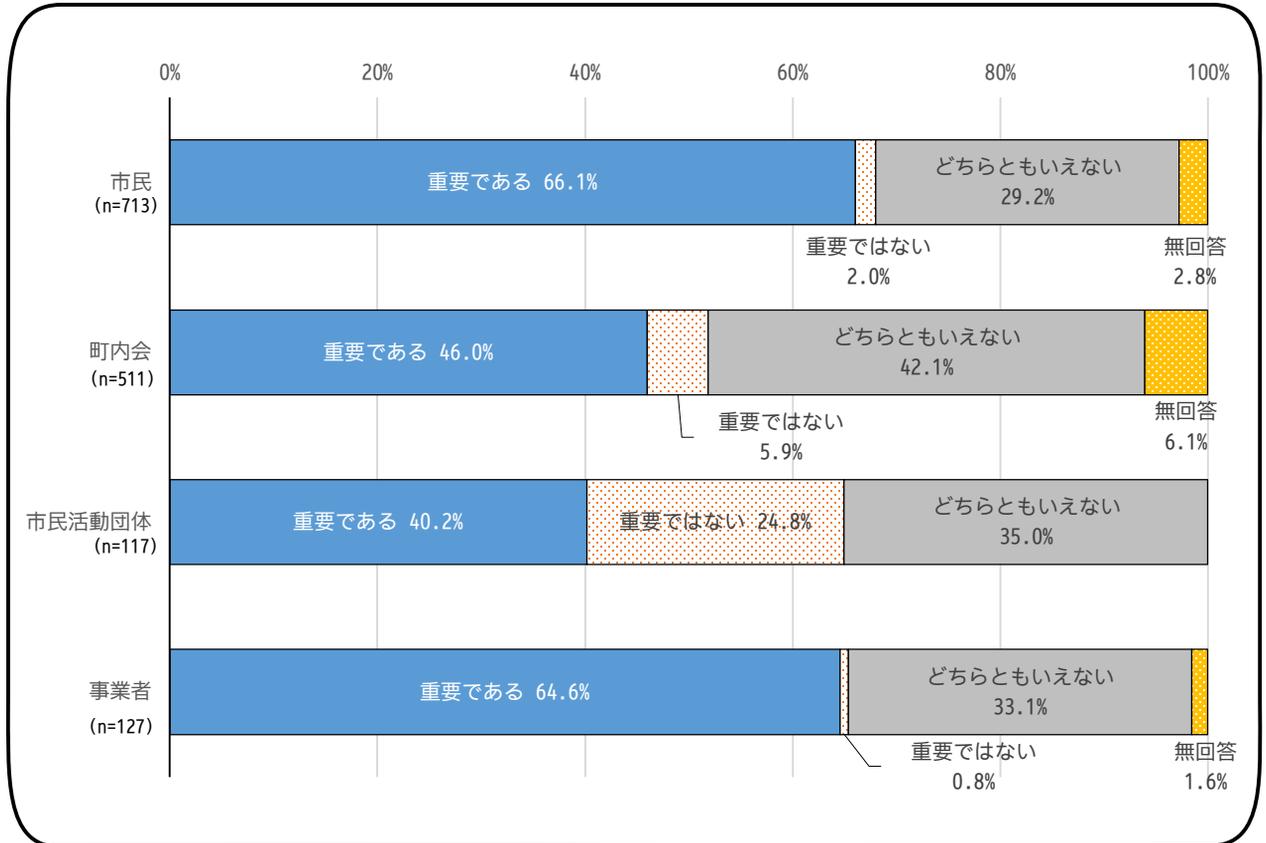
交流や協働で活動したことが「ある」「したことがないが今後したい」と回答した場合
交流や協働するうえで相手に求めるものは何ですか？（複数選択可）

各団体のトップ5

	町内会 (n=248)	市民活動団体 (n=70)	事業者 (n=86)
1位	活動の目的や内容に賛同 できる (67.3%)	活動の目的や内容に賛同 できる (62.9%)	活動の目的や内容に賛同 できる (72.1%)
2位	地域住民と密接な関係を 有している (54.0%)	活動理念が明確 (48.6%)	活動理念が明確 (51.2%)
3位	活動理念が明確 (38.7%)	地域住民と密接な関係を 有している (20.0%)	地域住民と密接な関係を 有している (38.4%)
4位	情報公開している (18.5%)	自団体のPRが期待できる (18.6%)	情報公開している (27.9%)
5位	資金が十分にある (6.5%)	情報公開している (1.4%)	自団体のPRが期待できる (24.4%)

今後のまちづくりにおいて「協働」が重要だと思いますか？

「重要である」と回答しているのが、市民が7割弱に対し、市民活動団体が4割です。



協働のまちづくりの推進のため
行政が取り組むべきことは何ですか？（複数選択可）

各団体・個人のトップ5

	市民 (n=713)	町内会 (n=511)	市民活動団体 (n=117)	事業者 (n=127)
1位	相談機能の充実 (36.7%)	相談機能の充実 (41.3%)	インターネット・SNSで情報発信・共有 (40.2%)	インターネット・SNSで情報発信・共有 (46.5%)
2位	インターネット・SNSで情報発信・共有 (33.7%)	市民活動・協働事例の提供 (37.2%)	サポートセンターの充実 (33.3%)	団体との交流・連携機会の提供 (42.5%)
3位	市民活動・協働事例の提供 (27.8%)	団体との交流・連携機会の提供 (28.8%)	市民活動への参加の働きかけ (31.6%)	市民活動・協働事例の提供 (41.7%)
4位	学校での協働教育 (23.3%)	サポートセンターの充実 (27.8%)	学校での協働教育 (20.5%)	学校での協働教育 (31.5%)
5位	市民活動への参加の働きかけ (22.4%)	協働に役立つセミナー、講座 (25.8%)	ｸﾗﾌﾞなどの民間資金の活用 (18.8%)	協働に役立つセミナー、講座 (29.9%)

Ⅲ 集計結果（無作為抽出した市民）

1 集計結果

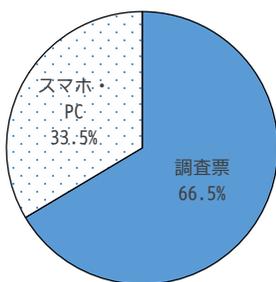
調査の設計

- ◆ 調査対象：郡山市内にお住まいの満18歳以上の方
- ◆ 標本数：1,500人(男性750人、女性750人)
- ◆ 抽出方法：住民基本台帳(令和6年7月1日現在)からの年代、地域の人口比を考慮した無作為抽出
- ◆ 調査方法：郵送による調査票の配布・回収、インターネットでの回答
- ◆ 調査期間：2024(令和6)年7月24日～8月23日(31日間)
- ◆ 調査項目：①回答者の属性について…5問
②市民活動について…9問
③協働のまちづくりについて…5問

回収結果・回答者の属性

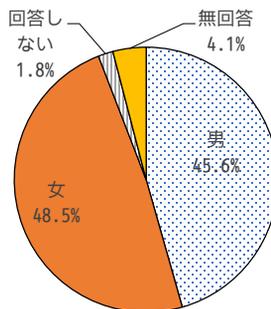
- ◆ 発送数：1,500件
- ◆ 有効回収数：713件
- ◆ 有効回収率：47.5%

◆ 回答方法別



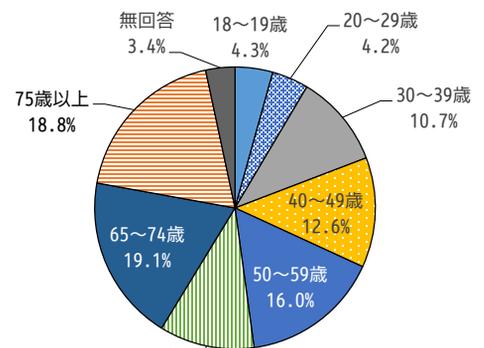
全体(n=713)

◆ 性別（問1）



全体(n=713)

◆ 年齢別（問2）

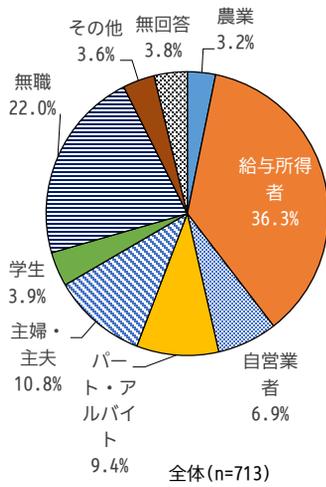


全体(n=713)

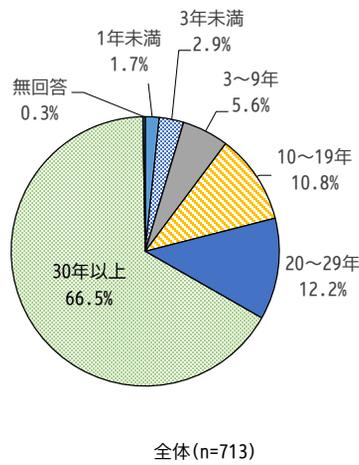
※構成比は、端数を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

回答者の属性

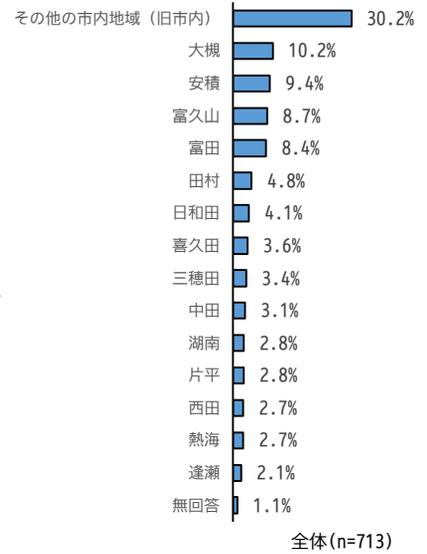
◆ 職業別 (問3)



◆ 居住年数 (問4)

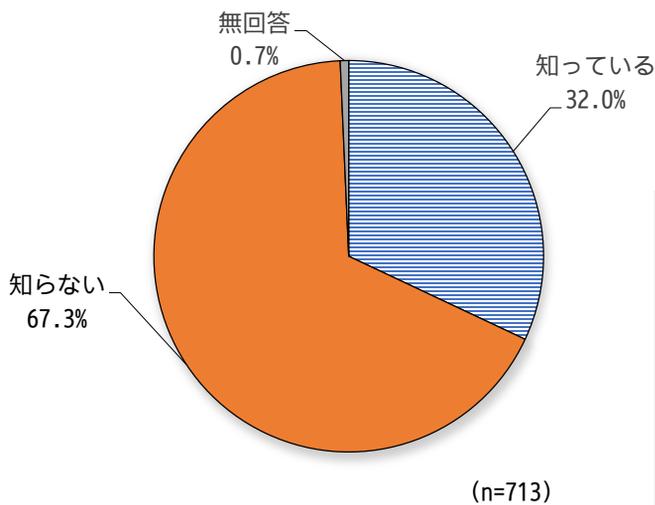


◆ 居住地域 (問5)

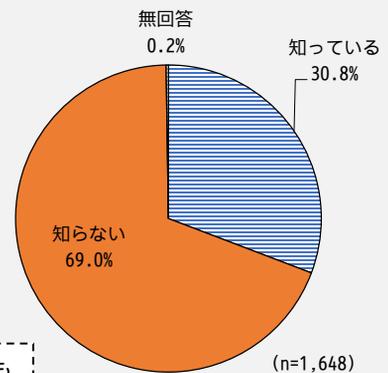


問6 「郡山市の出生数：1985(昭和60)年4,000人超→2022(令和4)年2,000人割る」
このことをご存知でしたか？

3割強の方が「知っている」と回答しています。



2024(令和6)年度セーフコミュニティ課
市民意識調査結果

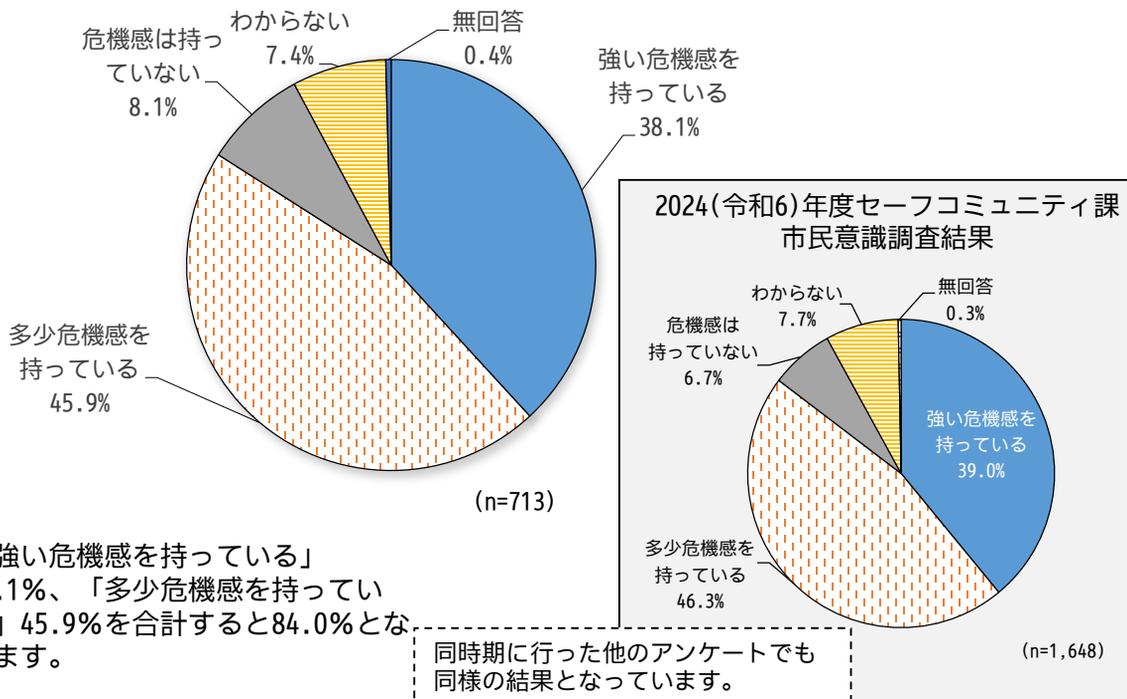


同時期に行った他のアンケートでも
同様の結果となっています。

問7

少子高齢化・人口減少をどう受け止めていますか？

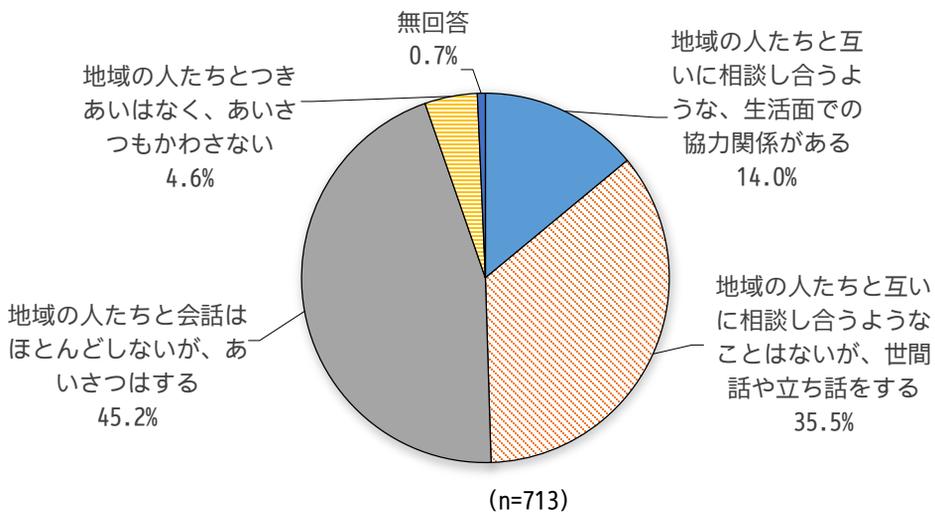
8割強の方が「危機感を持っている」と回答しています。



問8

地域でのつきあいで、もっとも近いものはどれですか？

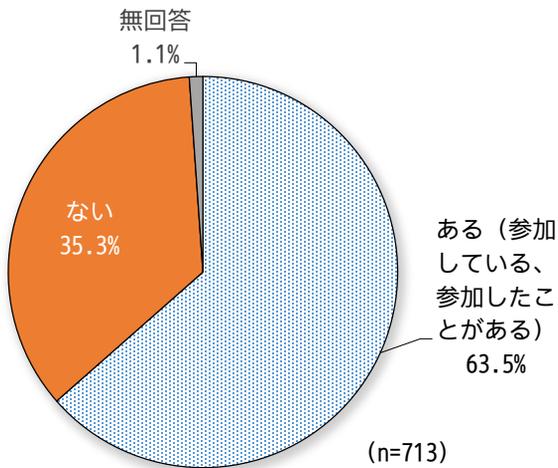
半数の方が地域の人たちと会話以上のつきあいがあると回答しています。



問9

町内会などの地域活動やNPO活動などの市民活動に参加したことがありますか？

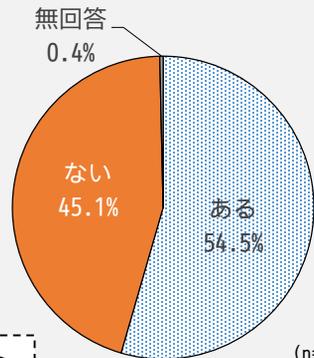
6割強の方が「参加したことがある」と回答しています。



(n=713)

前回の計画策定時のアンケートと比較しています。

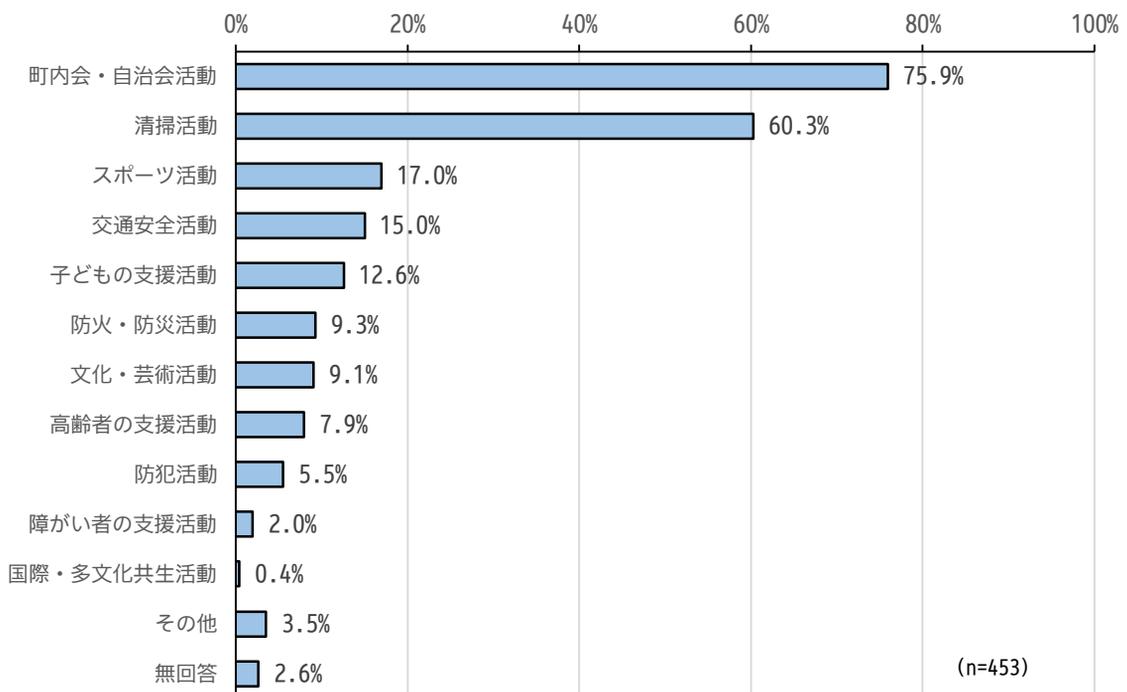
2016(平成28)年度協働のまちづくり市民意識調査結果



(n=844)

問9で、地域活動や市民活動に参加したことが「ある」と回答した方について参加している(した)活動は何ですか？(複数選択可)

8割弱の方が「町内会・自治会活動」と回答しています。



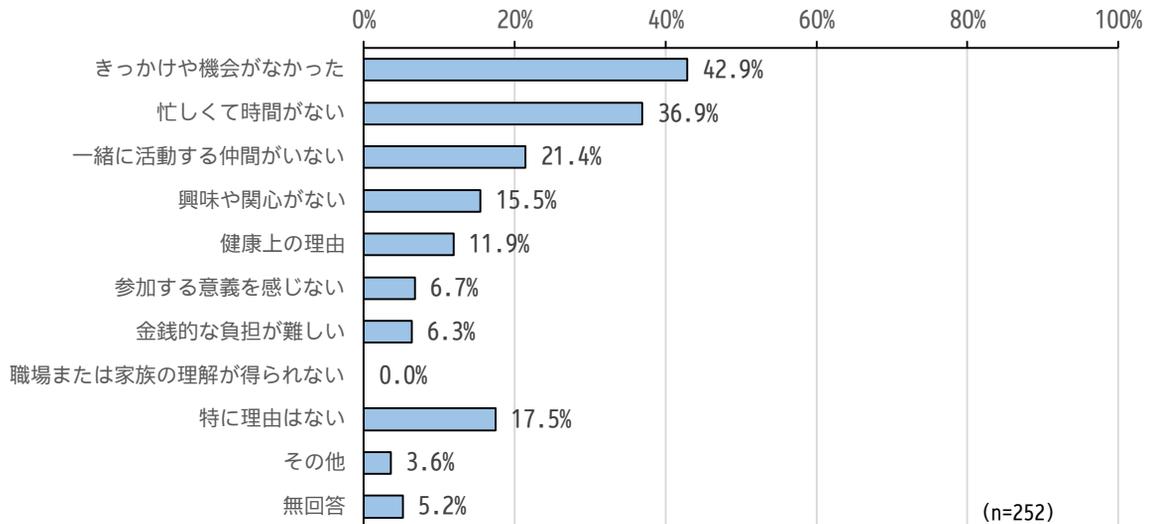
(n=453)

【その他】の主な内容

- PTA活動 育成会 (50代・女性)
- 商工会・女性部活動 (65歳～74歳・女性)

問9で、地域活動や市民活動に参加したことが「ない」と回答した方について
参加したことがない理由は何ですか？（複数選択可）

4割強の方が「きっかけや機会がなかった」と回答しています。



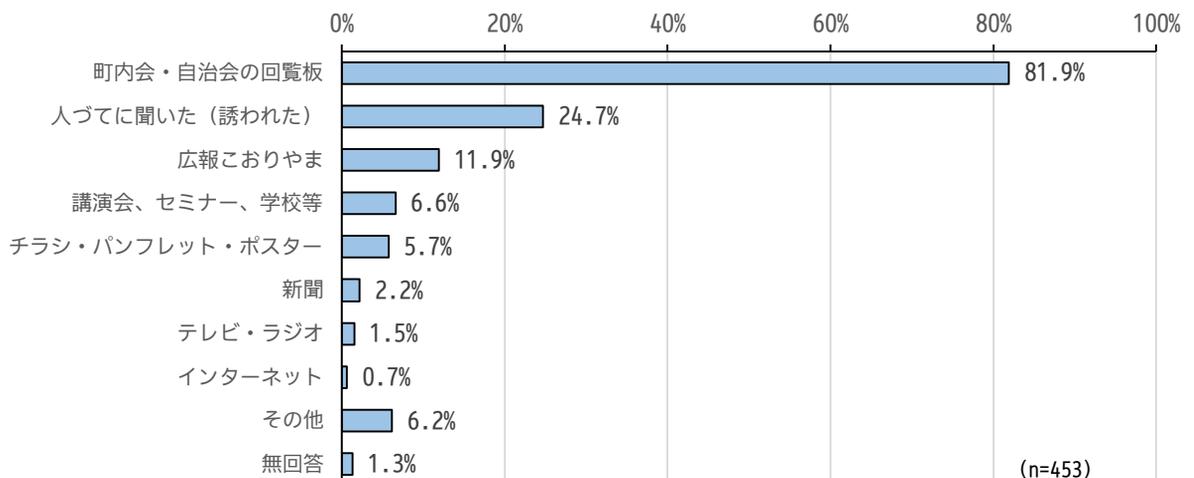
【その他】の主な内容

- 土日の活動が多いが、土日出勤の職業なので参加できない。（30代・女性）
- いつどうやってどんな人が参加するものか分からない。興味を持って平日実施で仕事と被って参加できなかったり、子連れ向けだったり（いま子供いないので）ということがあった。（20代・女性）

問10

問9で、地域活動や市民活動に参加したことが「ある」と回答した方について
参加している(した)活動は何で知りましたか？（複数選択可）

8割強の方が「町内会・自治会の回覧板」と回答しています。



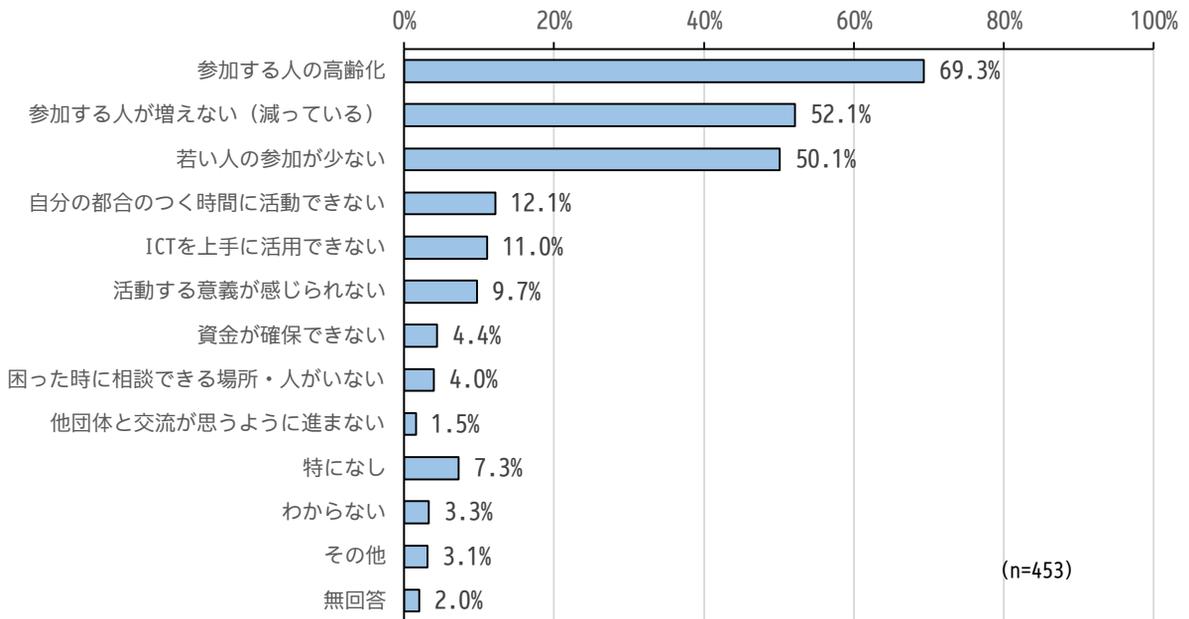
【その他】の主な内容

- 自宅前に幼稚園があり声掛けして頂いた（65～74歳・女性）
- 地区の集会にて（60～64歳・男性）

問11

問9で、地域活動や市民活動に参加したことが「ある」と回答した方について
 どのような点が課題や不安、不満に感じましたか？ (複数選択可)

7割弱の方が「参加する人の高齢化」に課題や不安を感じています。



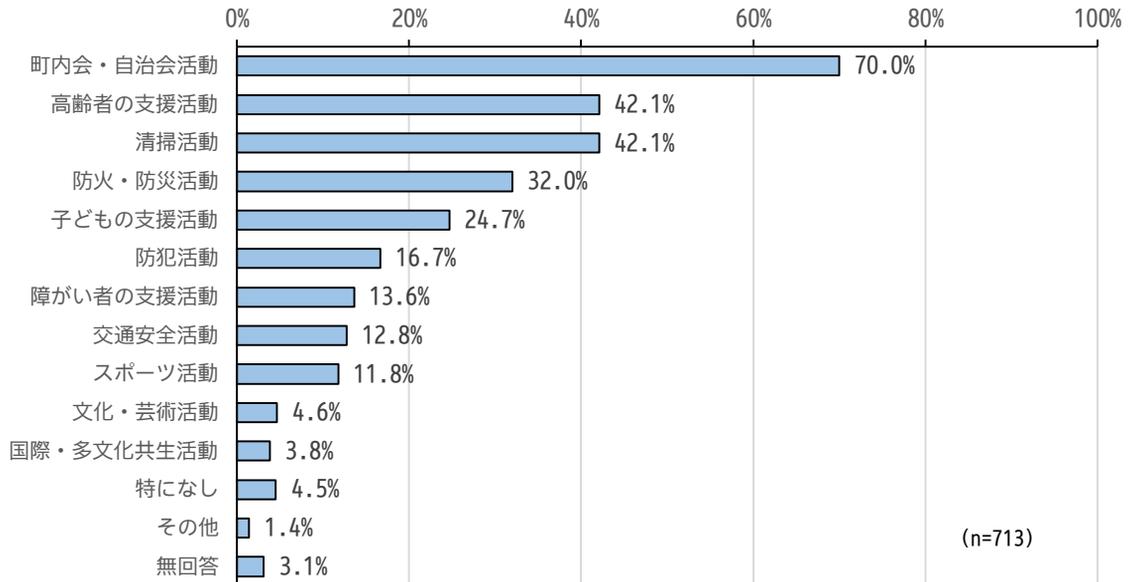
【その他】の主な内容

- 少子化や震災やコロナ化の影響により、活動が無くなってしまった。我が子にもやって欲しかったのに現在は何も地域での楽しみがない。(20代・女性)
- 数年前、育成会の会員を増やすべく積極的に活動したら、他の父兄から来年度の役員が大変だから、手間を増やすな。活動を減らせと苦情があった。(50代・女性)

問12

少子高齢化・人口減少が進む中で、今後、活動が困難、または負担が増えると思われる活動は何ですか？（複数選択可）

7割の方が「町内会・自治会活動」と回答しています。

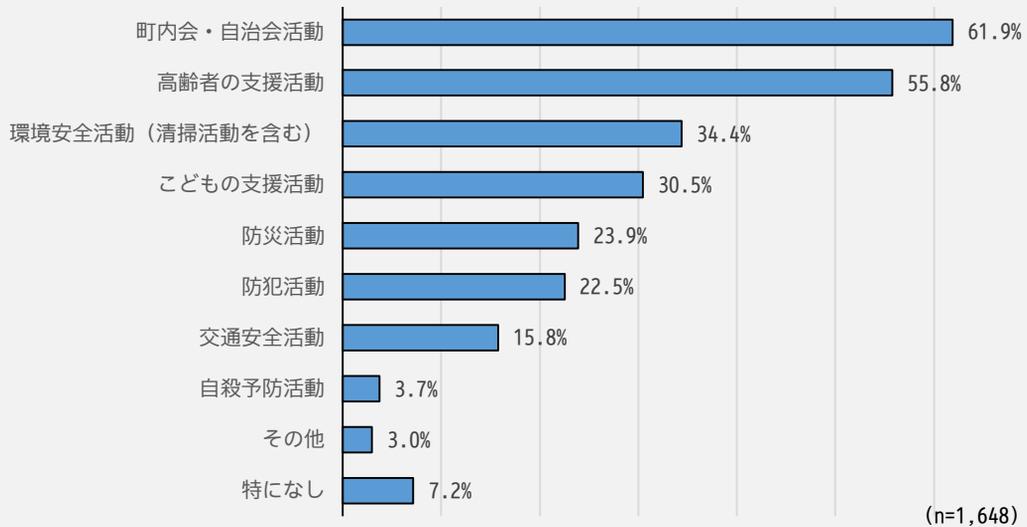


【その他】の主な内容

- 子どもが少なく高齢者も多くなれば必要なことができなくなる。必要な情報が必要な人に入っていない。どのような活動が行われているのかもわからない。（50代・女性）
- 全ての活動に当てはまる。（30代・男性）

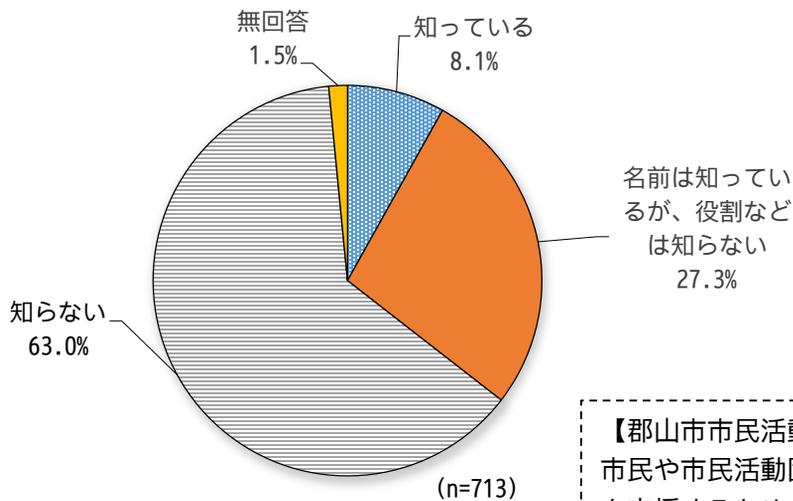
2024(令和6)年度セーフコミュニティ課市民意識調査結果

同時期に行った他のアンケートでもほぼ同様の結果となっています。



問13 郡山市市民活動サポートセンターを知っていますか？

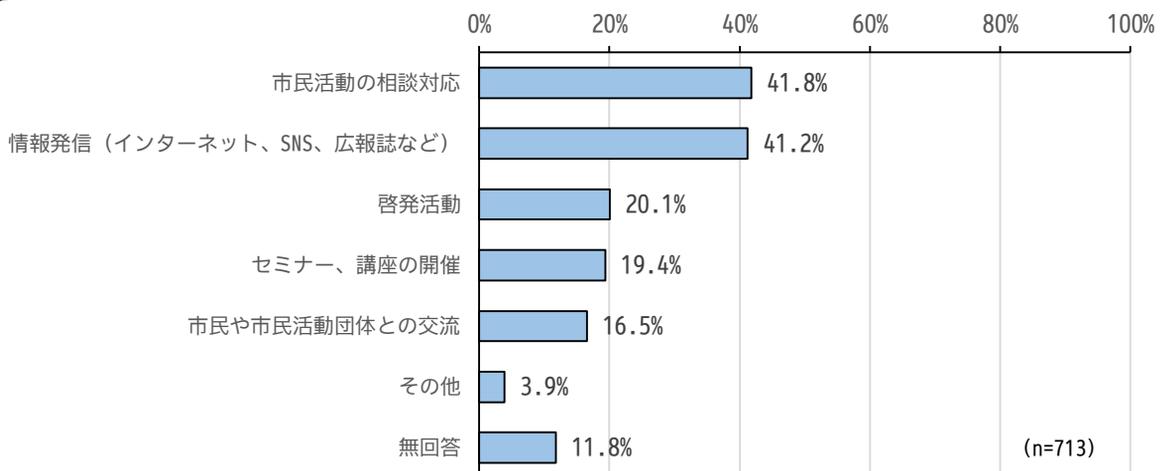
「知っている」と回答した方は1割弱にとどまっています。



【郡山市市民活動サポートセンター】
市民や市民活動団体等が行う市民活動を支援するため、各種相談の受付や講座、イベントを開催しています。

問14 市民活動サポートセンターに望むサービスは何ですか？
(複数選択可)

4割強の方が「市民活動の相談対応」、「情報発信」と回答しています。



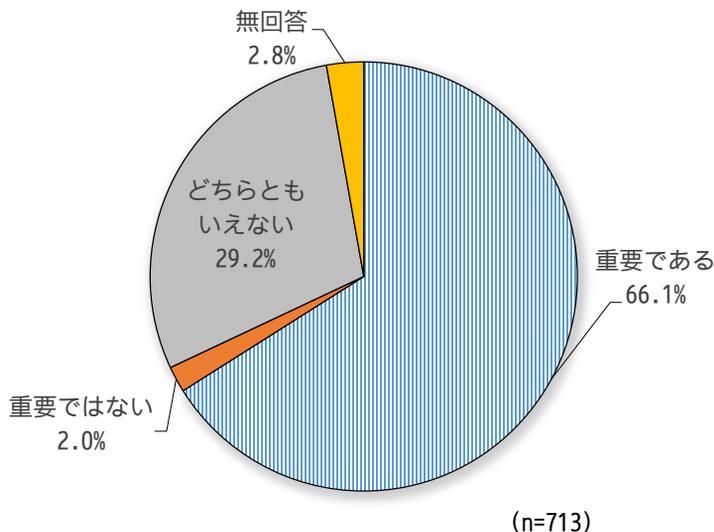
【その他】の主な内容

- わかりやすく必要な人に必要な情報を入れて欲しい。困った時に助けてもらいたい。(50代・女性)
- 市民活動の拠点となる場を各町ごとに、整備すること。(50代・女性)

問15

今後のまちづくりにおいて「市民協働」が重要だと思いますか？

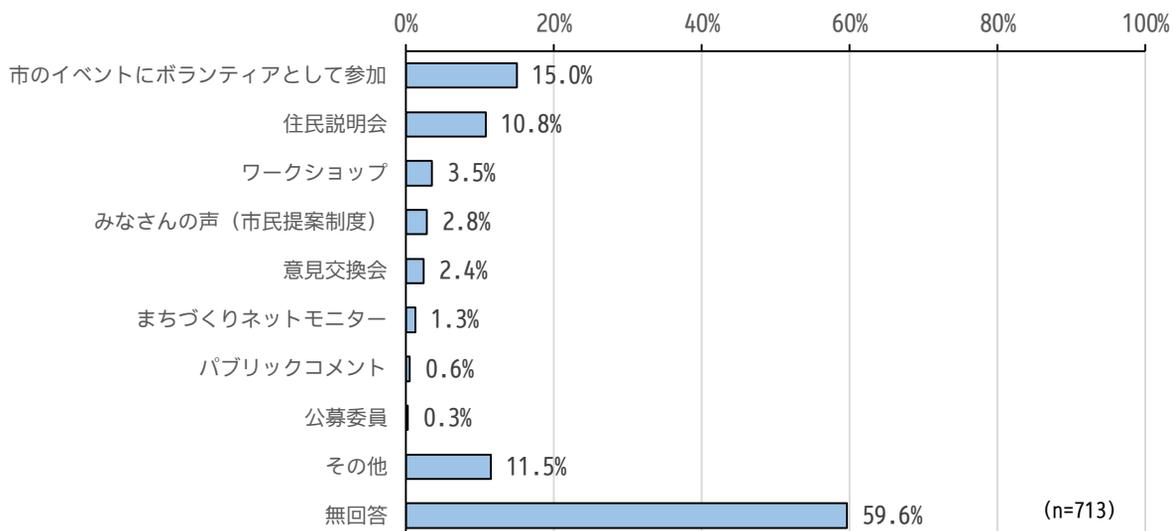
7割弱の方が「重要である」と回答しています。



問16

参加したことがある市の取組は何ですか？（複数選択可）

「ボランティアとして参加」が1割強で最も多い回答となっています。



【その他】の主な内容

- クリーン作戦（65歳～74歳・女性）
- 数年間健康づくり委員をした（65歳～74歳・女性）

推測

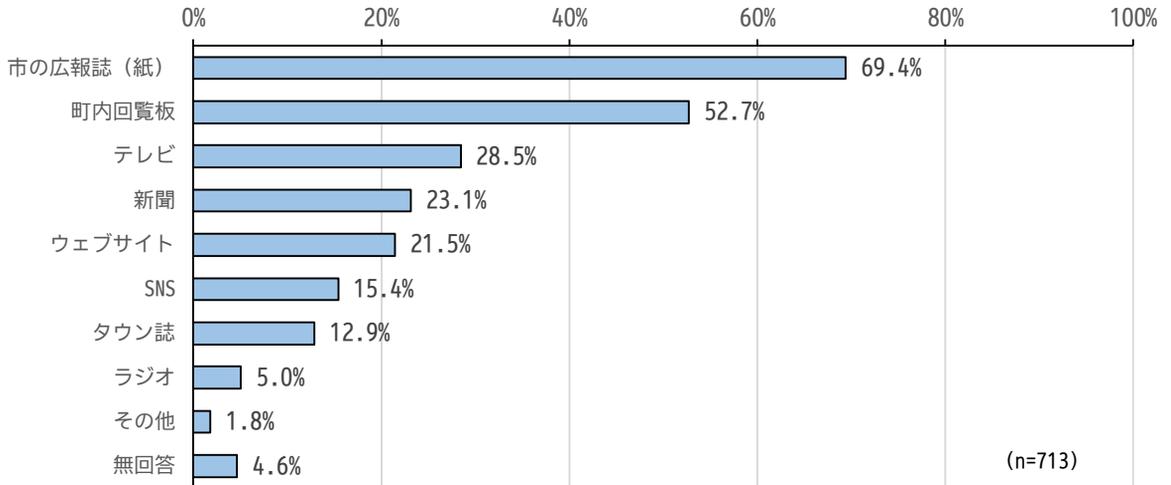
参加したことがない人は「無回答」を回答したと考えられます。

問17

市の取組や地域に関する情報を得る手段は何ですか？

(複数選択可)

7割の方が「市の広報誌(紙)」から情報を得ています。



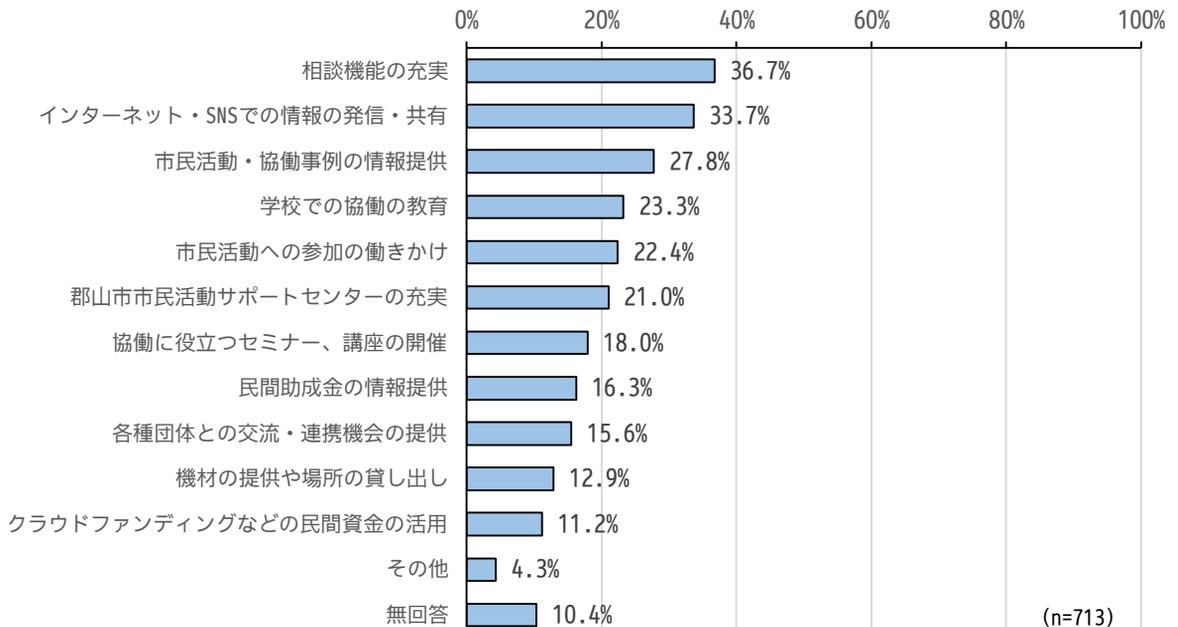
【その他】の主な内容

- 医療機関や行政の掲示板。何かの待ち時間に暇つぶしに目にする事が多い。(40代・女性)
- 役所などへの電話(50代・女性)

問18

協働のまちづくりの推進のため 行政が取り組むべきことは何ですか？(複数選択可)

4割弱の方が「相談機能の充実」と回答しています。



【その他】の主な内容

- 活動のリーダー的人材の育成(50代・女性)
- 身近な場所での意見交換、相談会(75歳以上・男性)

主な意見を抜粋し、掲載しました。寄せられたご意見は、ここに掲載していないものを含め、今後の協働のまちづくりに活用させていただきます。

【協働に関すること】

- 「誰ひとり取り残されない社会」とよく聞きますが、情報発信がインターネット中心に移行されると、お年寄り、特に独居老人などは かえって情報を得にくくなり、本当に助けを必要とする方に手が届かなくなると思います。市民みんなが平等に情報を得られる手立てが必要だと思います。(50代・女性)
- この度のアンケートを通して 郡山市市民活動サポートセンターの存在を知りました。私も含め今後少子高齢化に伴い、高齢者の方で何かお手伝い出来ることがあればやりたいという方がいると思います。市のイベント等市民活動、ボランティアでの参加の働きかけのため情報発信をしてもらいたいです。社会活動を通して得られるものもありそれも高齢者支援活動のひとつになると思います。(60歳～64歳・女性)
- どんな活動をしているのか、好ましい活動例など、こういうことでも意義がある等々について、殆んど知らない市民が多い。多様な情報を地域や団体に出向いてPRすることがポイント。待っていても理解は(協力・賛同)深まらないので。(75歳以上・男性)
- 協働的取組については興味がありますが、きっかけがないと参加しにくい印象があります。参加しやすい工夫や方法とかも考えていただければありがたいです。(30代・男性)
- 郡山市民、ほとんどの市民、心優しくて思いやりがあり、温かい方ばかりだと思います。横のつながりをつくるには、あと一歩歩みよる勇気があれば、もっと協働の市として素晴らしい郡山になると思います。誰ひとり、とり残さない郡山市として、協力できることがあれば知っていきたいと思います。(50代・女性)
- 自助、共助、公助のように「協働のまちづくり」の重要性は感じていたものの、ぼんやりとしていました。具体的事例が子ども食堂と知り、イメージがわいてきました。私のようによくわかっていない層には、啓蒙が必要と感じました。(40代・男性)
- 若い人がもっと参加できるような機会や活動を望みます。高齢者が孤立しないような活動、助けも必要。(50代・女性)
- 私たちの税金と市の活動の関係について、改めて知ることから…意識が変わるように思います。子どもたちの教育内容(学校・家庭)の改善も必要であり、発達段階に応じた“協働”教育がもっと具体的し、私たちに伝わってくるとよいと思いました。アンケートでの勝手な意見ですが…活かしていただけたら幸いです。(無回答)

【地域・町内会に関すること】

- 回覧板のSNS化や双方向性を早急に取り入れないと、高齢世代以下の住民の市民協働活動に対する関心と呼ぶことは出来ず、住民の自治活動への関心は更に縮小していくと思う。(50代・男性)
- 近隣住民との接点が少なくなり、個人主義が中心で、いざという時の協力態勢が心配です。(65歳～74歳・女性)
- 市民活動の重要性は理解していますが、町内会等の強制的な参加には反対です。子育てや仕事が忙しく、自分の時間が取れない中で町内のことまで手が回りません。まず働き手にとって時間に余裕を持った状態にすることから着手し、協働について建設的な意見を述べたいと考えています。(30代・女性)
- 土日が休みである前提で、町内会活動の日時が設定されているので、基本的に全く参加できません。他の催しなども同様です。土日が休みでない方も珍しくないと思いますので、そういった方も参加できるよう開催日の再考が必要だと思います。(30代・女性)

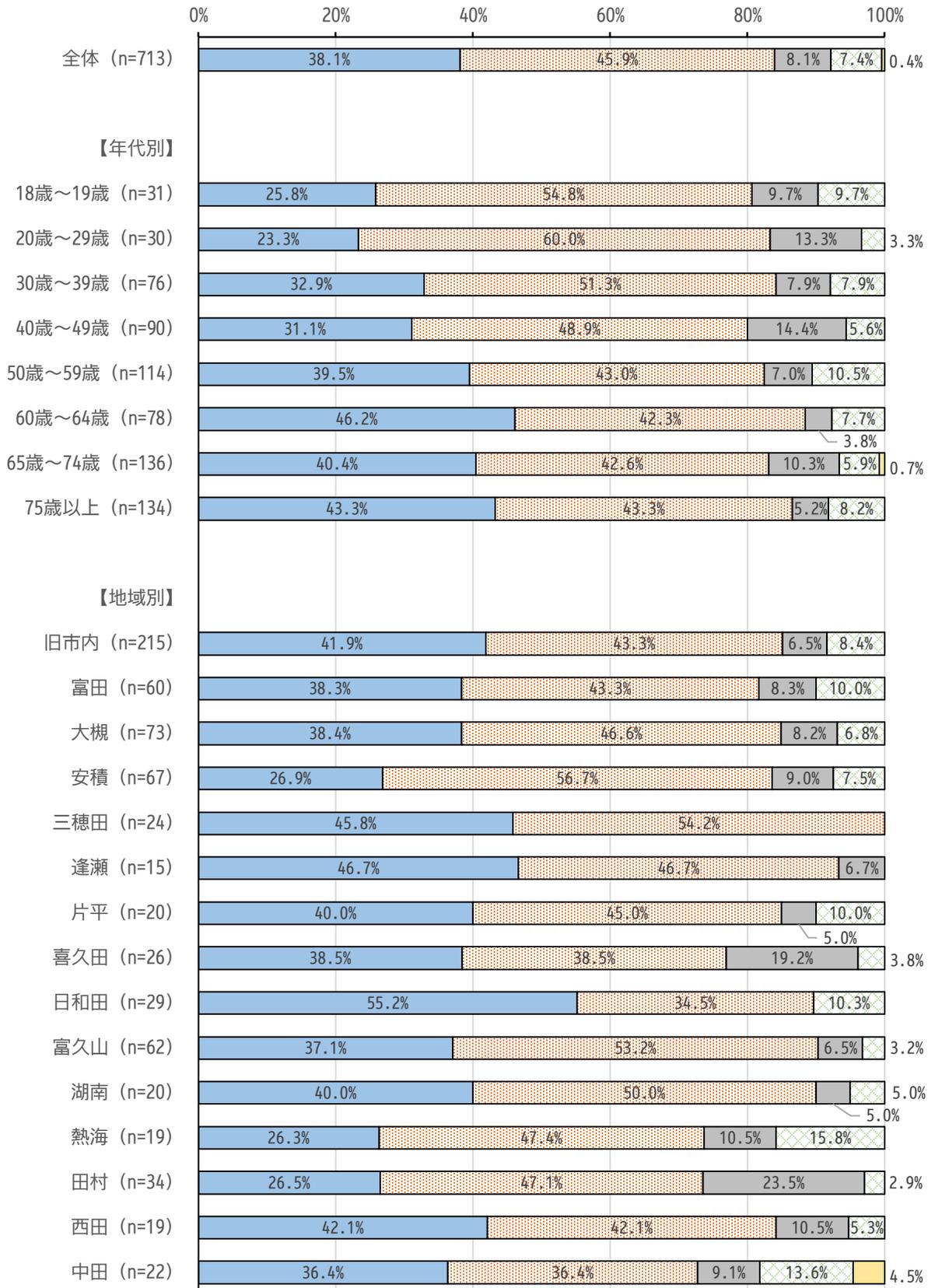
他138件

2 主な年代別・地域別集計結果（クロス集計）

問7 少子高齢化・人口減少をどう受け止めていますか？

【年代別・地域別結果】

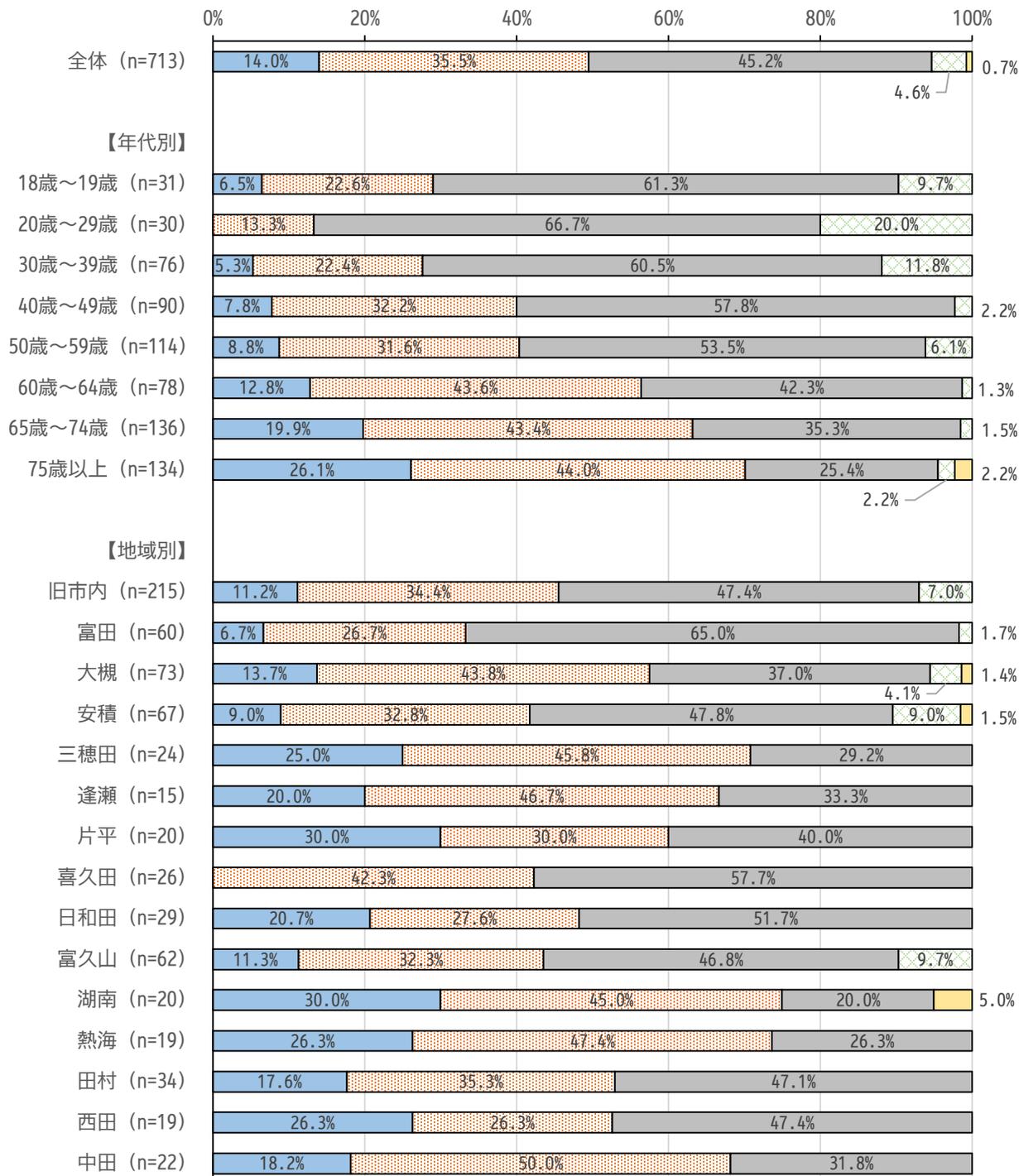
強い危機感を持っている
 多少危機感を持っている
 危機感を持っていない
 わからない
 無回答



問8 地域でのつきあいで、もっとも近いものはどれですか？

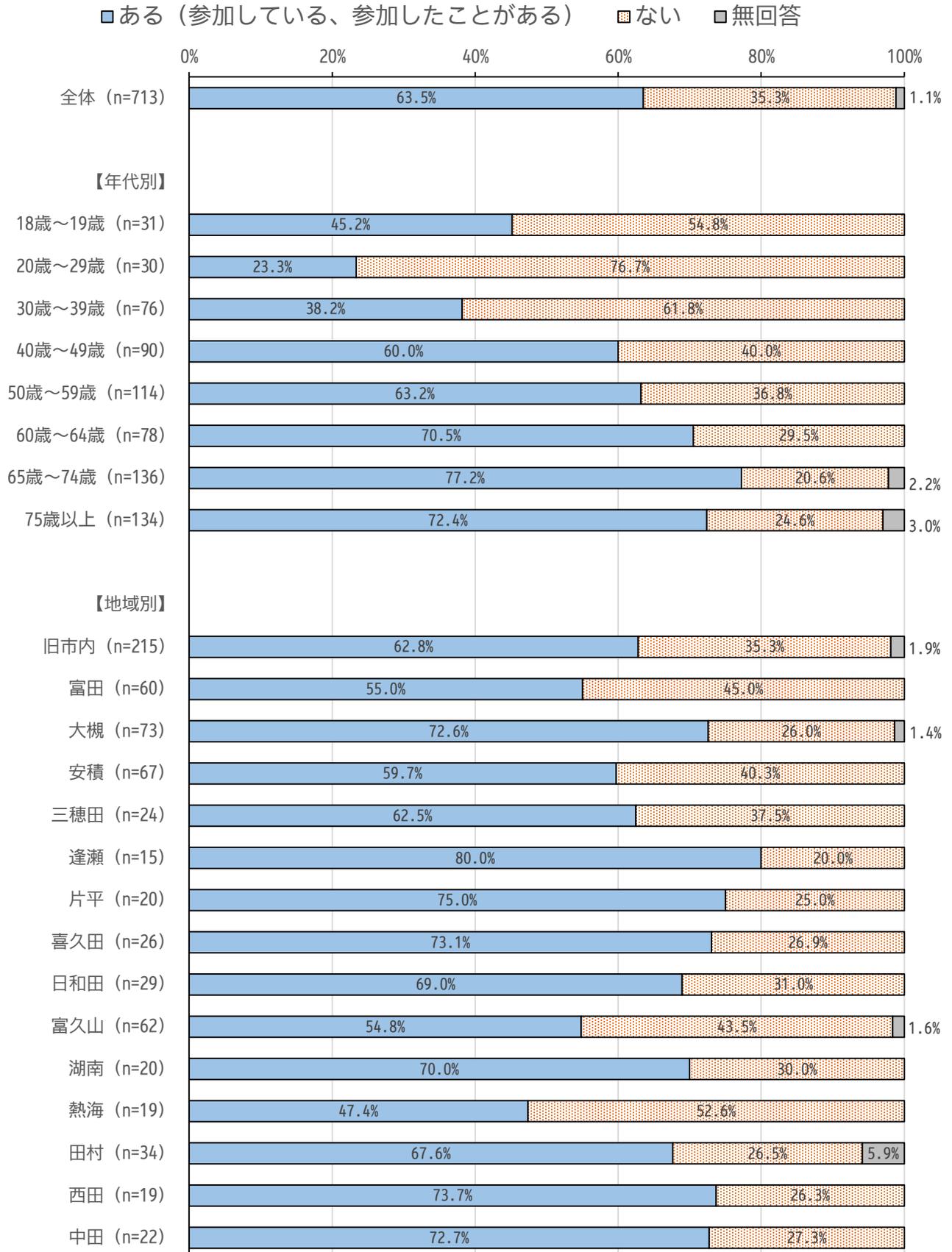
【年代別・地域別結果】

- 地域の人たちと互いに相談し合うような、生活面での協力関係がある
- 地域の人たちと互いに相談し合うようなことはないが、世間話や立ち話をする
- 地域の人たちと会話はほとんどしないが、あいさつはする
- 地域の人たちとつきあいはなく、あいさつもかわさない
- 無回答



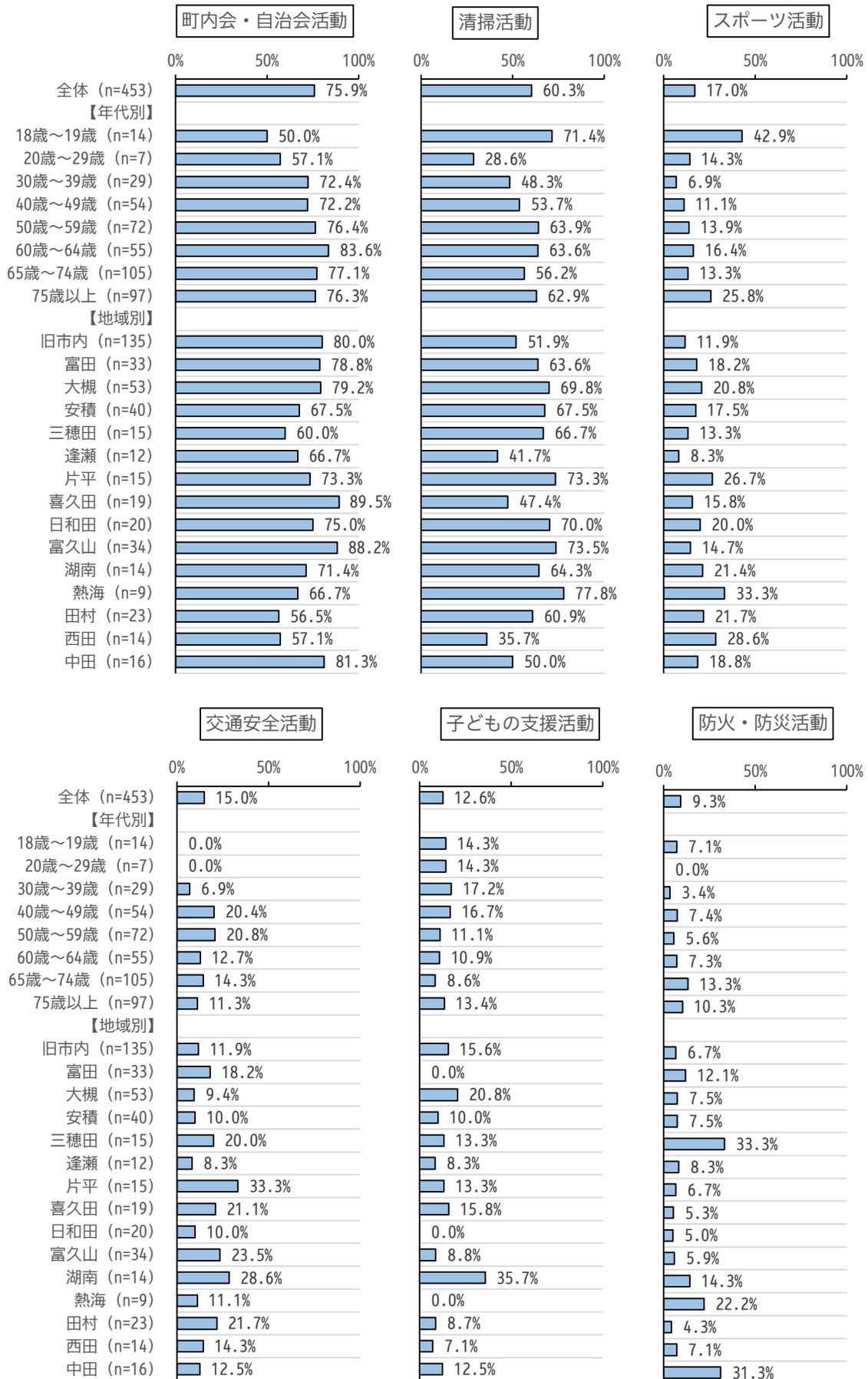
問9 町内会などの地域活動やNPO活動などの市民活動に参加したことがありますか？

【年代別・地域別結果】



問 (地域活動や市民活動に参加したことがあると回答した方について)
参加している(した)活動は何ですか？(複数選択可)

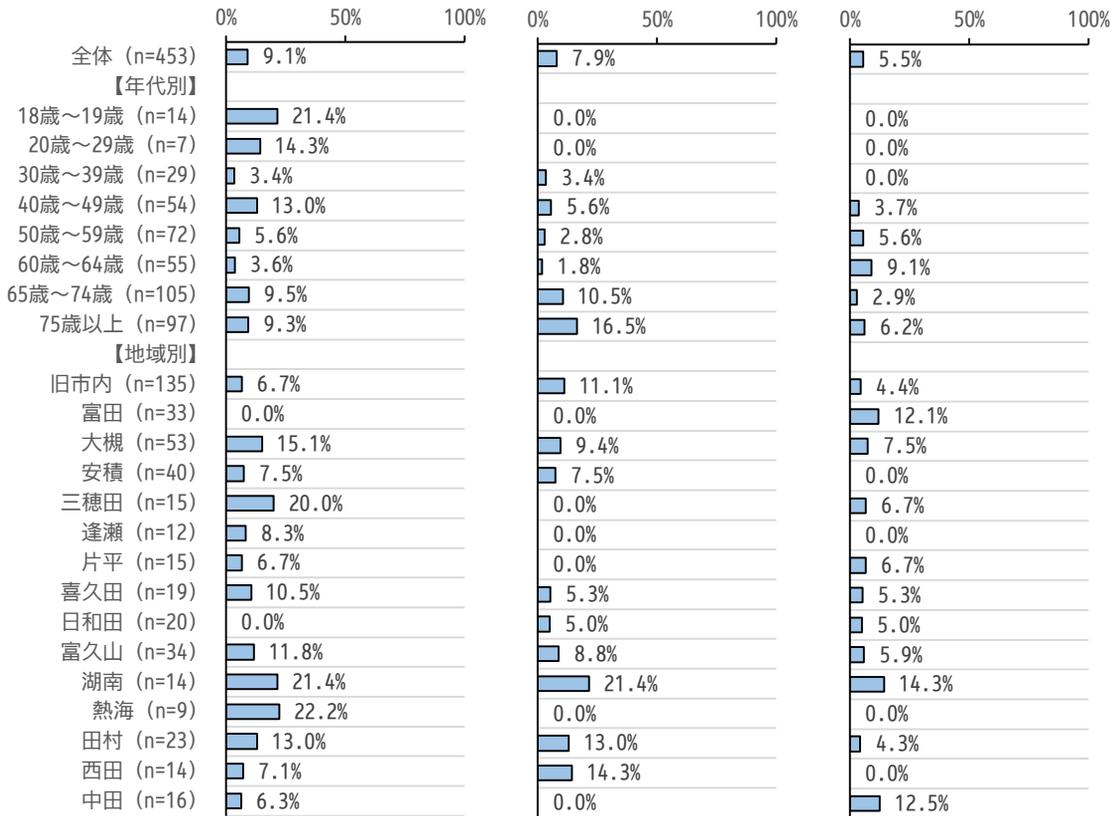
【年代別・地域別結果】



文化・芸術活動

高齢者の支援活動

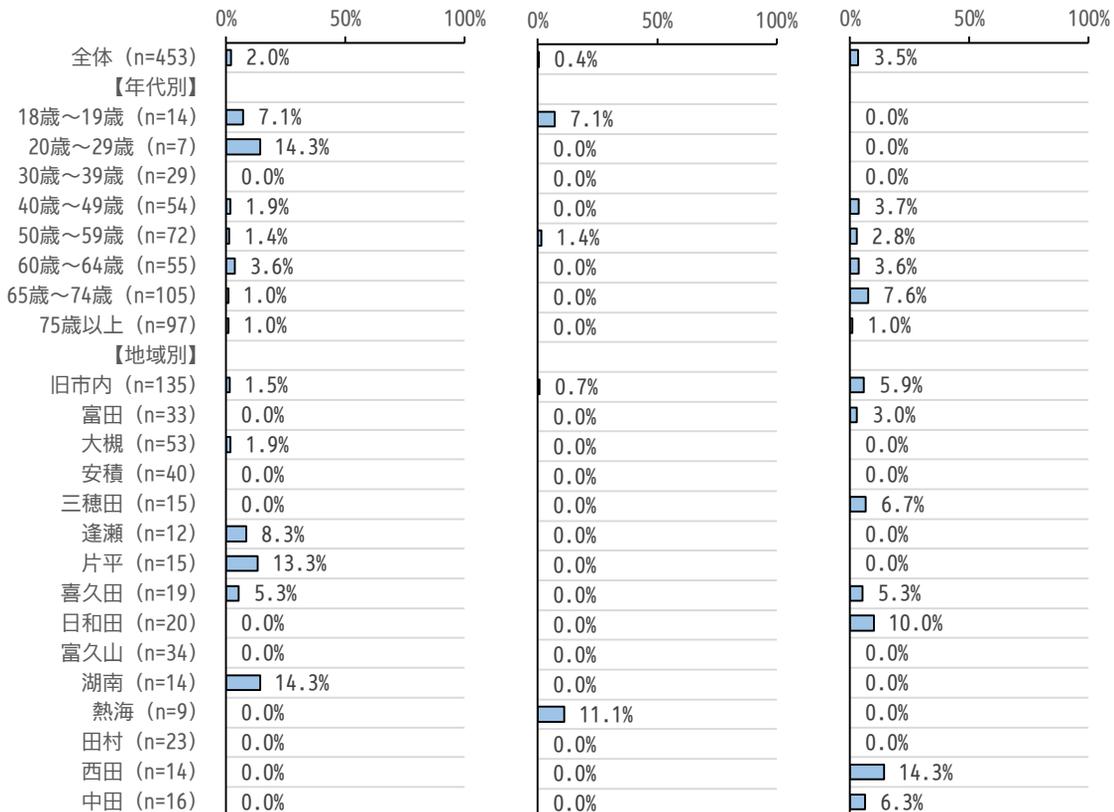
防犯活動



障がい者の支援活動

国際・多文化共生活動

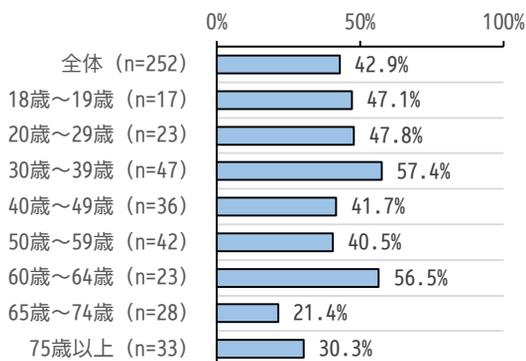
その他



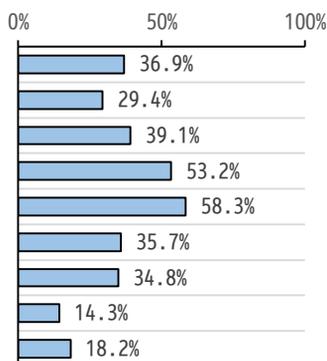
問 (地域活動や市民活動に参加したことがないと回答した方について)
 参加したことがない理由は何ですか？(複数選択可)

【年代別結果】

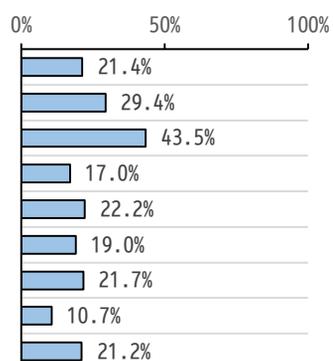
きっかけや機会がなかった



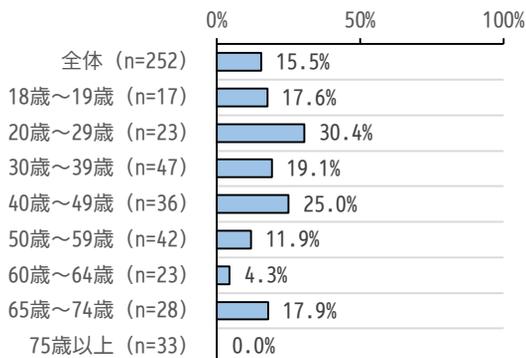
忙しくて時間がない



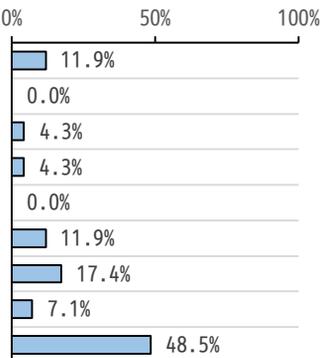
一緒に活動する仲間がいない



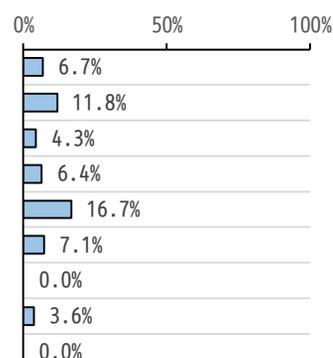
興味や関心がない



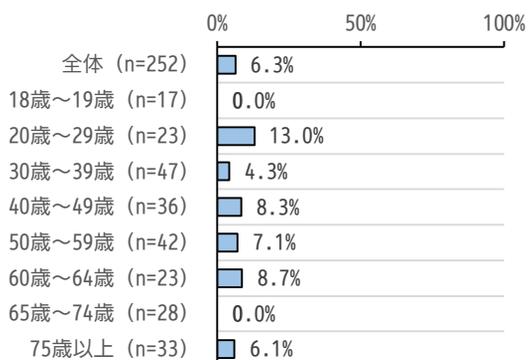
健康上の理由



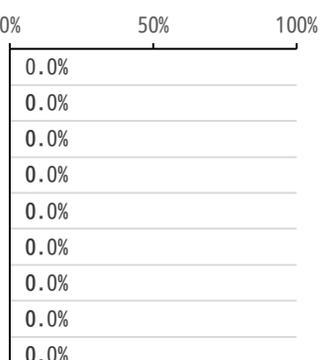
参加する意義を感じない



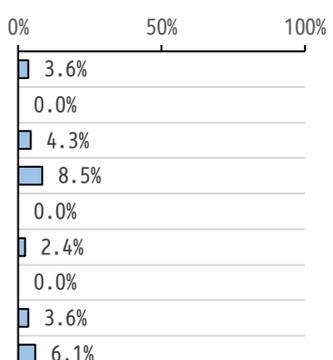
金銭的な負担が難しい



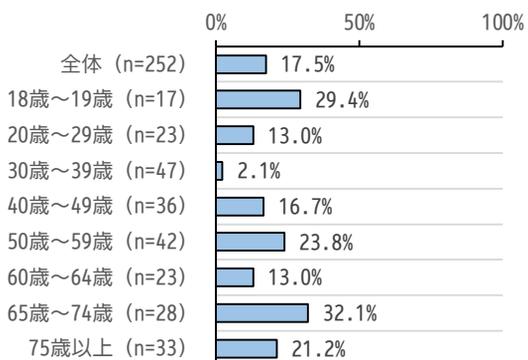
職場または家族の理解が得られない



その他



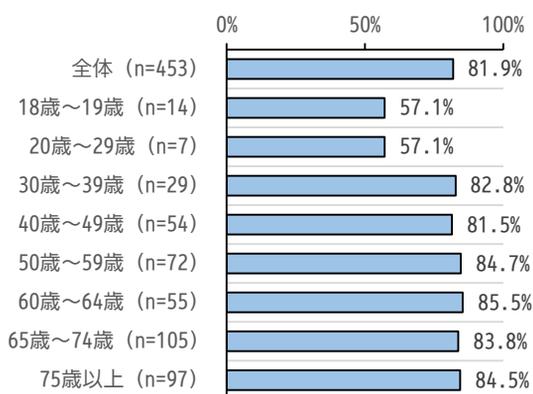
特に理由はない



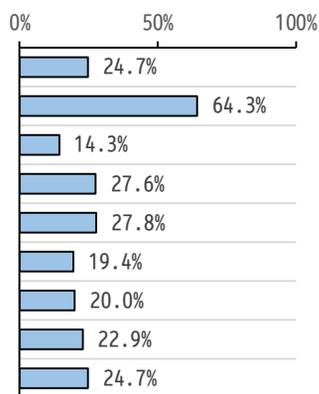
問10 (地域活動や市民活動に参加したことがあると回答した方について)
参加している(した)活動は何で知りましたか？(複数選択可)

【年代別結果】

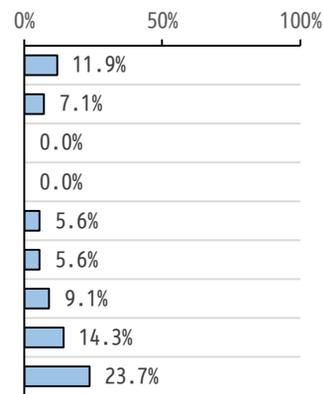
町内会・自治会の回覧板



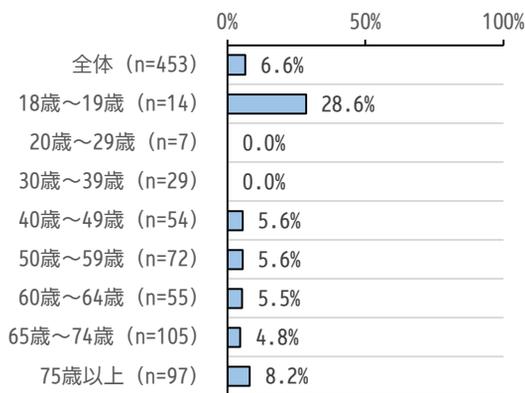
人づてに聞いた(誘われた)



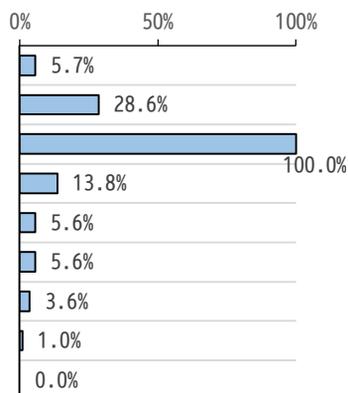
広報こおりやま



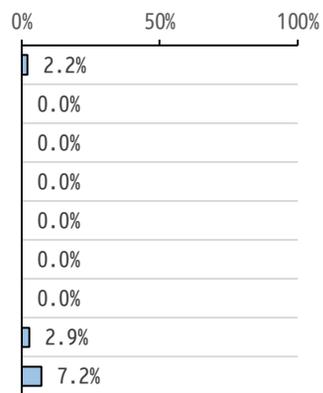
講演会、セミナー、学校等



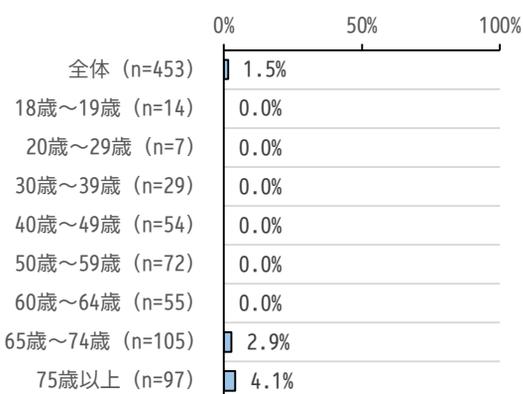
チラシ・パンフレット・ポスター



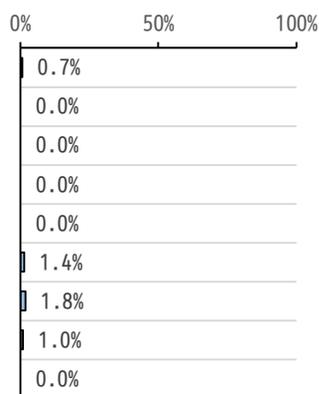
新聞



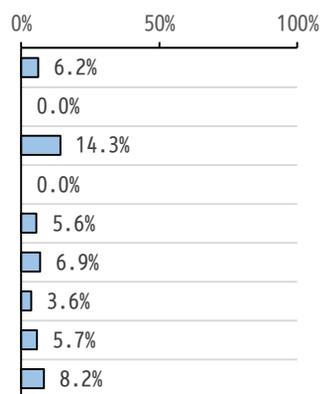
テレビ・ラジオ



インターネット

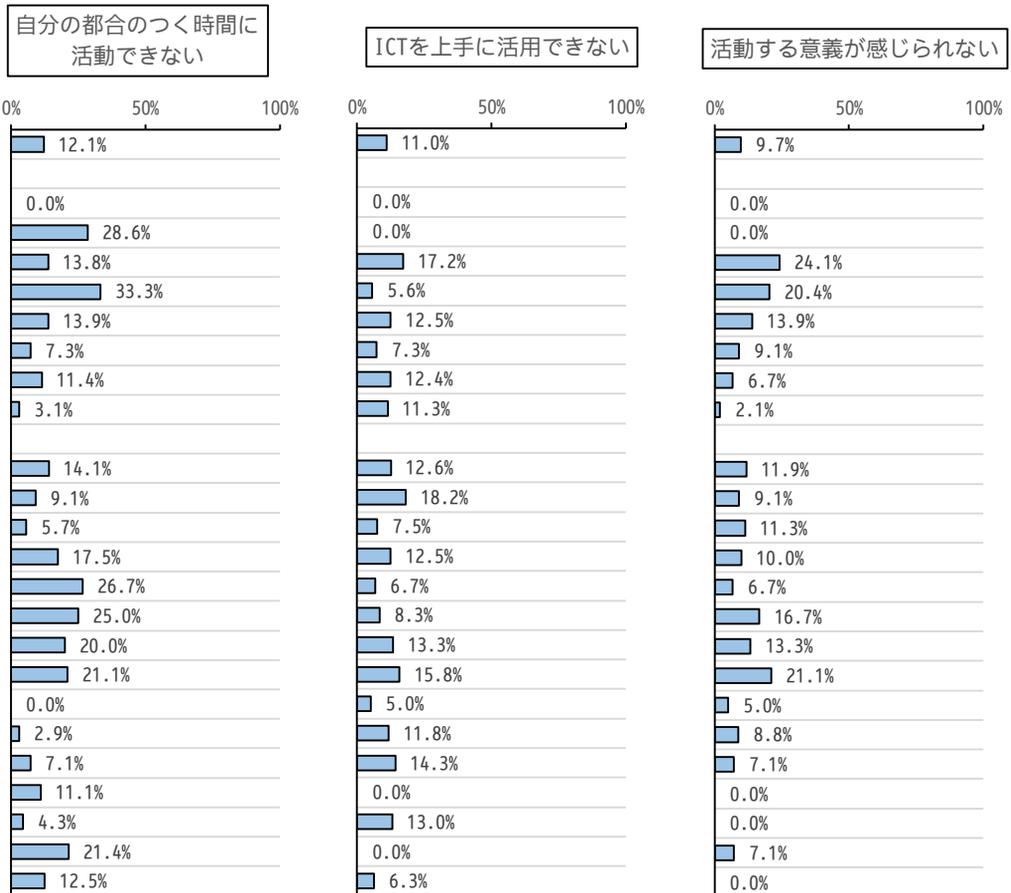
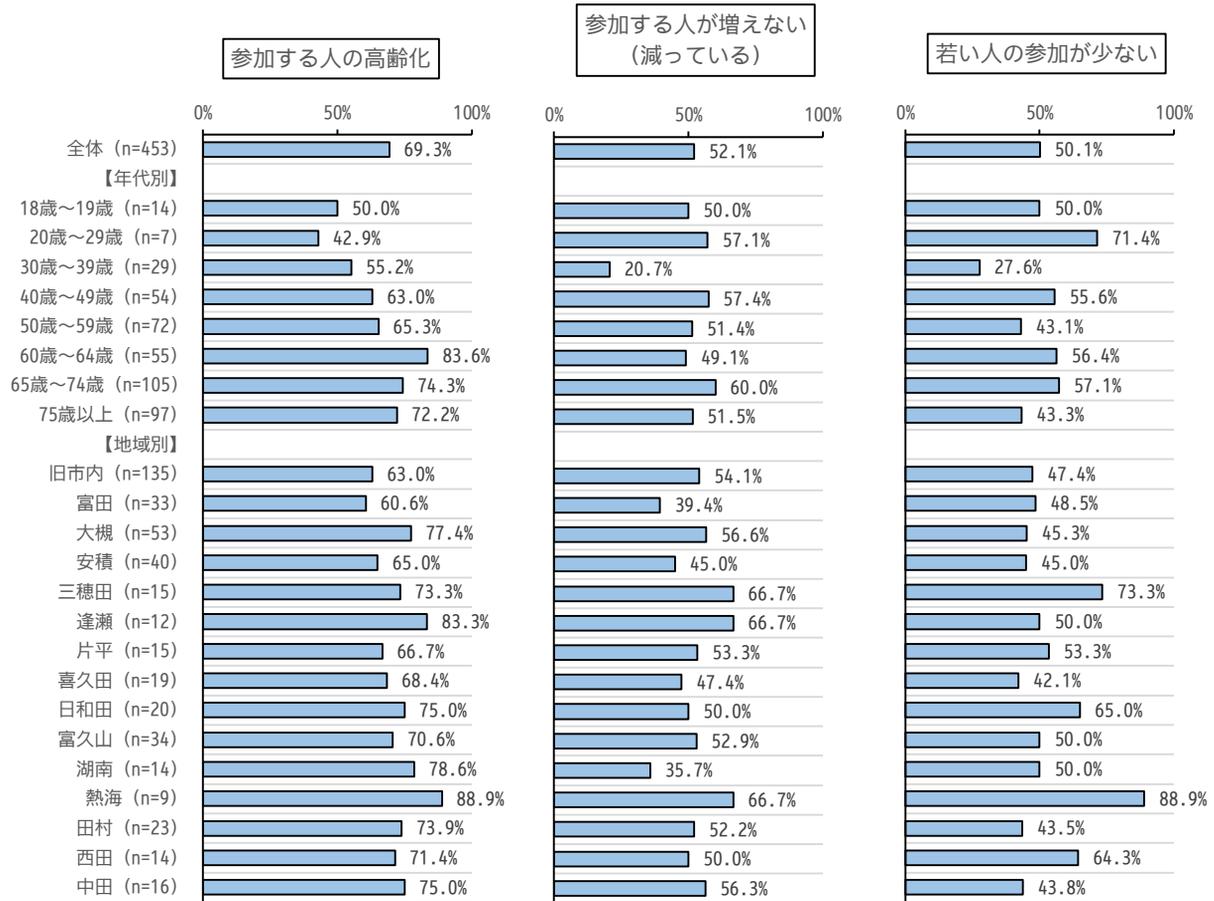


その他

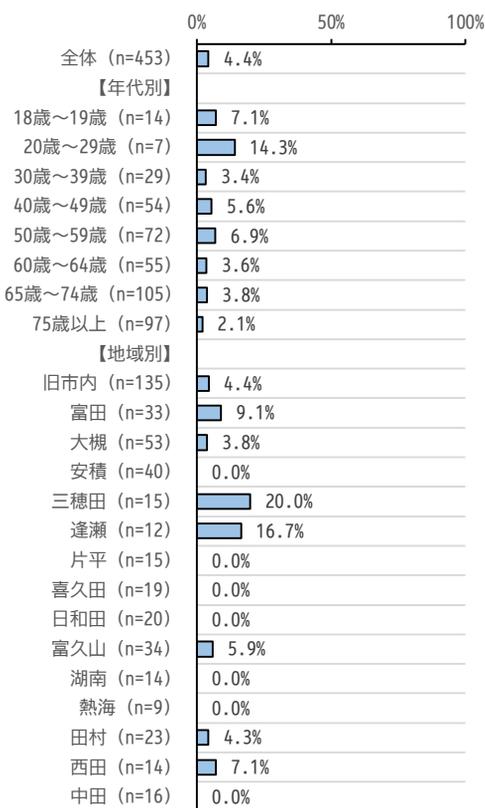


問11 地域活動や市民活動に参加したことがあると回答した方について、どのような点が課題や不安、不満に感じましたか？（複数選択可）

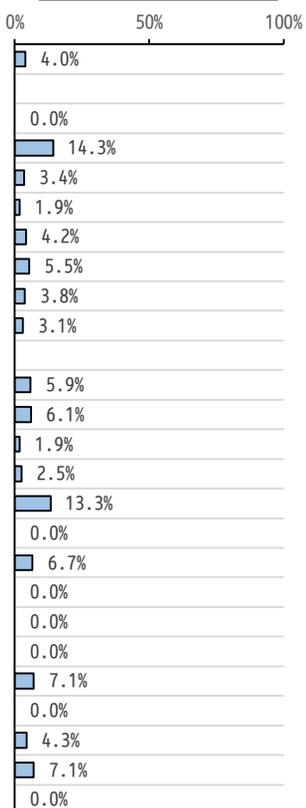
【年代別・地域別結果】



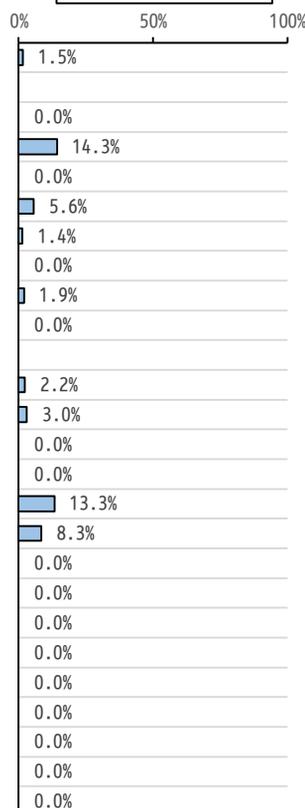
資金が確保できない



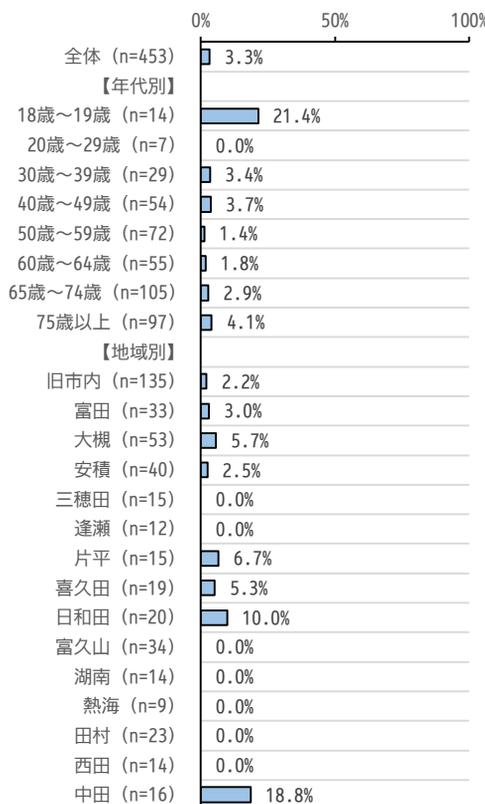
困った時に相談できる場所・人がいない



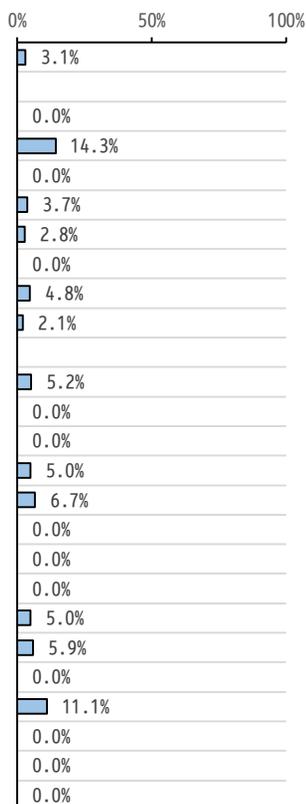
他団体と交流が思うように進まない



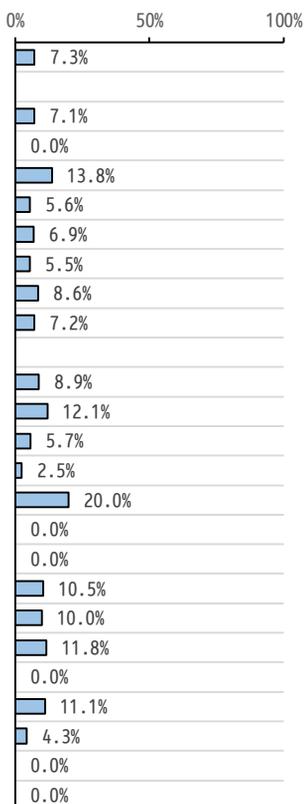
わからない



その他

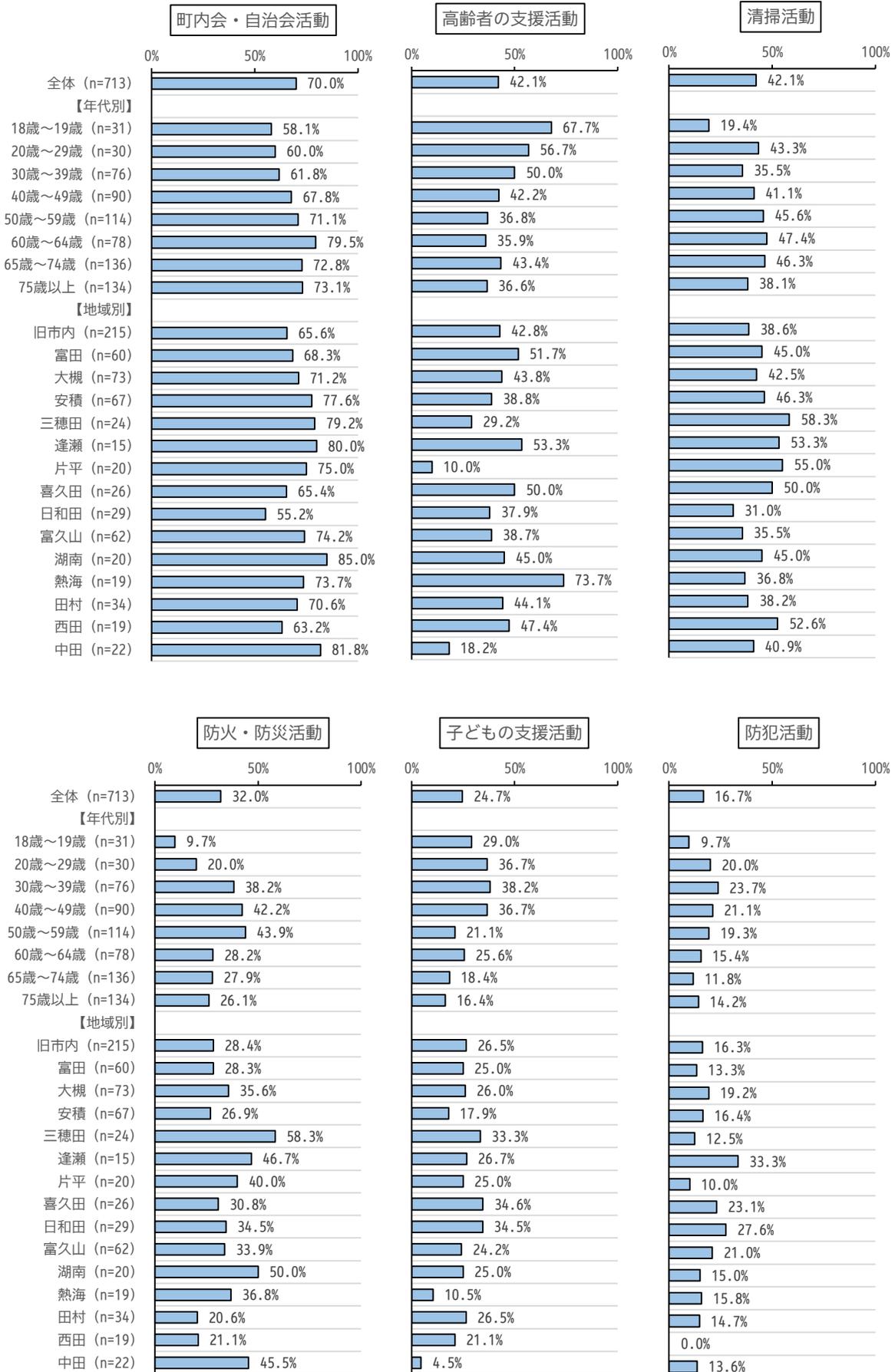


特になし



問12 少子高齢化・人口減少が進む中で、今後、活動が困難、または負担が増えると思われる活動は何ですか？（複数選択可）

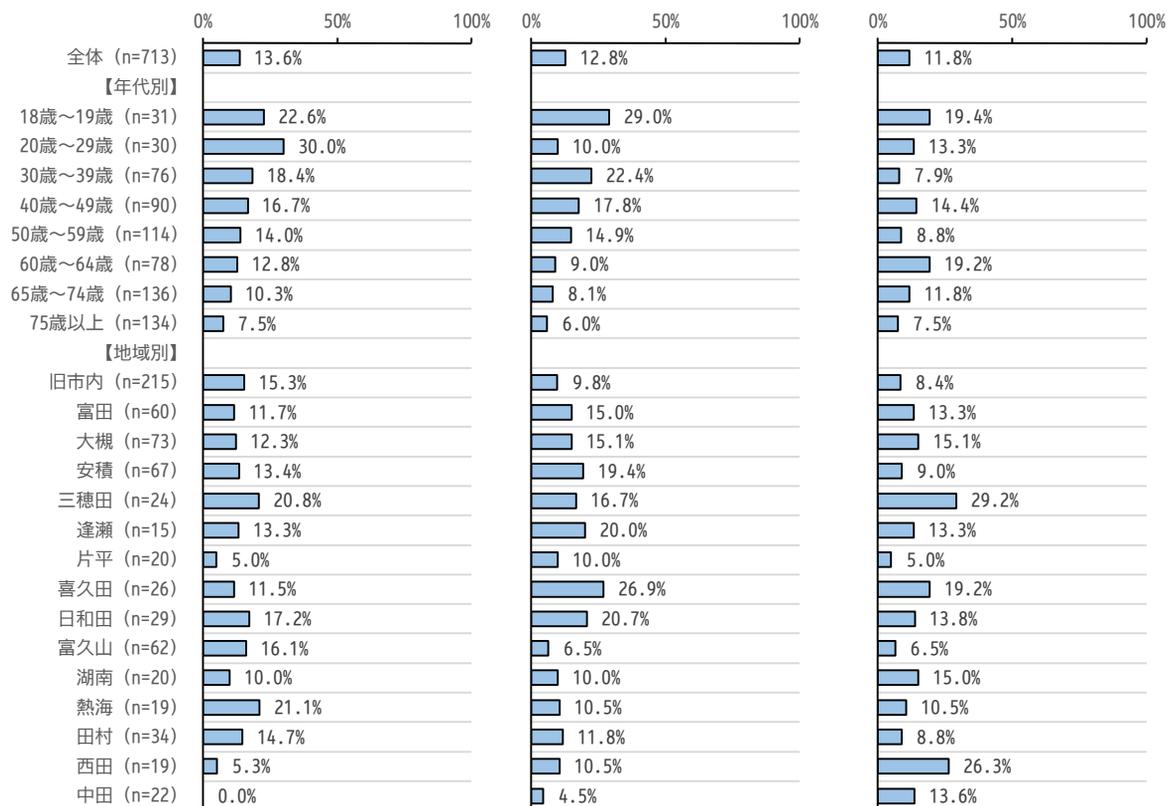
【年代別・地域別結果】



障がい者の支援活動

交通安全活動

スポーツ活動

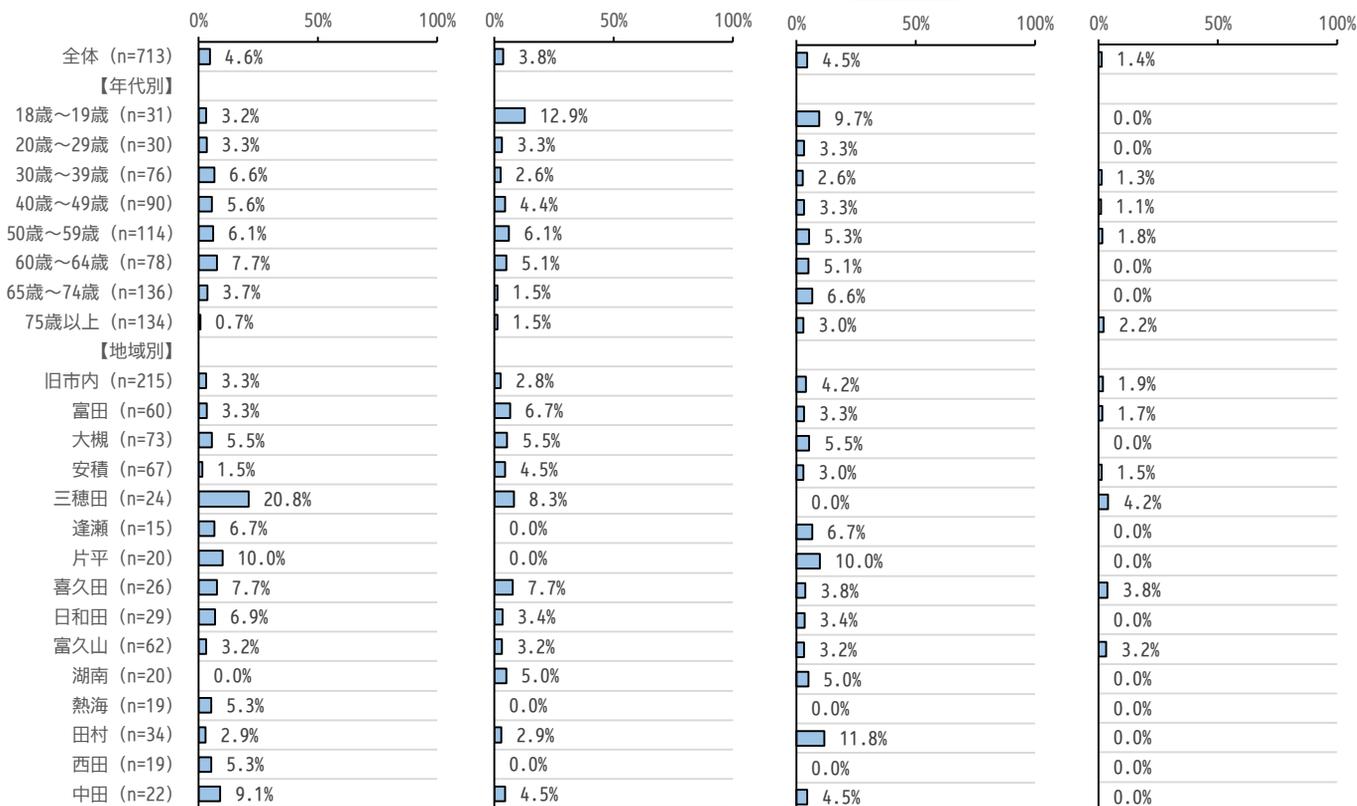


文化・芸術活動

国際・多文化共生活動

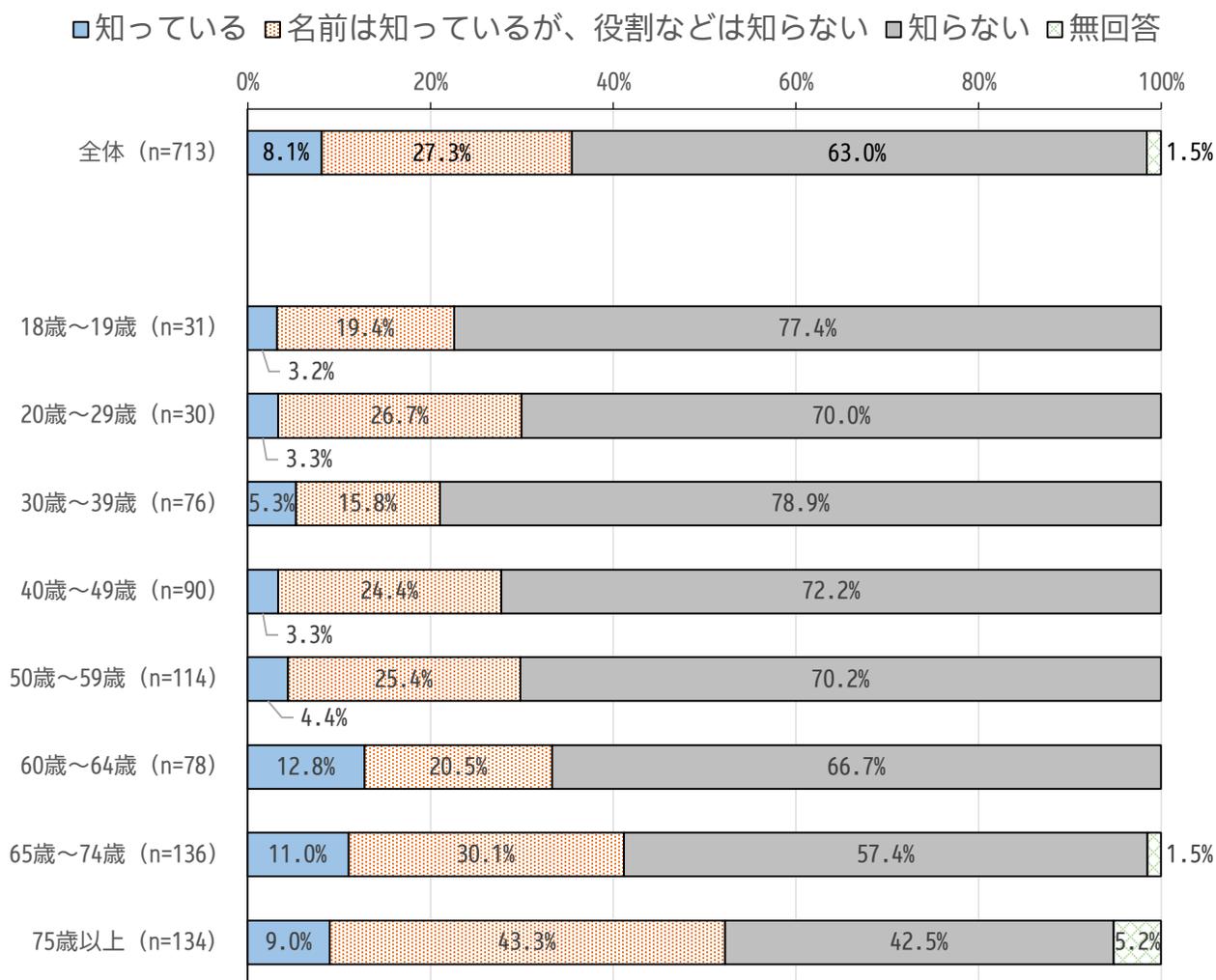
特になし

その他



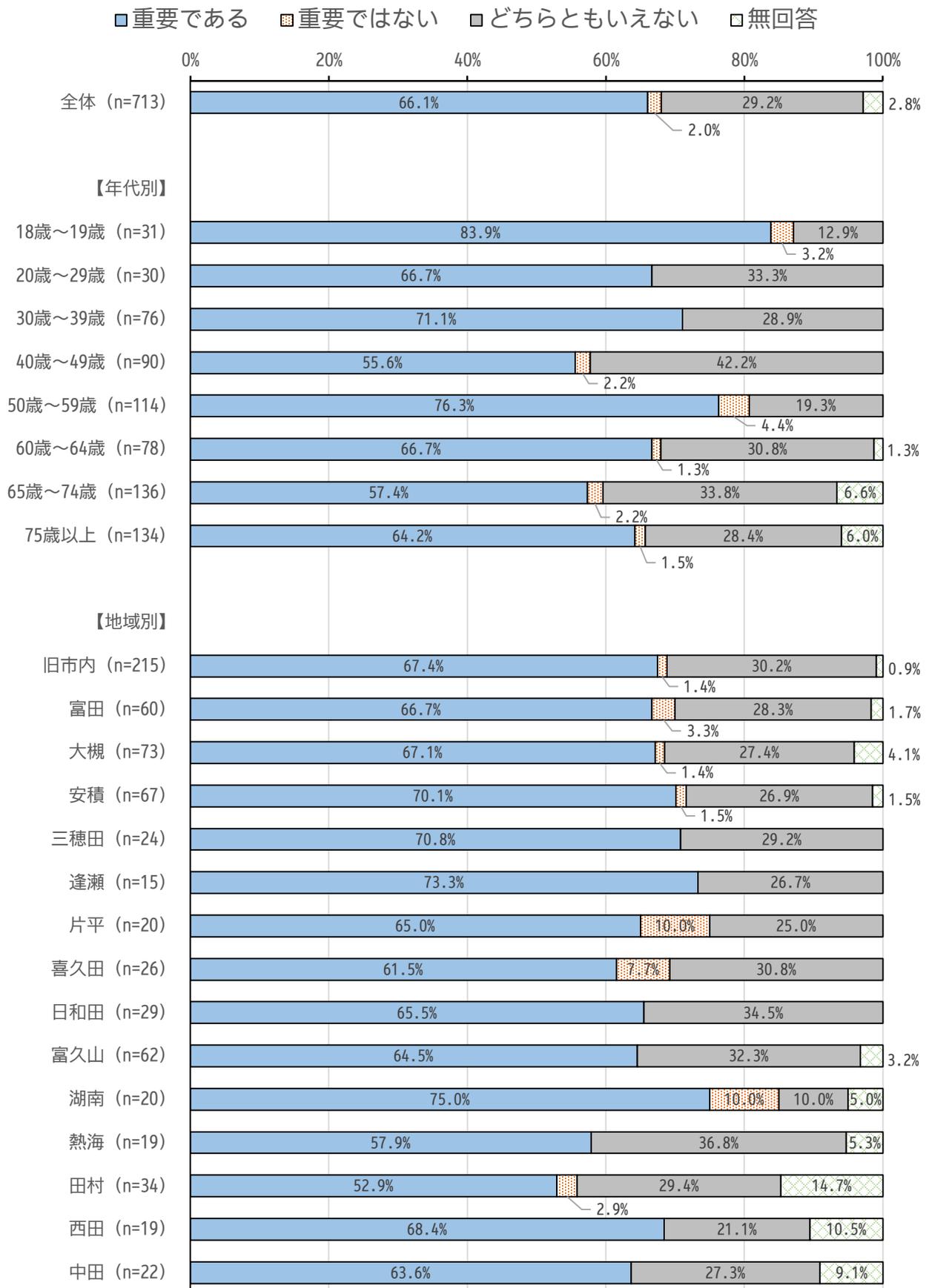
問13 市民活動サポートセンターを知っていますか？

【年代別結果】



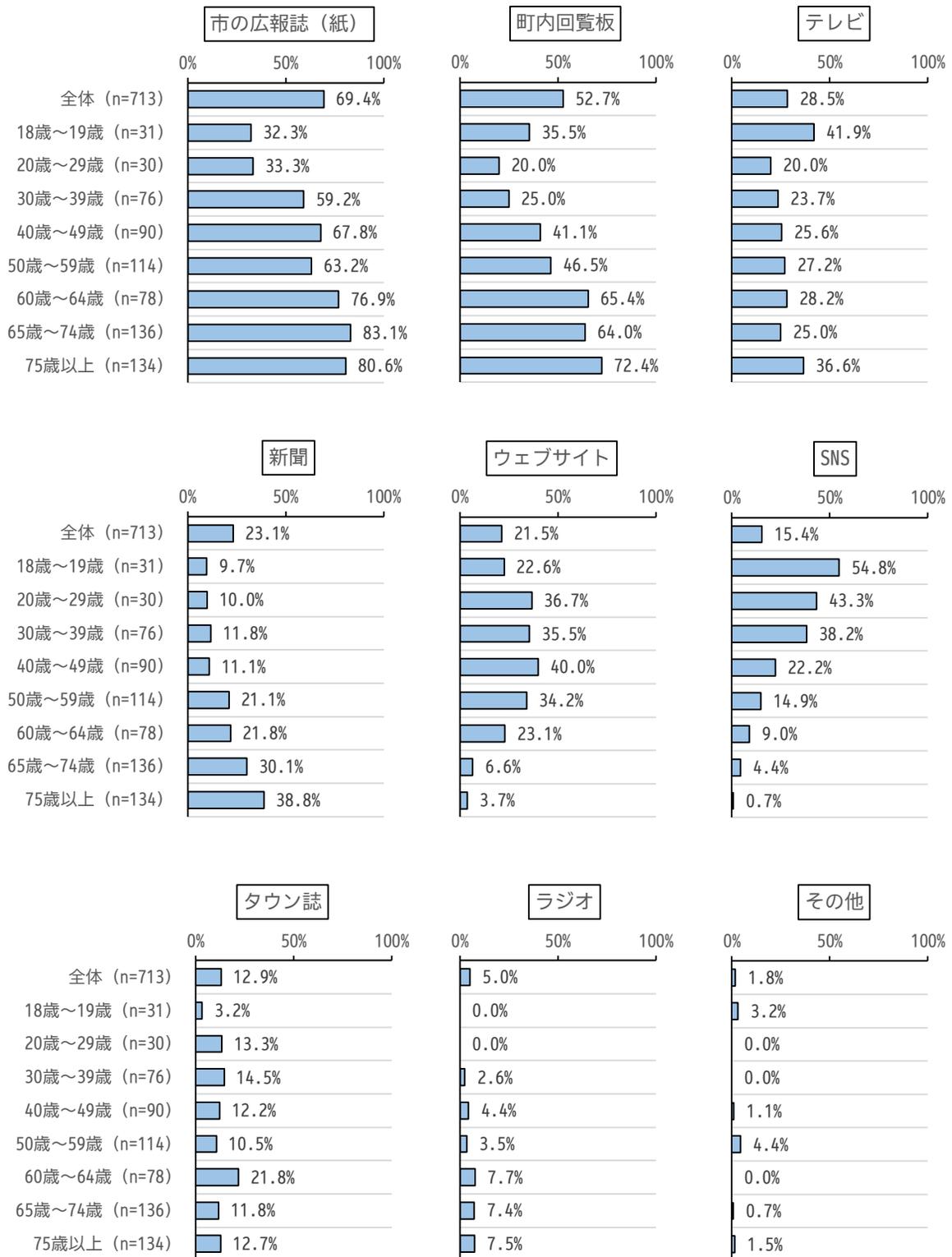
問15 今後のまちづくりにおいて「市民協働」が重要だと思いますか？

【年代別・地域別結果】



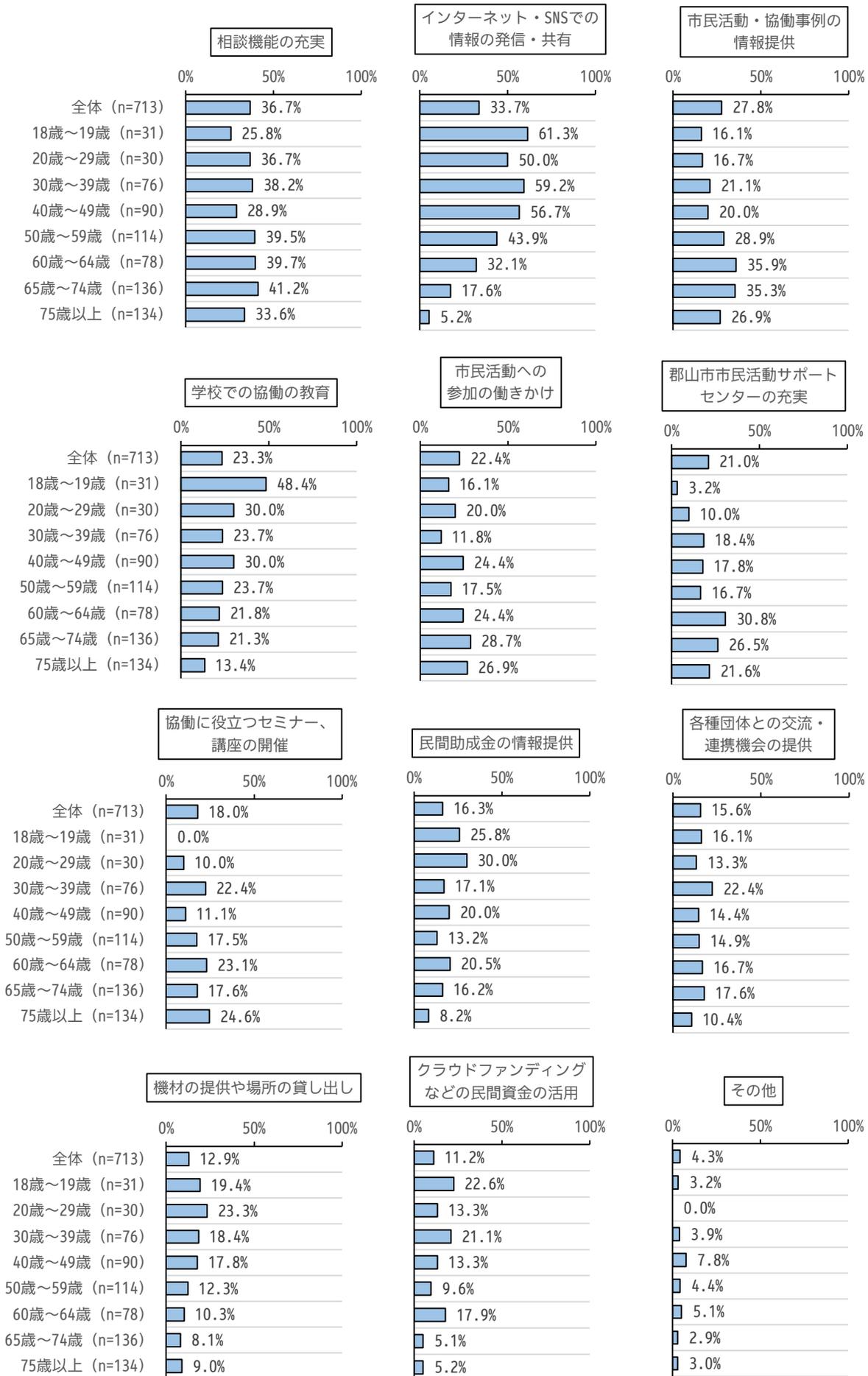
問17 市の取組や地域に関する情報を得る手段は何ですか？（複数選択可）

【年代別結果】



問18 協働のまちづくりの推進のため行政が取り組むべきことは何ですか？（複数選択可）

【年代別結果】



IV 集計結果（町内会）

1 集計結果

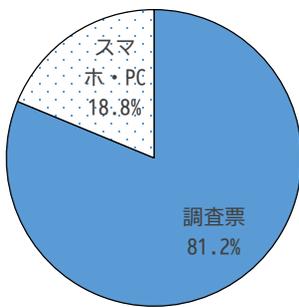
調査の設計

- ◆ 調査対象：郡山市内にある全ての町内会・自治会
- ◆ 標本数：659件（2024(令和6)年7月24日時点）
- ◆ 調査方法：郵送による調査票の配布・回収、インターネットでの回答
- ◆ 調査期間：2024（令和6）年7月24日～8月23日(31日間)
- ◆ 調査項目：①町内会について…18問
②協働のまちづくりについて…7問

回収結果・回答者の属性

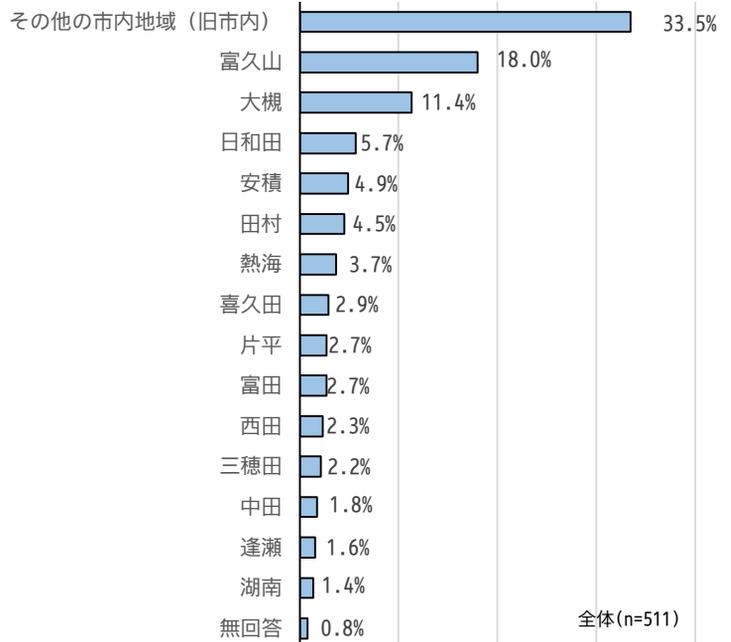
- ◆ 発送数：659件
- ◆ 有効回収数：511件
- ◆ 有効回収率：77.5%

◆ 回答方法別



全体(n=511)

◆ 所在地域（問1）



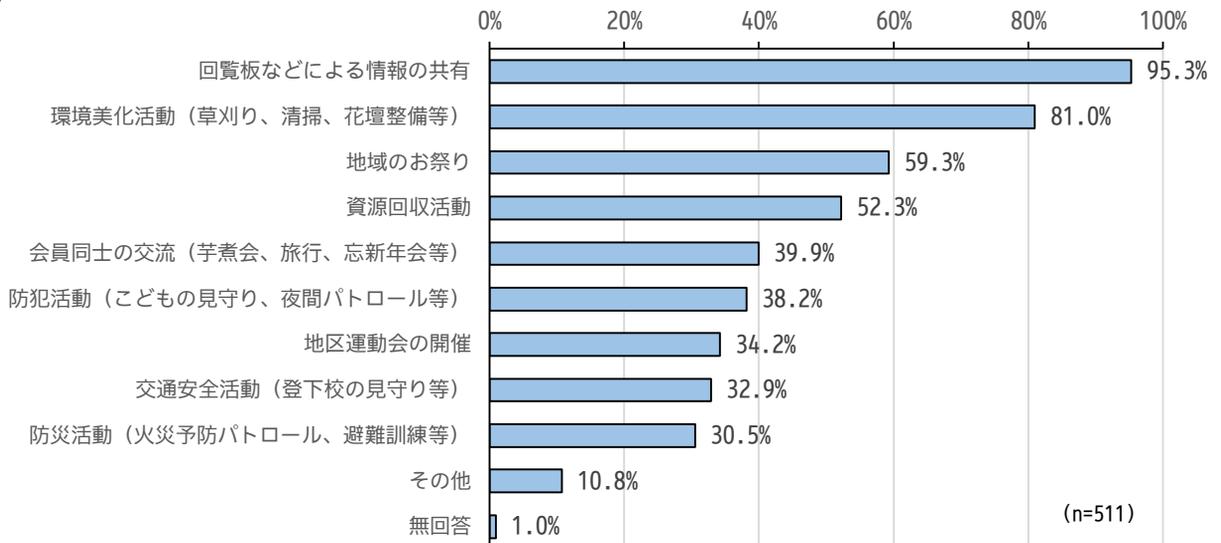
全体(n=511)

※構成比は、端数を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

問2

現在どのような活動をしていますか？（複数選択可）

9割強の町内会が「回覧板などによる情報共有」に取り組んでいます。



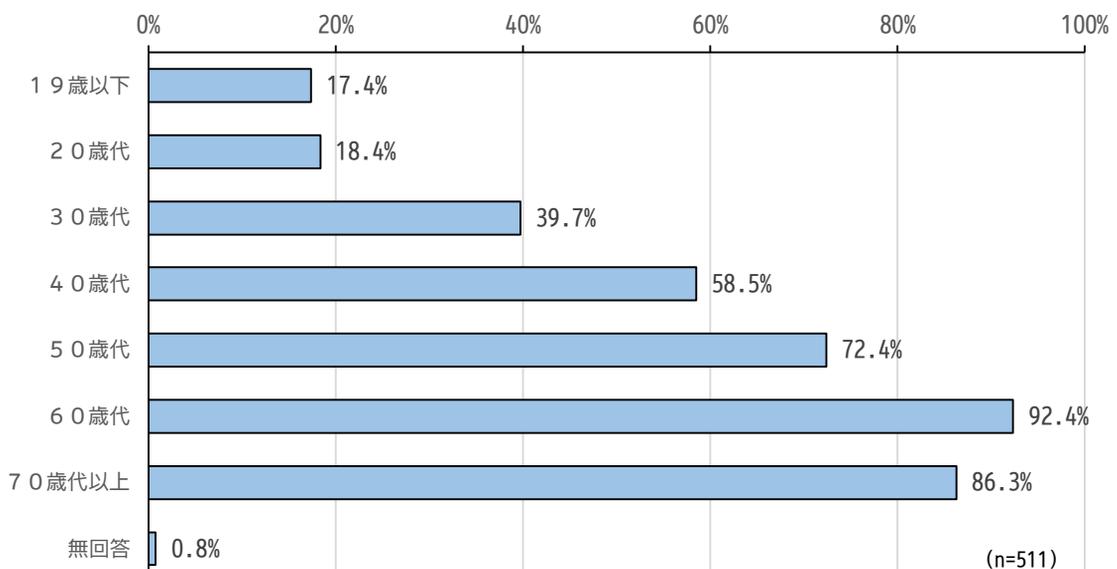
【その他】の主な内容

- ゴミ集積所の清掃、片付け、補修（富久山）
- 高齢者が多い地域のため、民生委員と連携して高齢者の見守りを実施している。（特に一人暮らし）（旧市内）

問3

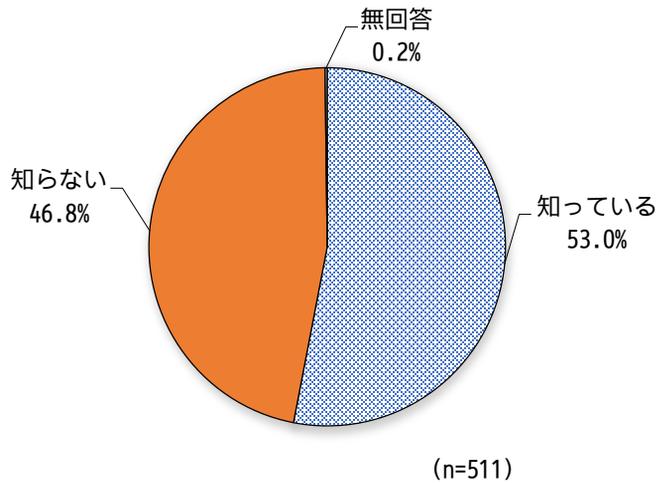
活動にはどの年代の方が参加していますか？（複数選択可）

9割強の町内会で「60歳代」が参加しています。



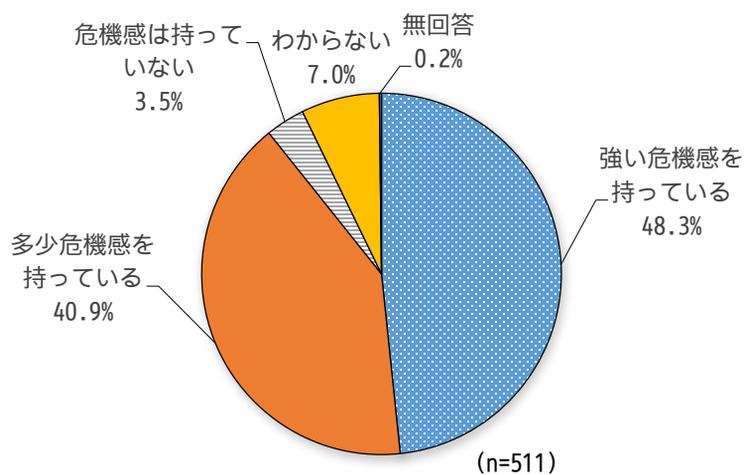
問4 「郡山市の出生数：1985(昭和60)年4,000人超→2022(令和4)年2,000人割る」
このことをご存知でしたか？

半数の町内会が「知っている」と回答しています。



問5 少子高齢化・人口減少をどう受け止めていますか？

9割弱の町内会が「危機感を持っている」と回答しています。

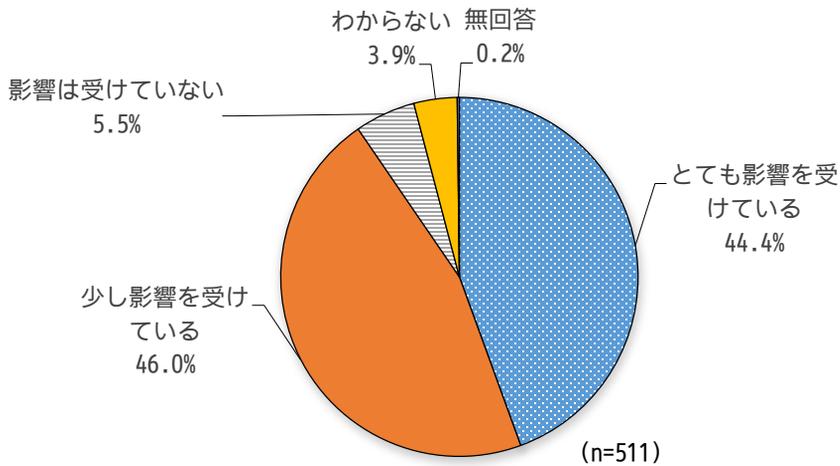


「強い危機感を持っている」48.3%、「多少危機感を持っている」40.9%を合計すると89.2%となります。

問6

少子高齢化・人口減少の影響を受けていますか？

9割の町内会が「影響を受けている」と回答しています。

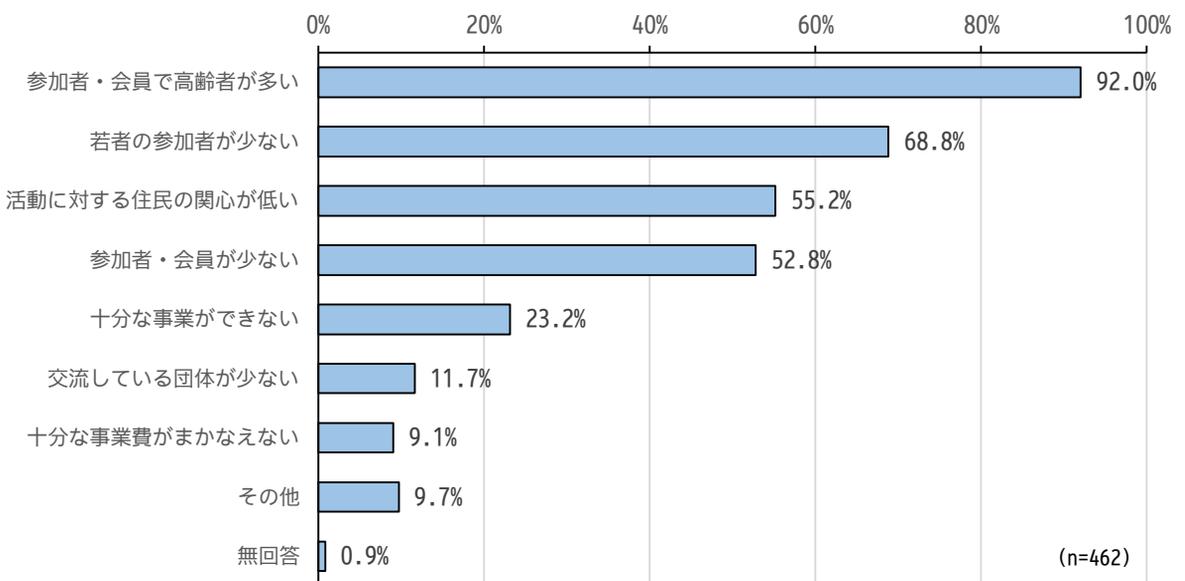


「とても影響を受けている」44.4%、「少し影響を受けている」46.0%を合計すると90.4%となります。

問7

問6で、影響を「とても受けている」「少し受けている」と回答した町内会について、具体的にどのような影響を受けていると感じますか？（複数選択可）

9割強の町内会が「参加者・会員で高齢者が多い」と回答しています。

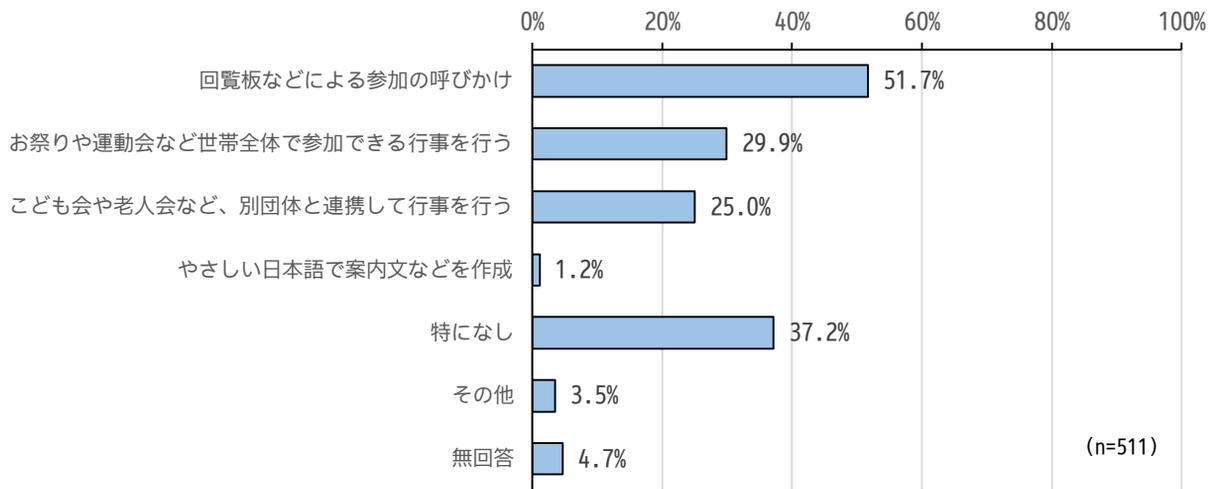


【その他】の主な内容

- 若い世帯で業界により日祭日が休みづらく行事に参加出来ない為退会している。（富田）
- 役員の交代がスムーズにいかない（なり手がいない）。（大槻）

問8 幅広い年代や外国人など多様な人に参加してもらうため
行っていることはありますか？（複数選択可）

半数の町内会が「回覧板による参加の呼びかけ」と回答しています。

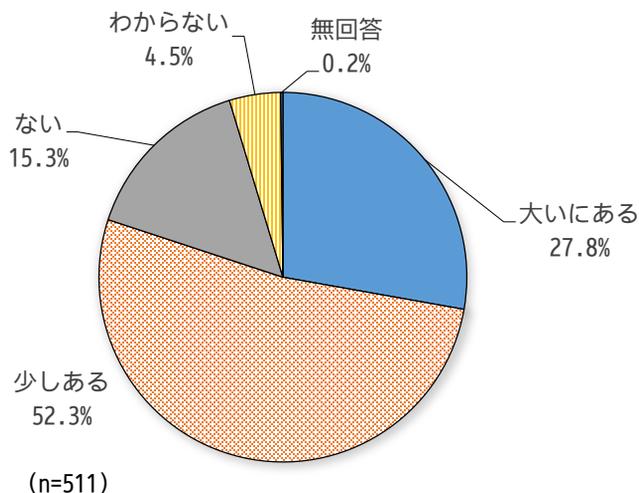


【その他】の主な内容

- コロナ禍で自治会広報（月）を発行開始。PR用として非会員にも配布しています。（旧市内）
- 町内会に賛同してくれる外部の方々に声をかけて、町内会行事に参加してもらっている。（旧市内）

問9 コロナ前と比べて、活動に変化はありましたか？

8割の町内会が活動に変化が「ある」と回答しています。

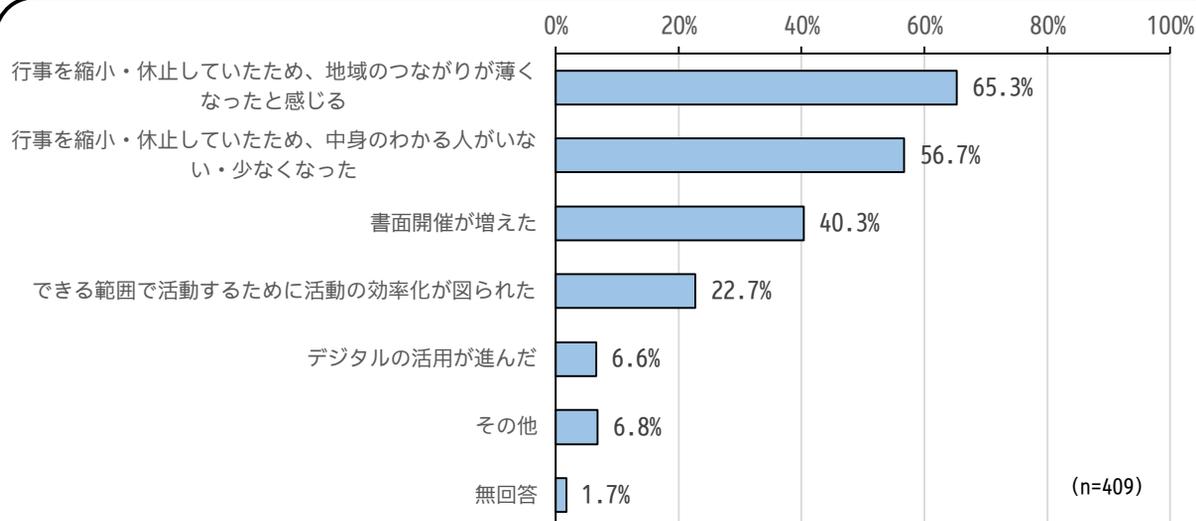


「大いにある」27.8%、「少しある」52.3%を合計すると80.1%となります。

問10

問9で、活動に変化が「大いにある」「すこしある」と回答した町内会について
 具体的にどのような影響がありましたか？（複数選択可）

6割強の町内会が「地域のつながりが薄くなった」と感じています。



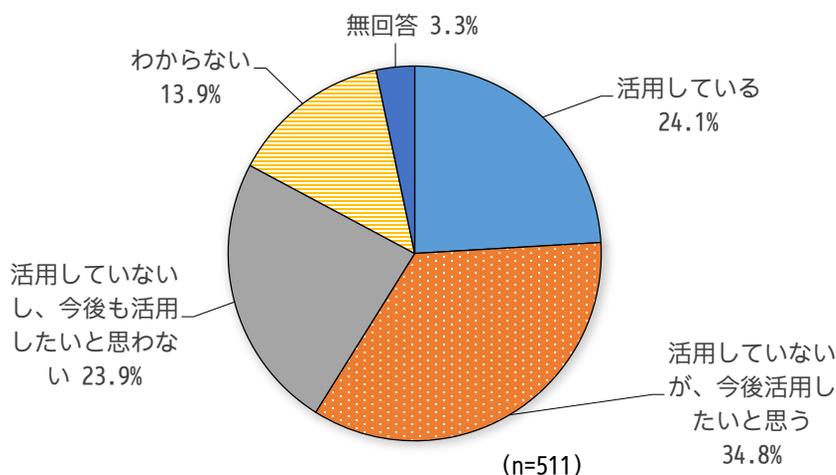
【その他】の主な内容

- 開催後の慰労会・反省会（飲食を伴う）が無くなり、親睦を深める機会が無く、お互いの考え方などのすり合わせる機会が無くなった。（日和田）
- 活動内容に変化はありませんが、定期的行事（資源物回収月1回、秋祭り年1回、こども育成行事年2回等）で多人数が集まる事が見込まれる場合、マスクの着用や手洗いの励行が常識となりました。（旧市内）

問11

ICTを活用している、または活用したいと思いますか？

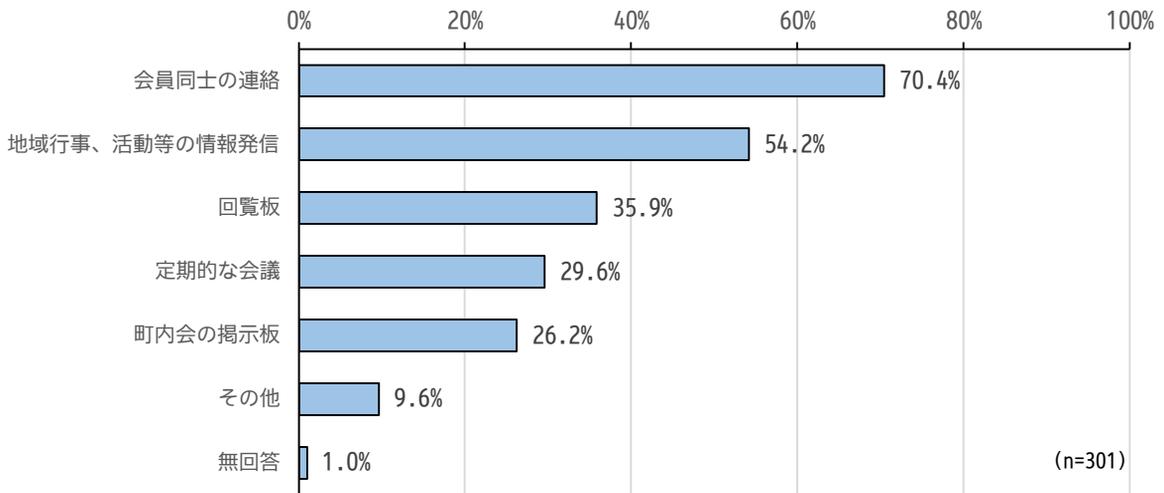
6割弱の町内会が「活用している」「今後活用したいと思う」と回答しています。



「活用している」24.1%、「活用していないが、今後活用したいと思う」34.8%を合計すると58.9%となります。

問12 問11で、ICTを「活用している」「今後活用したい」と回答した町内会について
 具体的にどのような活動に活用(したい)していますか？ (複数選択可)

7割の町内会が「会員同士の連絡」と回答しています。

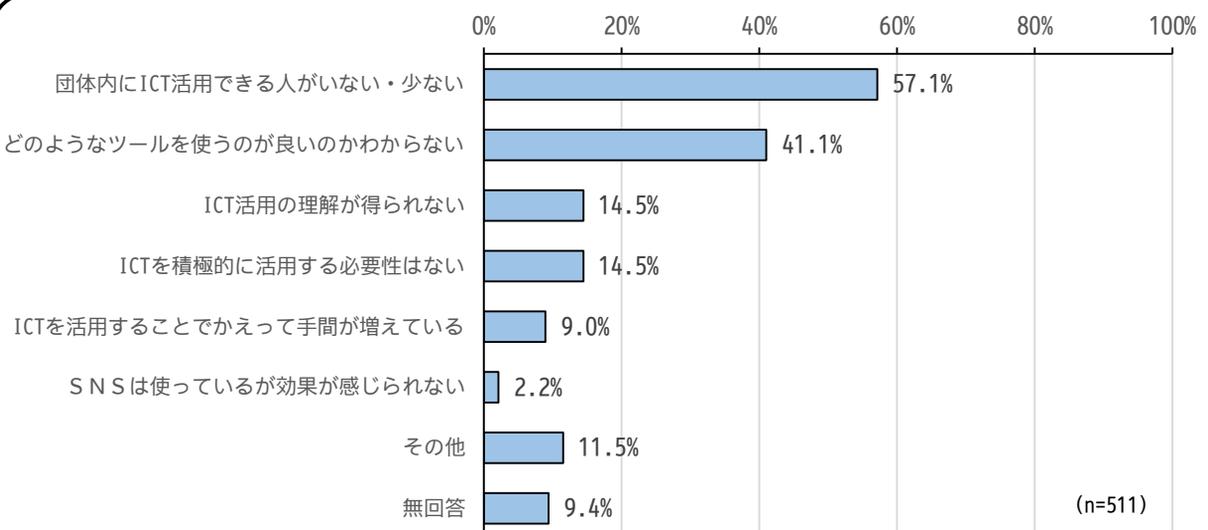


【その他】の主な内容

- 町内会での旅行、レクリエーションの開催希望を、Googleフォームを利用してアンケートをとった。(富久山)
- 防災関連に活用したい。(田村)

問13 ICT活用に関する課題や悩みは何ですか？ (複数選択可)

6割弱の町内会が「団体内にICT活用できる人がいない・少ない」と回答しています。

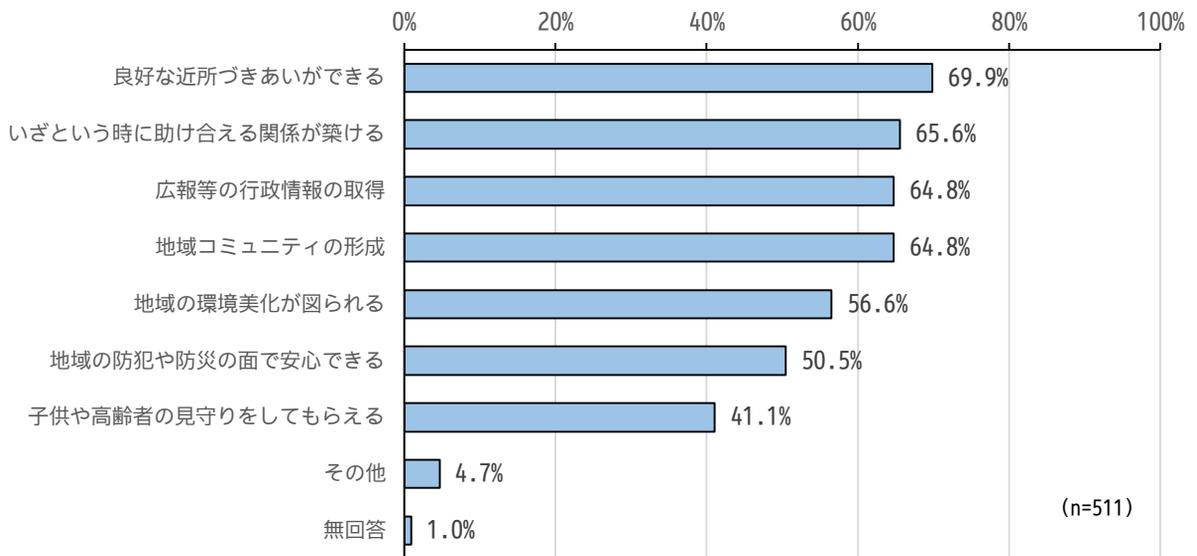


【その他】の主な内容

- ICT活用時に必要な機器(スマホ・PC)を高齢者が所持している割合が低い為、ICTを導入すると情報伝達や意見の集約が偏ってしまう。(旧市内)
- 高齢化が進んでいるため不可であると思う。電子化は進められると思うが、紙の廃止は難しいと思う。(旧市内)

問14 町内会に加入することの意義(メリット)は何ですか？(複数選択可)

7割の町内会が「良好な近所づきあいができる」と回答しています。



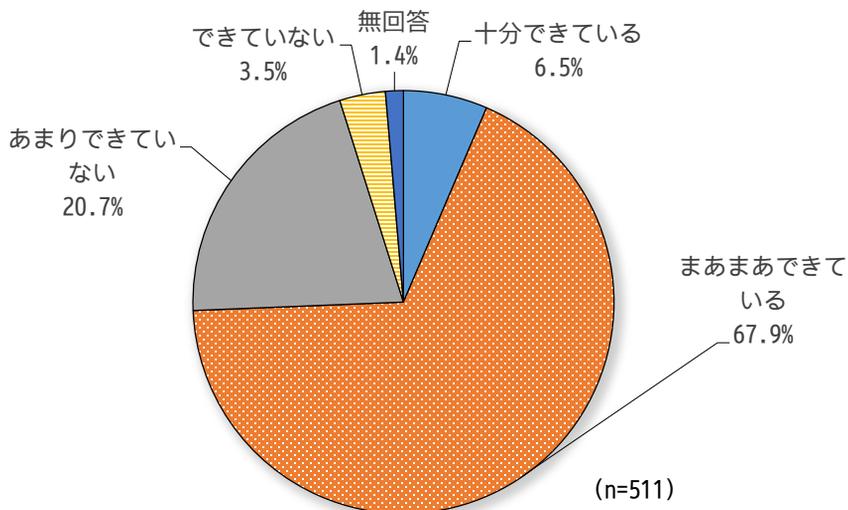
【その他】の主な内容

- 近年大きな災害の発生、共助はとくに大切で必要となる(富田)
- ごみ集積所の使用(旧市内)

問15

(問14の) 町内会に加入する意義のための活動はできていますか？

7割強の町内会が「できている」と回答しています。

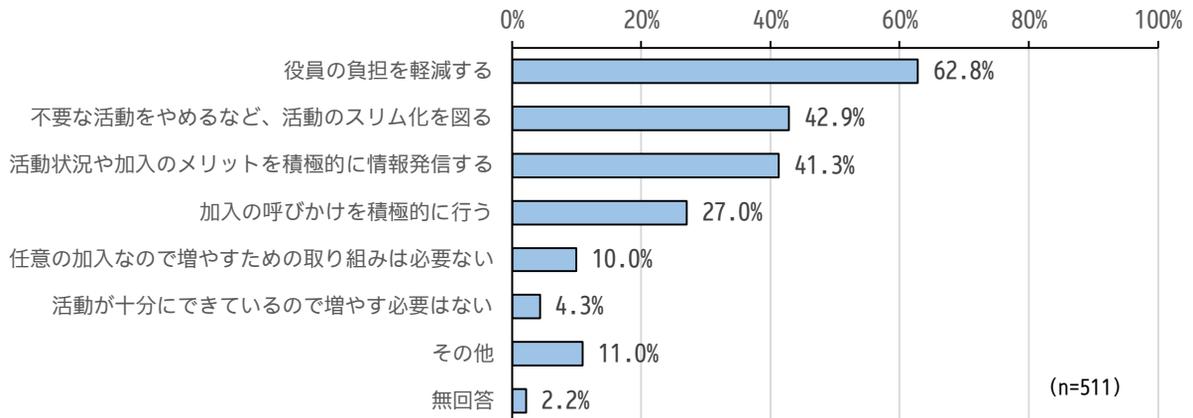


「十分できている」6.5%、「まあまあできている」67.9%を合計すると74.4%となります。

問16

町内会加入を増やすために必要な取組は何ですか？（複数選択可）

6割強の町内会が「役員の負担を軽減する」と回答しています。



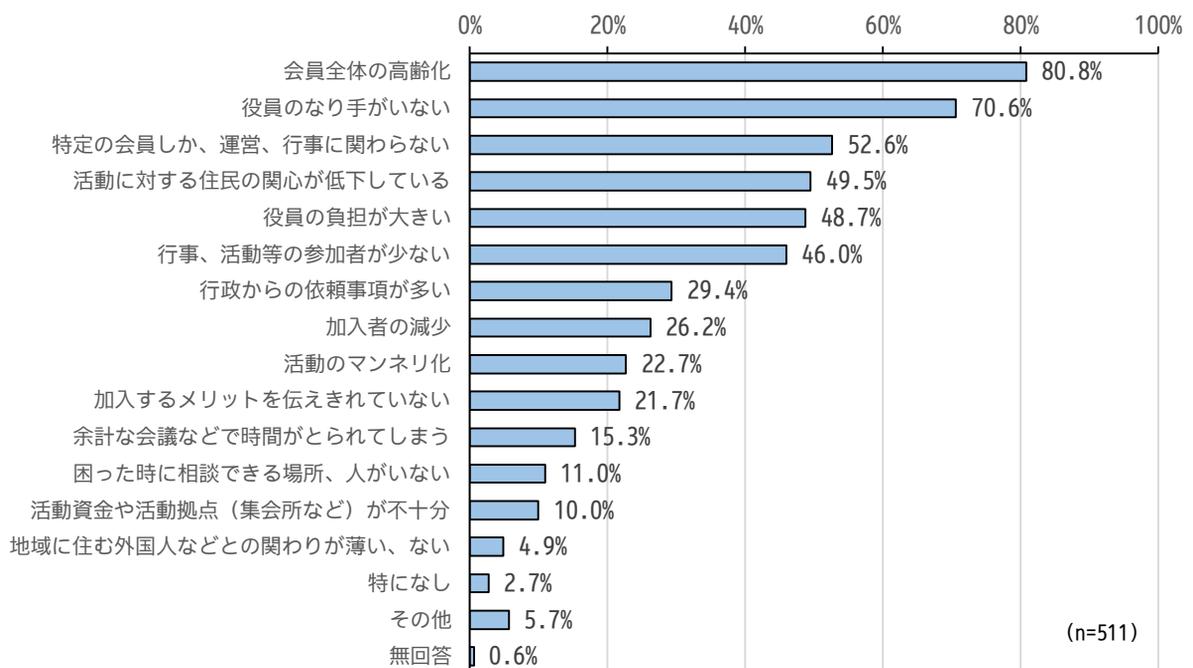
【その他】の主な内容

- アンケートを実施して、町内会活動のスリム化を図った。（富久山）
- 関係する団体が多すぎる、会費の使い方が各団体の負担金になっているので、それを見直す必要がある。平日の開催や高齢者を対象にしたイベントが中心なので、若年層にも理解の得られるイベントを増やす必要がある。（旧市内）

問17

活動するうえでの課題・悩みは何ですか？（複数選択可）

8割の町内会が「会員全体の高齢化」と回答しています。



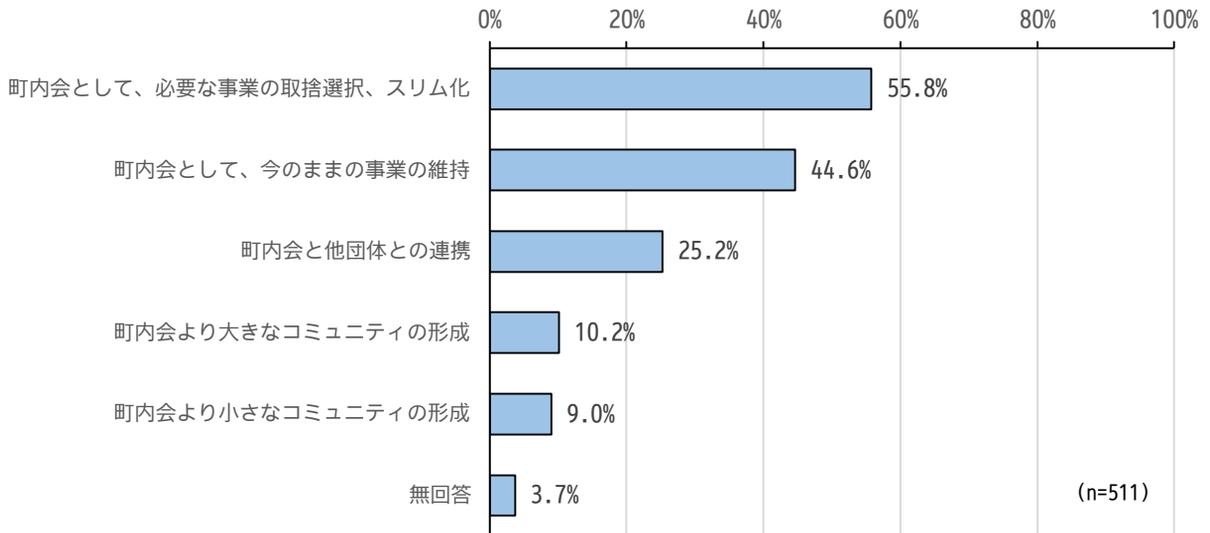
【その他】の主な内容

- 働いている為、自治会等の活動が平日にあると仕事を休まなければならなくなる。仕事を休むと給料が減る。（大槻）
- 未加入世帯への個別の訪問は大切ですので、同じ理解に立つ役員が必要となる。（富田）

問18

地域コミュニティを維持していくために
今後、必要な取組は何ですか？(複数選択可)

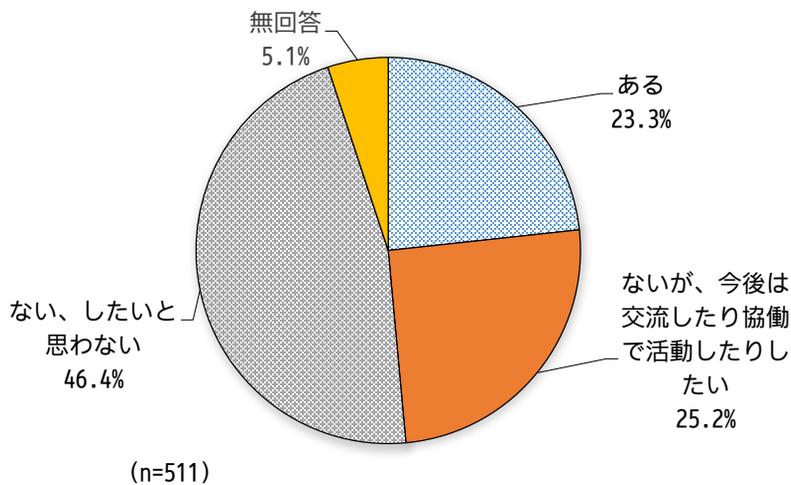
6割弱の町内会が「町内会の必要な事業の取捨選択、スリム化」と回答しています。



問19

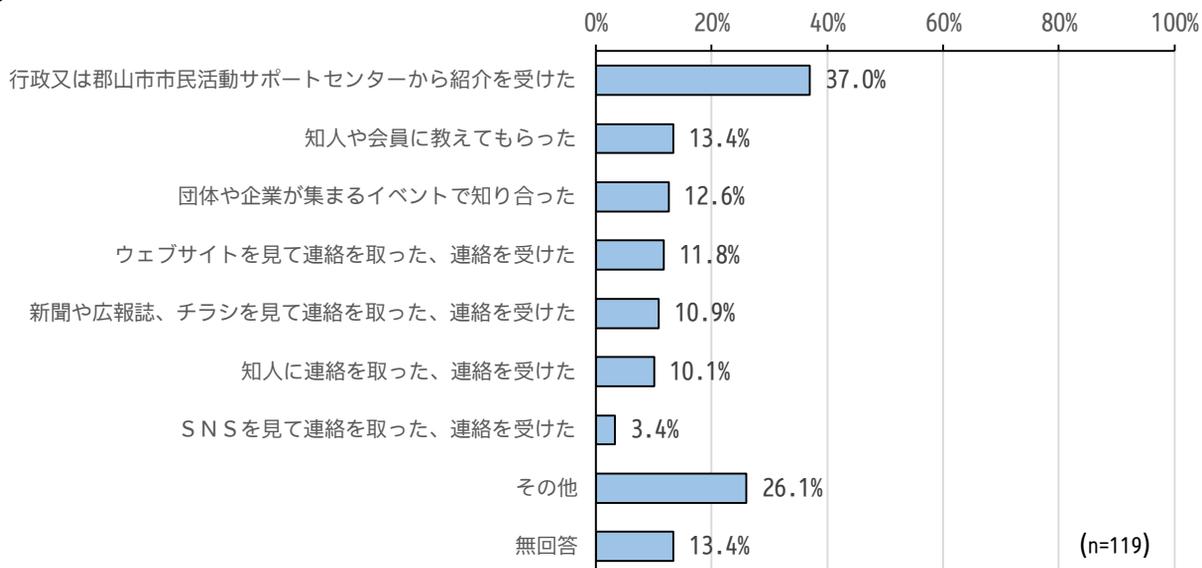
他の団体や行政（市）と交流したり
協働で活動したりしたことはありますか？

2割強の町内会が「ある」と回答しています。



問19で、交流や協働で活動をしたことが「ある」と回答した町内会について
交流や協働のきっかけとなった要因は何ですか？ (複数選択可)

4割弱の町内会が「行政又はサポートセンターから紹介を受けた」と回答しています。

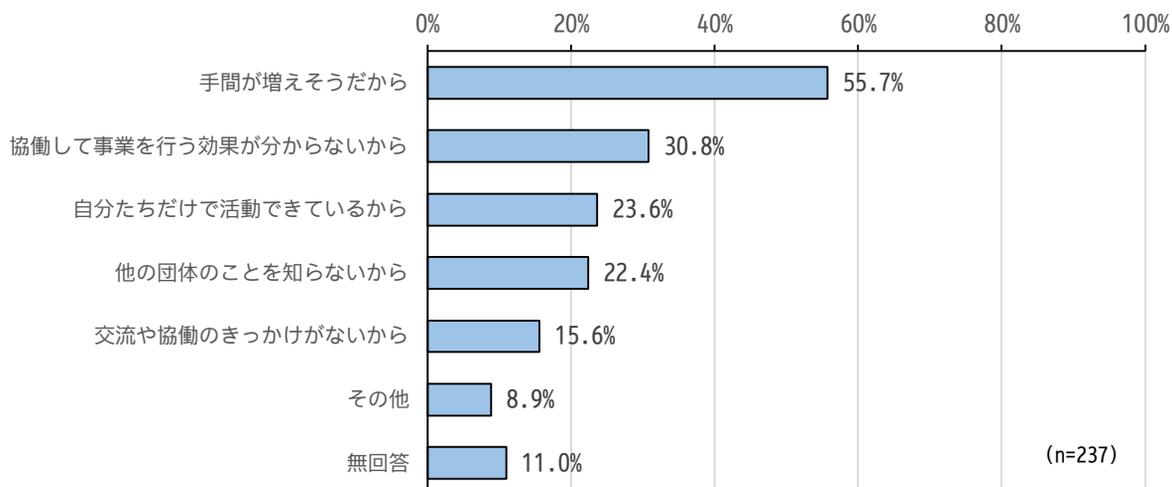


【その他】の主な内容

- 前役員より4町内で協力してイベントを実施していた (旧市内)
- 地区協議体の開催 (市社会福祉協議会の支援) (富久山)

問19で、交流や協働で活動をしたことが「ない、したいと思わない」と回答した町内会について
交流や協働しない (したくない) 理由は何ですか？ (複数選択可)

6割弱の町内会が「手間が増えそうだから」と回答しています。

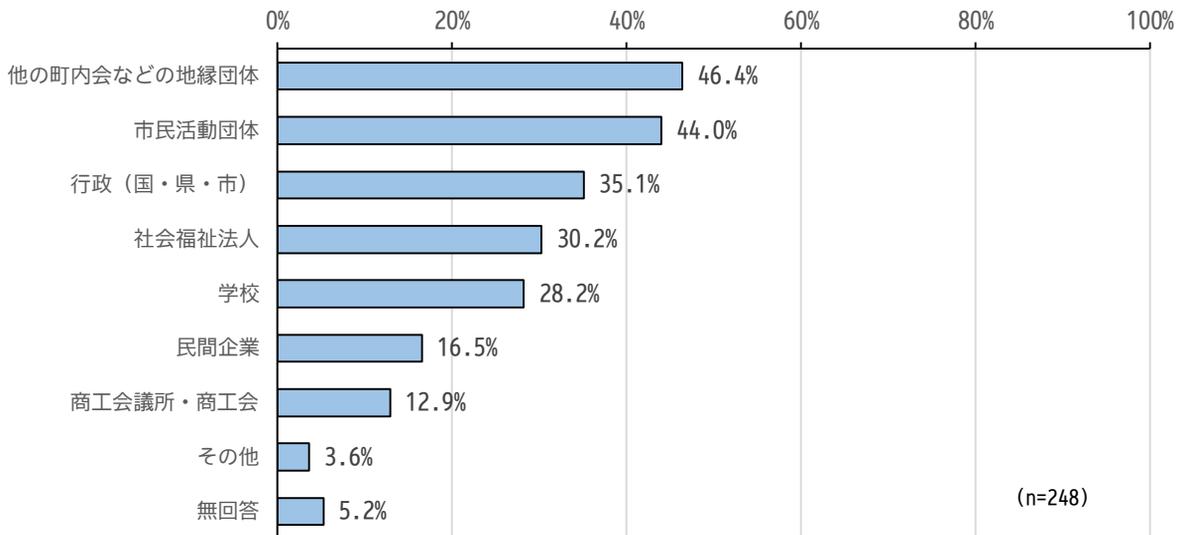


【その他】の主な内容

- 無関心な人が多い、会員の理解が得られない。他人との関わりを持ちたくない人が多い。(大槻)
- 現在の町内会活動だけでもかなりの時間と労力を費やしているので、これ以上の負担は極力遠慮したい。(片平)

問20 問19で、交流や協働したことが「ある」「ないが今後したい」と回答した町内会について
 交流や協働した(したい)相手先はどういった団体ですか？(複数選択可)

5割弱の町内会が「他の町内会などの地縁団体」と回答しています。

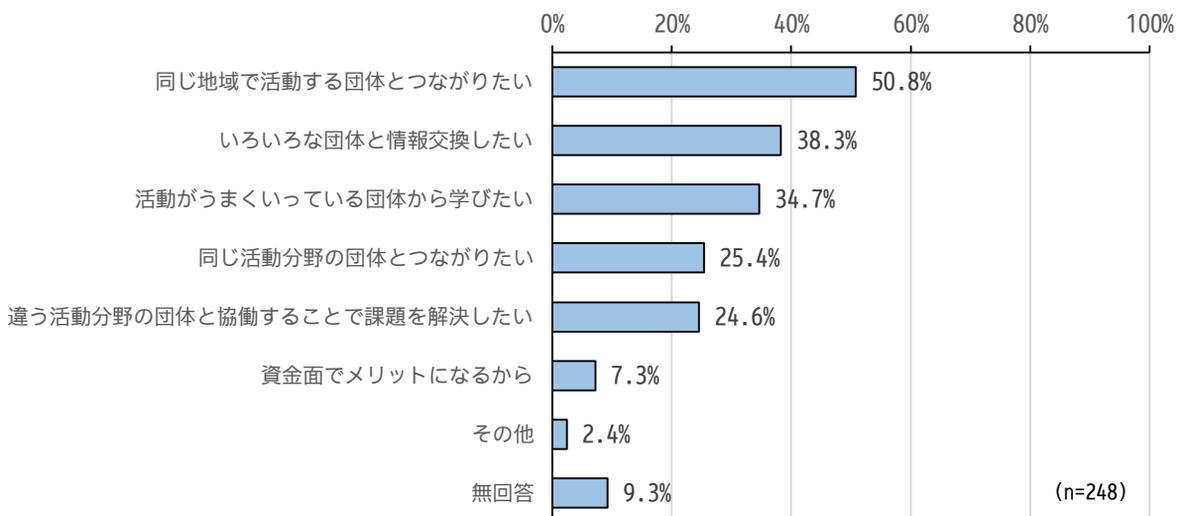


【その他】の主な内容

- 郡山地区社会福祉協議会、郡山市中央高齢者安心サポートセンター(旧市内)
- 地元の消防団、NPO法人(キャリアデザイナーズ)(富久山)

問21 問19で、交流や協働したことが「ある」「ないが今後したい」と回答した町内会について
 交流や協働した(今後したい)理由は何ですか？(複数選択可)

半数の町内会が「同じ地域で活動する団体とつながりたい」と回答しています。

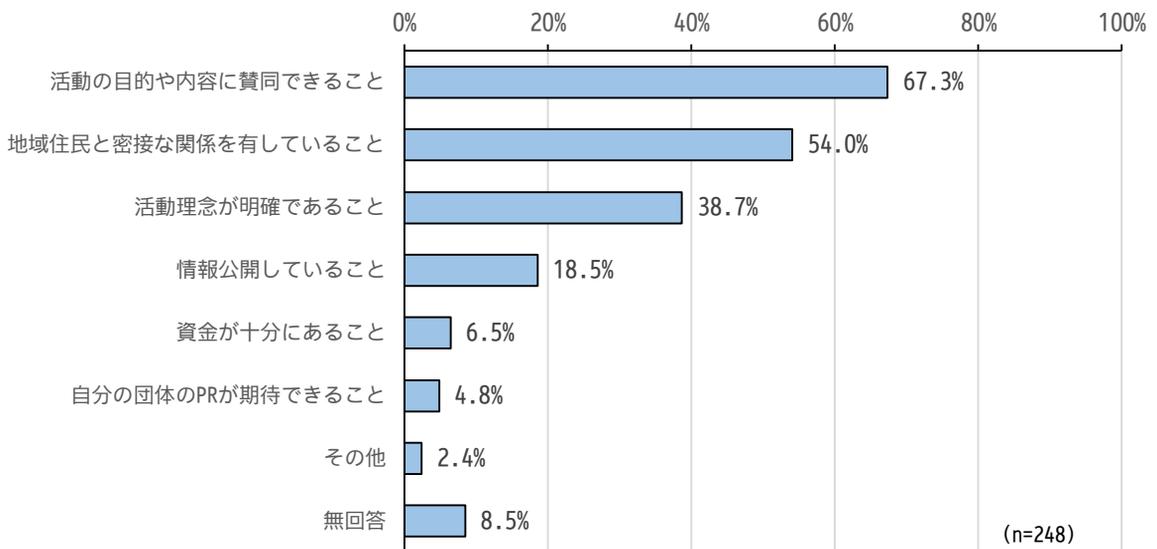


【その他】の主な内容

- 行政との協働による課題解決(富久山)
- 災害時の連携・防災(田村)

問22 問19で、交流や協働したことが「ある」「ないが今後したい」と回答した町内会について
交流や協働するうえで相手に求めるものは何ですか？ (複数選択可)

7割弱の町内会が「活動の目的や内容に賛同できること」と回答しています。

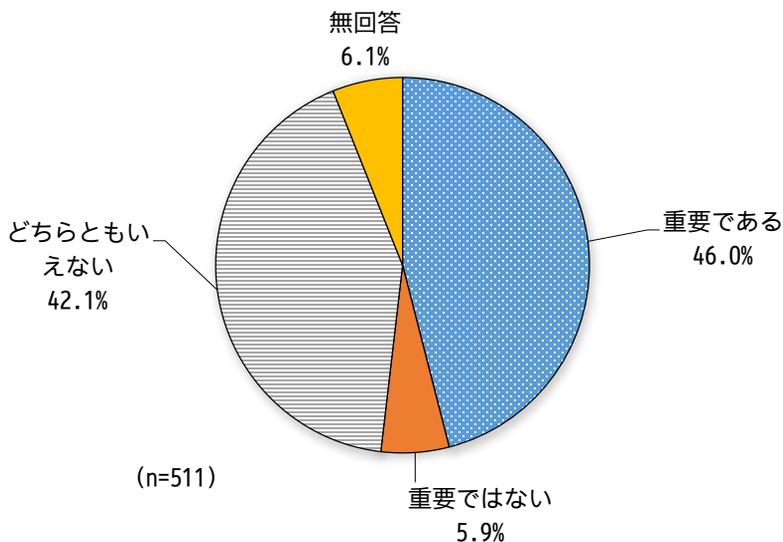


【その他】の主な内容

- 地域の活性化や安心して過ごせる環境作り (旧市内)
- 町内の種々の課題・問題点・困っていることを前向きに協力し合えること (旧市内)

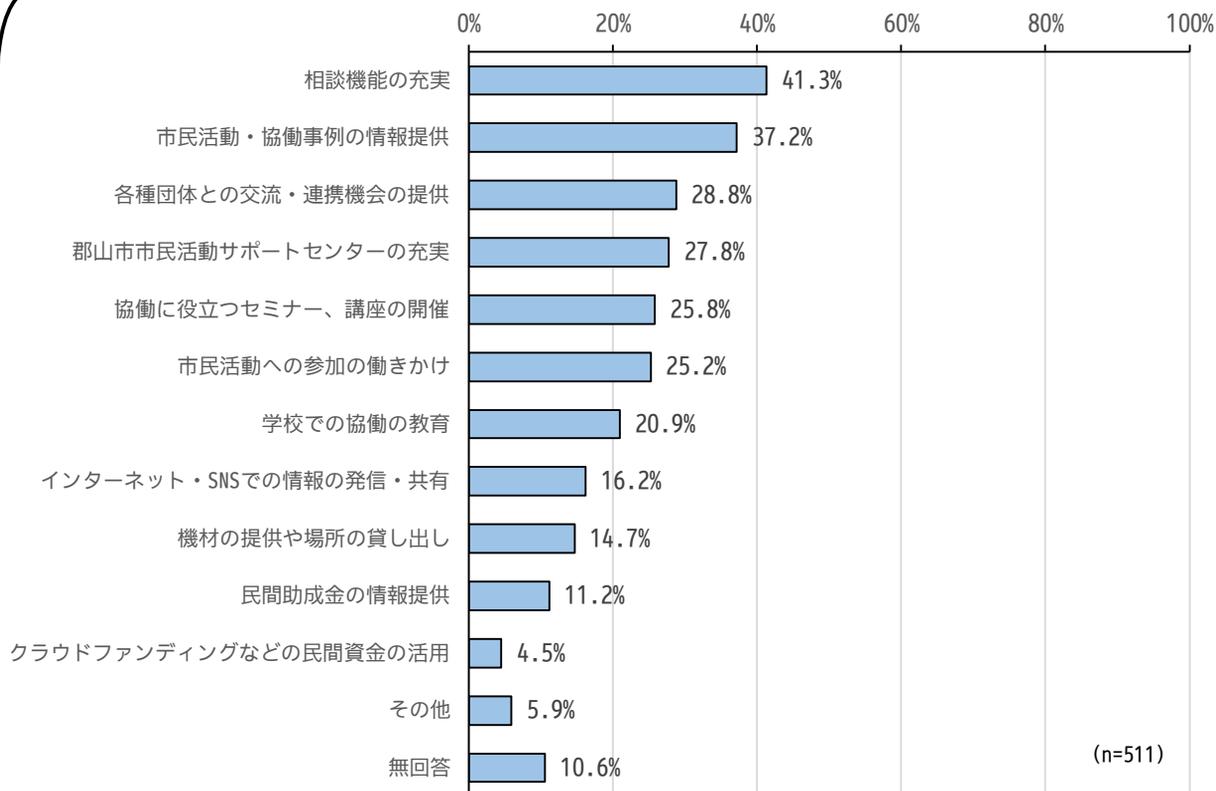
問23 今後のまちづくりにおいて「協働」が重要だと思いますか？

5割弱の町内会が「重要である」と回答しています。



協働のまちづくりの推進のため 行政が取り組むべきことは何ですか？（複数選択可）

4割の町内会が「相談機能の充実」と回答しています。



【その他】の主な内容

- それぞれの地縁団体の活動に賛同する人を会員にまき込むことで地域文化を継承する必要があると思う（旧市内）
- リーダーの育成（田村）
- 子育て世代の参加を増やす取り組み（日和田）

主な意見を抜粋し、掲載しました。寄せられたご意見は、ここに掲載していないものを含め、今後の協働のまちづくりに活用させていただきます。

【協働に関すること】

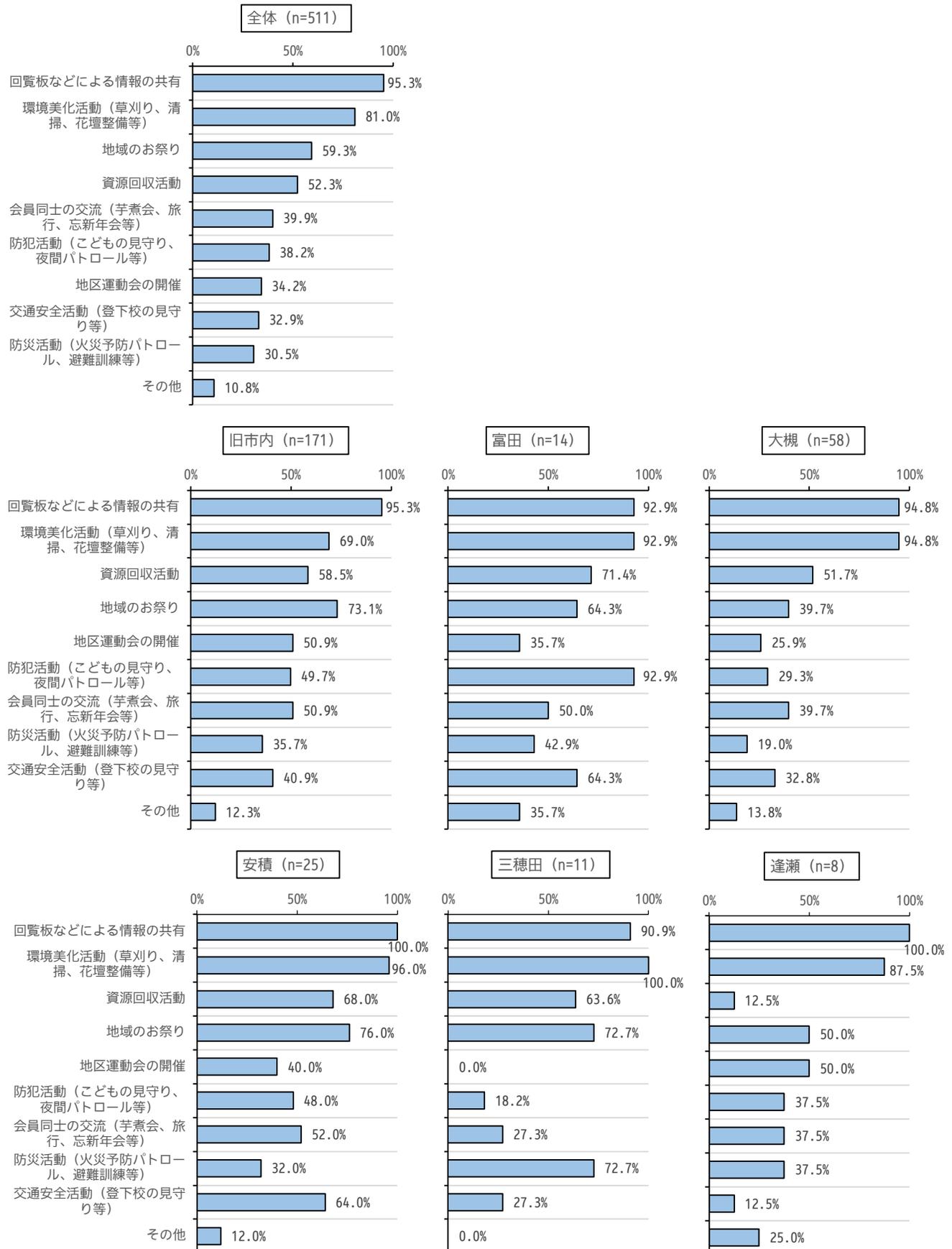
- 少子高齢化・人口減少が進むからこそ「協働」がますます重要になりますので、設問にあった行政が取り組むべきことに期待します。（大槻）
- 協働のイメージは判るのですが、具体的にどう言うことか、具体例成功例等、教えてもらいたいと考えています。自治会の活動に取り入れて行くことはこれから大切かと思えます。（富田）
- このアンケートは町内会長とか比較的高齢者が対象と思いますが、現役社会人や若い人の考え・意見・新しい発想も取り入れ対比してみたまちづくりにヒントがあるかも知れません。（旧市内）
- 協働まちづくりに町内会がどう関わっていけるのか。町内会そのものの運営が以前より大変になっている中でも、若い人たちの力（英知）で関係機関や団体と連携し、地域の課題解決に取り組みれば協働のまちづくりが実現できると思っております。（旧市内）
- 現在、少子高齢化が加速する中、近隣町内会との協働が大事ではないかと思えます。（熱海）
- 複数（2～3個）の町内会共同の集会所の設置。協働の拠点とする。空き家があれば利用。公民館は位置的に遠いので気軽に集まれない。協働は単独の町内会では困難。（旧市内）
- 隣近所とのつながりが弱まっている要因は“個”の意識が強く、地縁の中で生活しているという思い、地域への必要性を感じていない…ことによるものと思えます。こうした中であって、協働という面から何か事業ができれば意義は大きいと思えます。当町内会では、近々、数年ぶりに育成会との懇談の場を設けておりますので、若い人達の声を変えて聴いてみたいと思えます。（片平）

【町内会組織・運営に関すること】

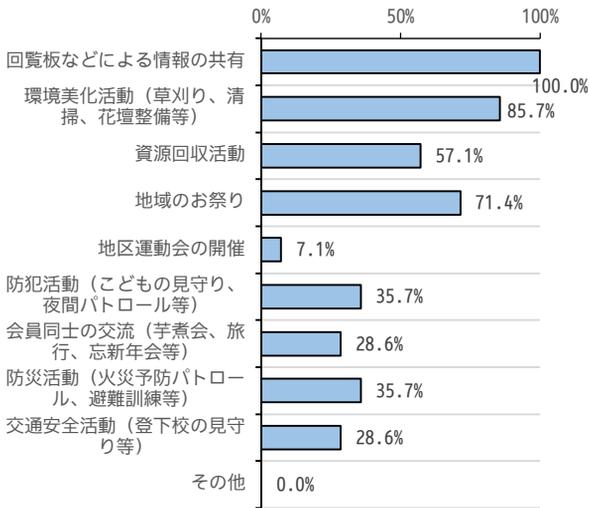
- 今年、新会長に就任するにあたり、当町内会員世帯（約100戸）に「町会役員として協力意向調査」を実施したが、協力しても良いとの意向が示されたのは1名のみでありました。各町会の中で、地域住民に対し、町内会活動への参加等の意義や意識改革がないと、市全体としての協働も難しいと考えます。まず、足元からの地道な協働が必要なかとも思えます。（旧市内）
- 長くすんでいる人達に自治会からぬけたい人がいます。この人達は若いからだと思えますが高齢になった時にどのように思うかなと思えます。（大槻）
- 小規模な町内会は消滅する方向にいくでしょう。替って、若い世代による、より大きなコミュニティが形成されていくことに期待。そのためには、民間企業の協力とそれを促す政策が必要。（旧市内）
- 設問の内容を見ると町内会は必要というのが前提でのものが多いように見えました。町内会が現在も必要な制度なのかや、町内会に代わる新しい形の構築などを考えていないのでしょうか？時代は変わっていくので、いつまでも町内会制度必要論に固執しないことのほうが必要で、そういった声があるのかも幅広く聞くことが大事だと思います。（富久山）
- コロナで町内会・育成会の活動や人と人とのつながりが少なくなり関わりが少なくなっていたので、子どもと高齢者と顔を合わせ関係性の構築をしたいです。地域で子どもを育てて高齢者を見守り敬う事の大切さだと思います。（富久山）
- 町内会を責任をもって運営する人材が不可欠と思えます。社会構造として、戸建、共同住宅、特にマンションによっては町会とは無縁です。現在は高齢者でも生活の為に就業しており、町会活動に理解は示すが活動には参画できない。子どもには地域で過ごしたことが良い体験につながるような活動などを考えていきたい。（旧市内）
- まだわたしども部落は、年4回の草刈り部落のお祭りその他行事は、なんとか処理できていると思えます。ただ、草刈りに参加する年齢層が高くなり、河川をかかえている部落としては大変な負担です。河川の草刈り、清掃を行政で少し手だすけして貰えないでしょうか。（三穂田）
- ICTを活用して会員との情報提供と各種回答を行えるなど、応答的なやりとりができようになると、コミュニティが復活出来るのではないかと。高齢になっても仕事をしている人が多く不在で確認が取りづらい。（旧市内）

2 主な地域別集計結果（クロス集計）

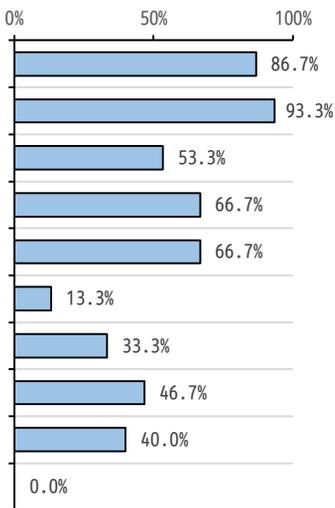
問2 現在どのような活動をしていますか？（複数選択可） ※無回答を除く



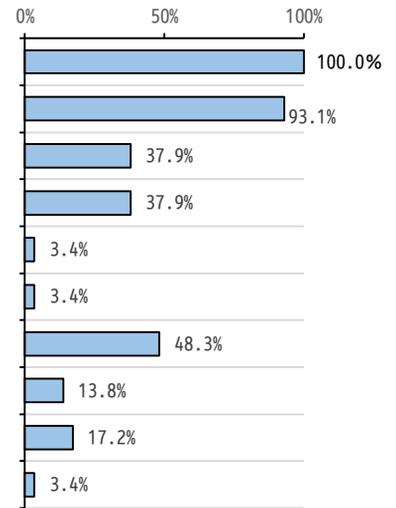
片平 (n=14)



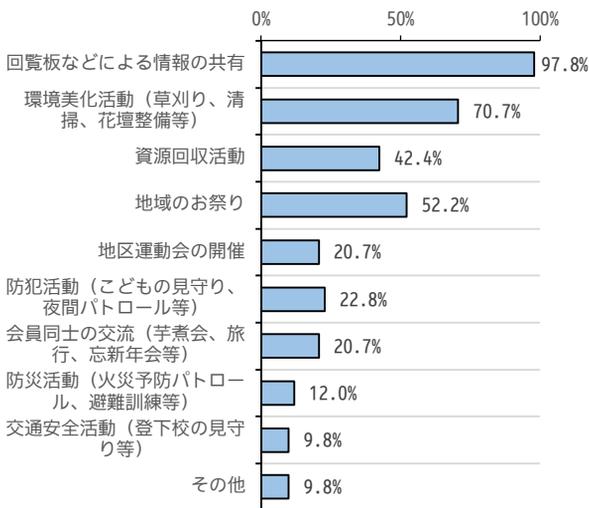
喜久田 (n=15)



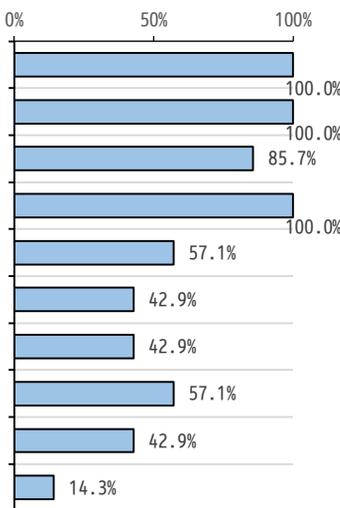
日和田 (n=29)



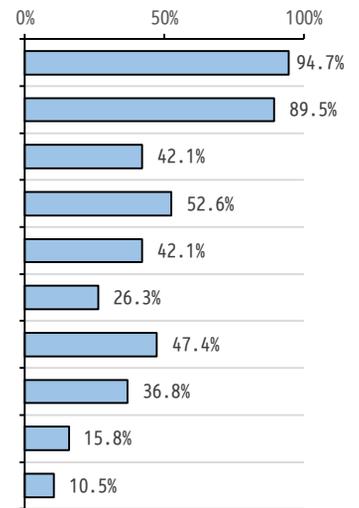
富久山 (n=92)



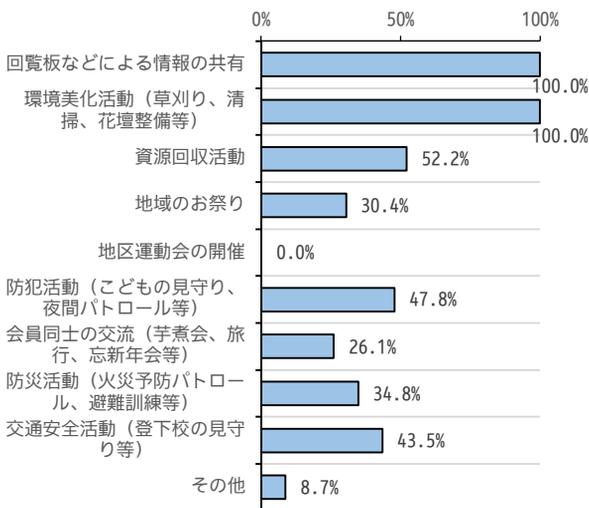
湖南 (n=7)



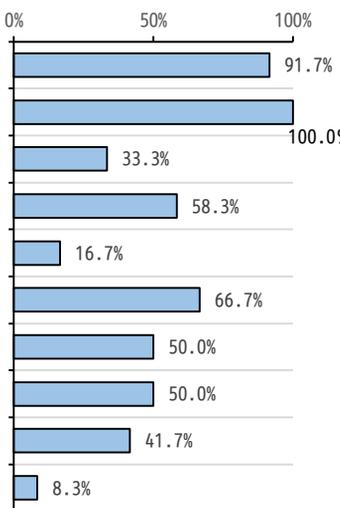
熱海 (n=19)



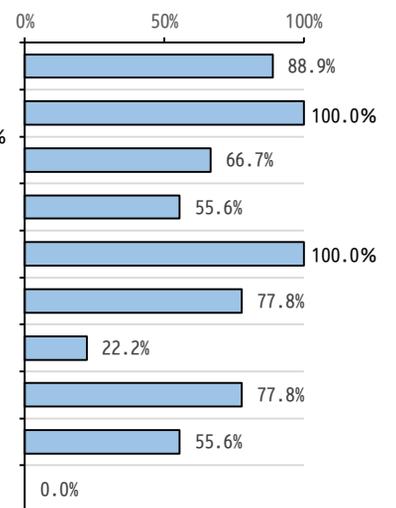
田村 (n=23)



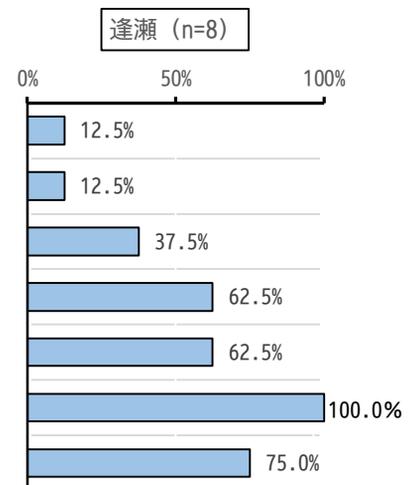
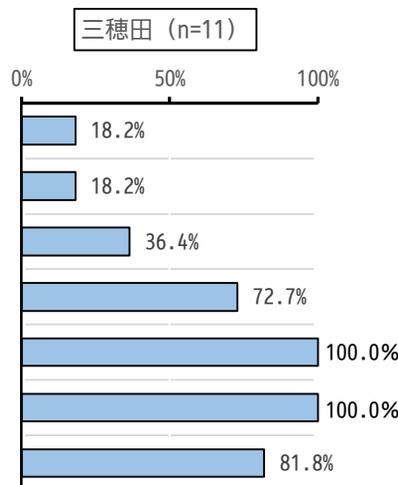
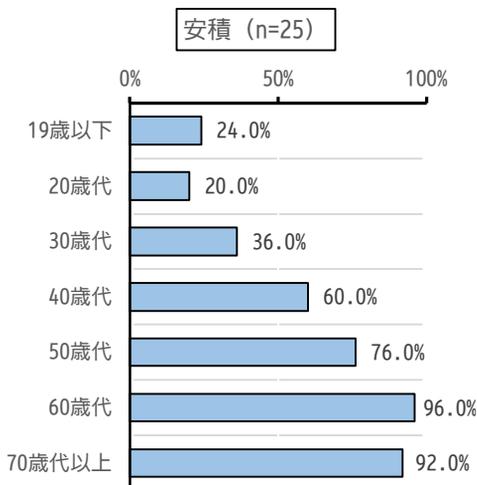
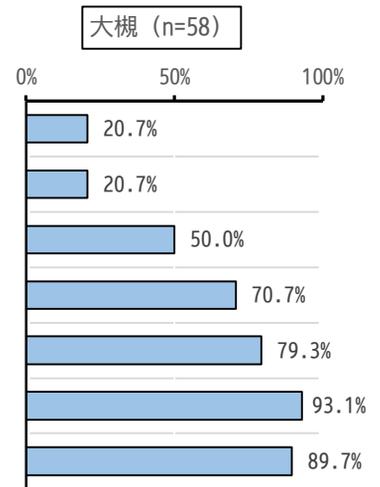
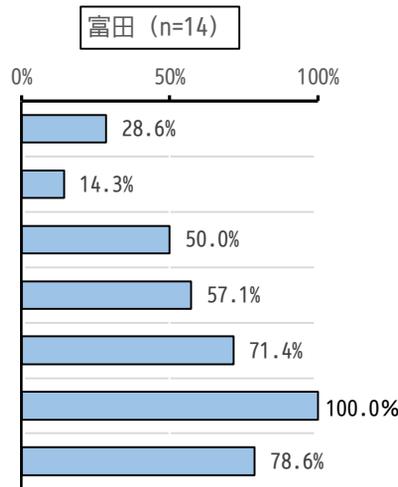
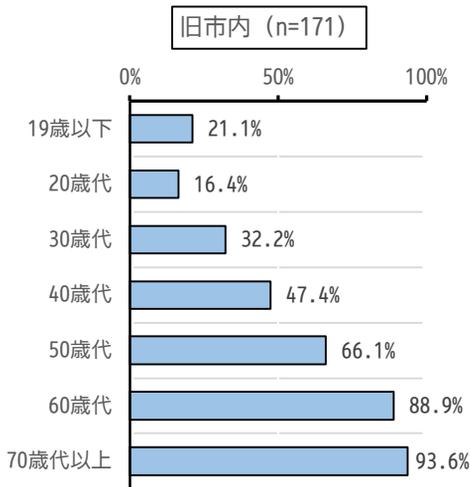
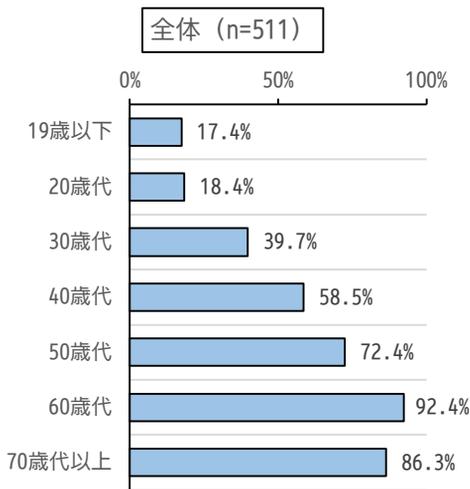
西田 (n=12)



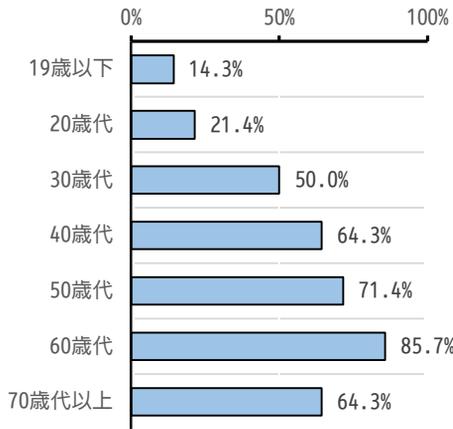
中田 (n=9)



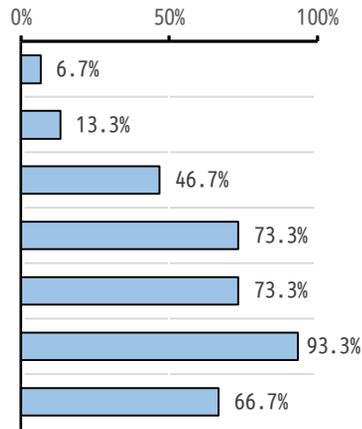
問3 活動にはどの年代の方が参加していますか？(複数選択可) ※無回答を除く



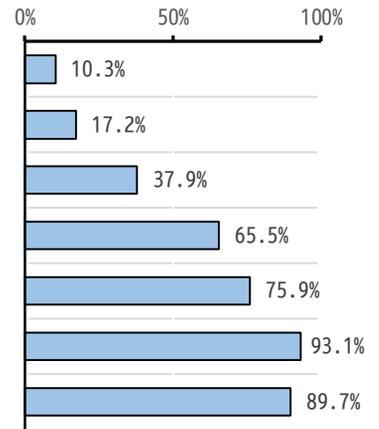
片平 (n=14)



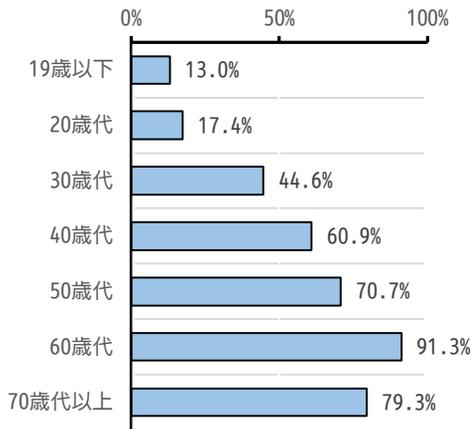
喜久田 (n=15)



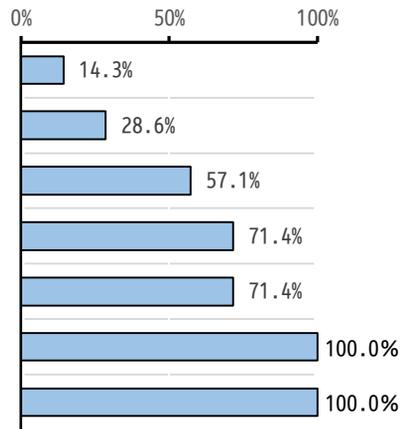
日和田 (n=29)



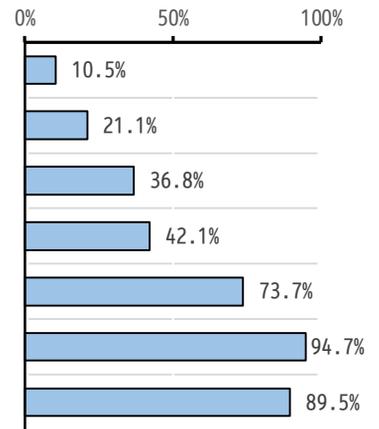
富久山 (n=92)



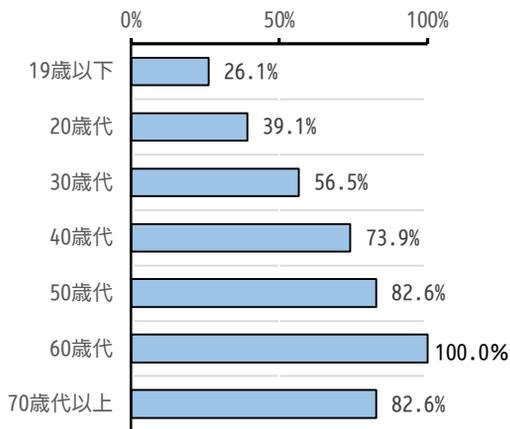
湖南 (n=7)



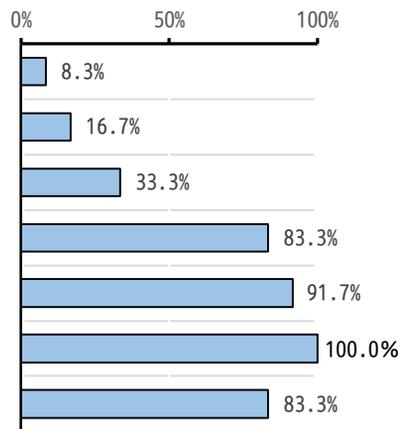
熱海 (n=19)



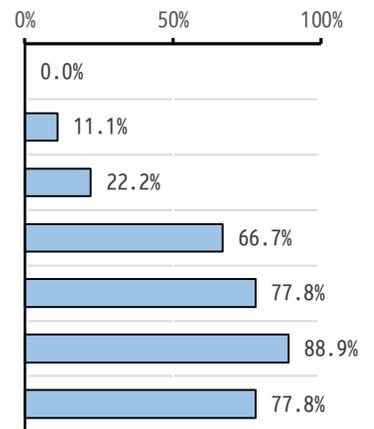
田村 (n=23)



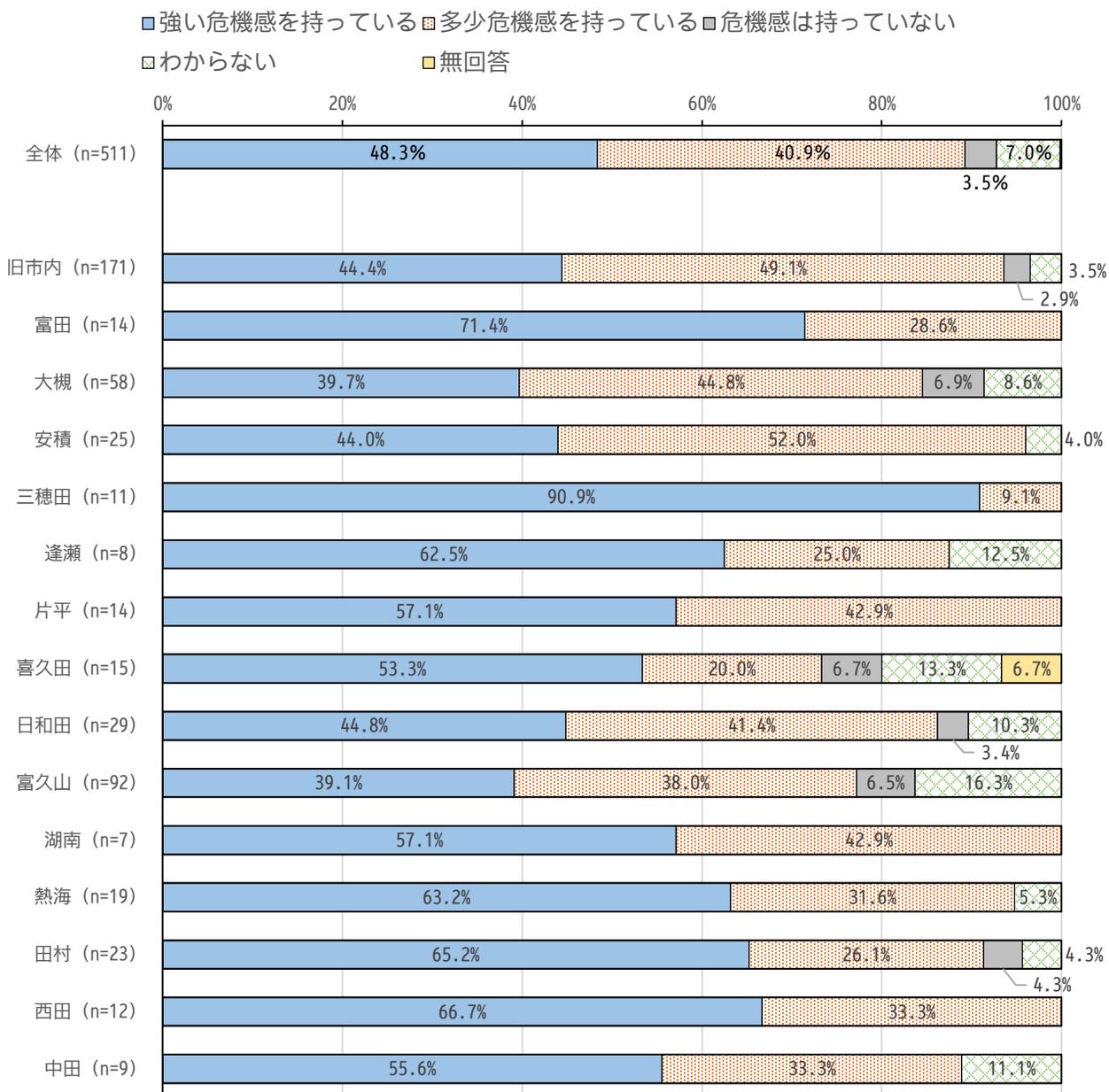
西田 (n=12)



中田 (n=9)

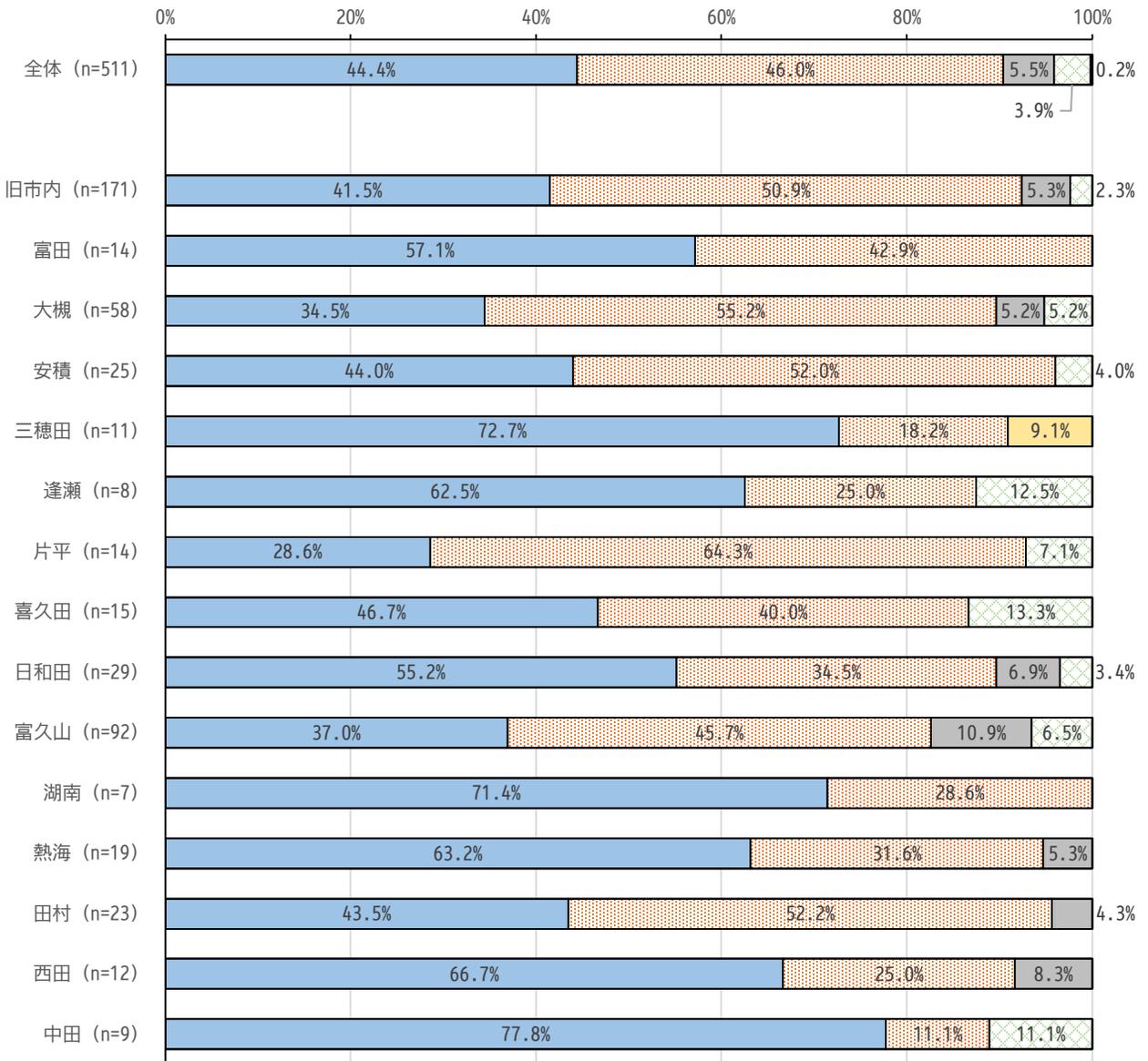


問5 少子高齢化・人口減少をどう受け止めていますか？

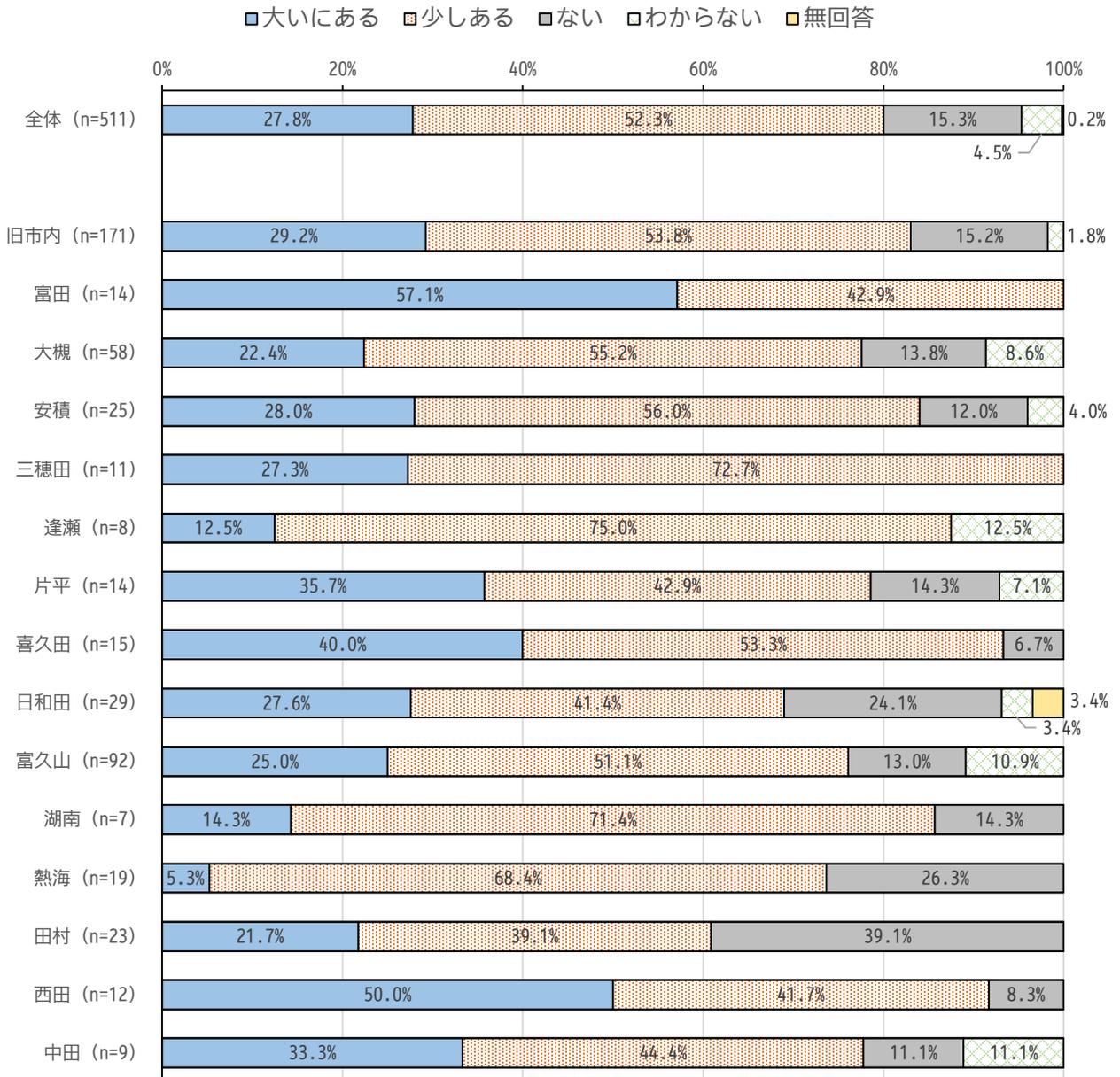


問6 少子高齢化・人口減少の影響を受けていますか？

とても影響を受けている
 少し影響を受けている
 影響は受けていない
 わからない
 無回答

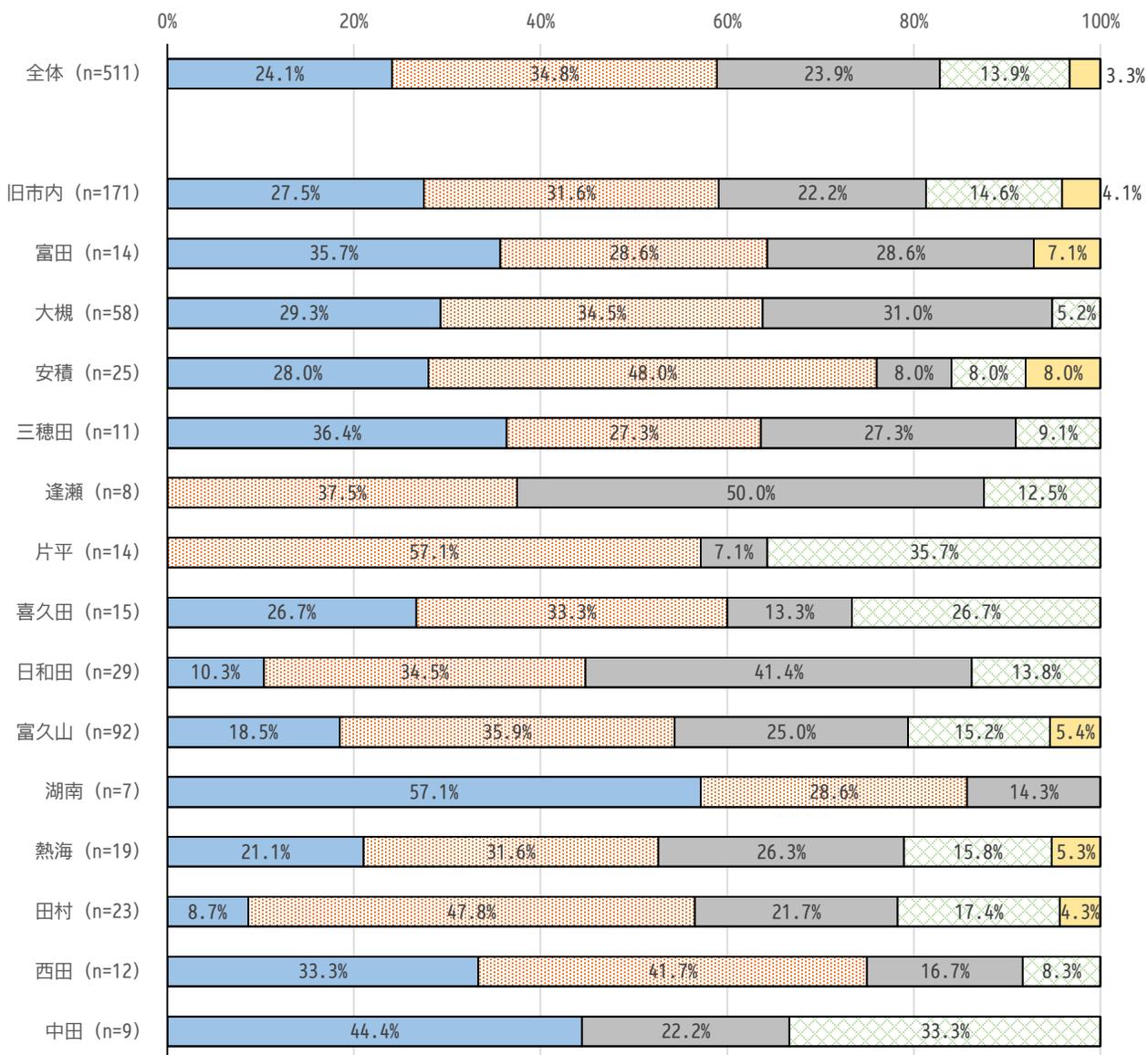


問9 コロナ前と比べて、活動に変化はありましたか？



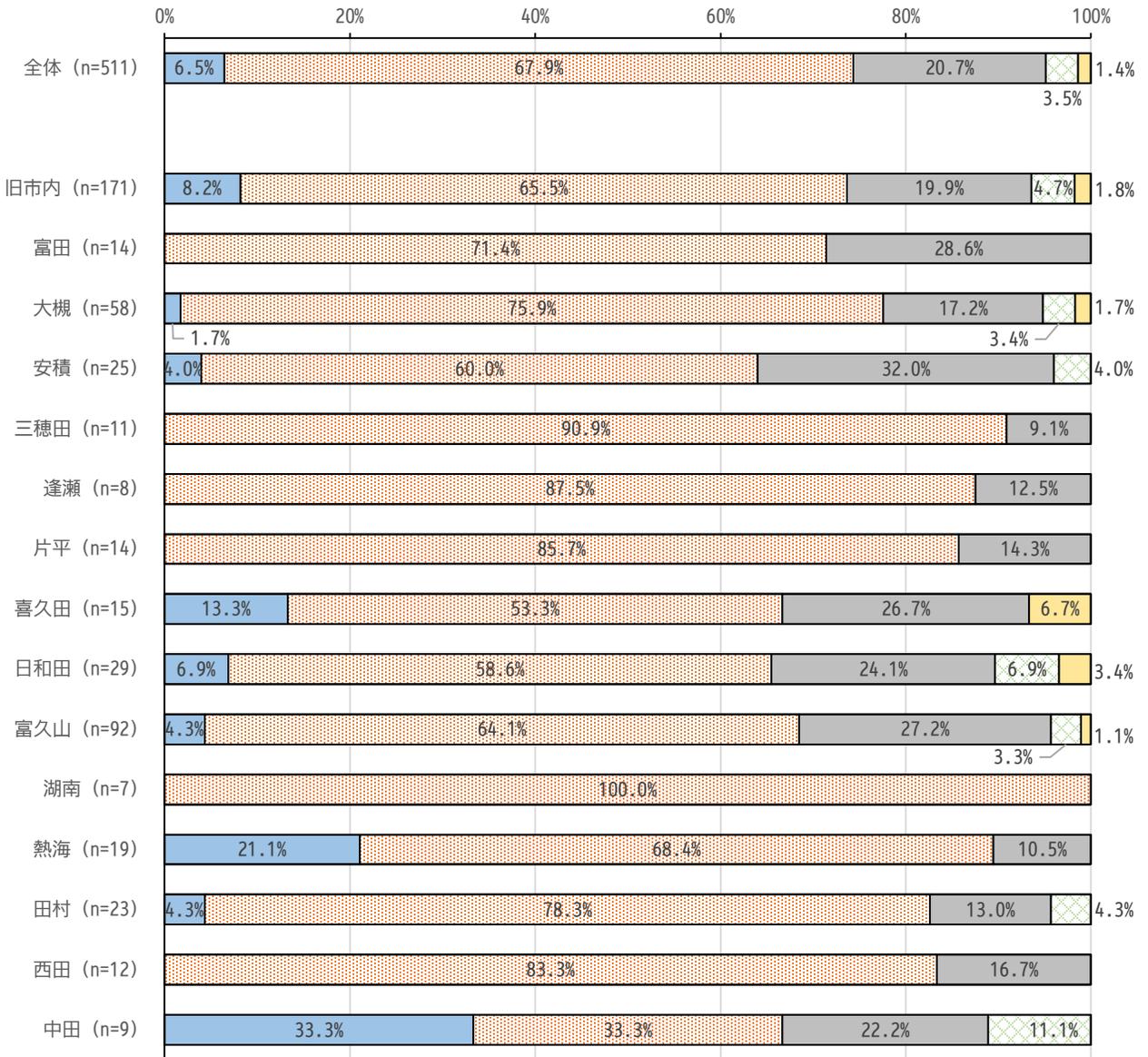
問11 ICTを活用している、または活用したいと思いますか？

- 活用している
- 活用していないが、今後活用したいと思う
- 活用していないし、今後も活用したいと思わない
- わからない
- 無回答



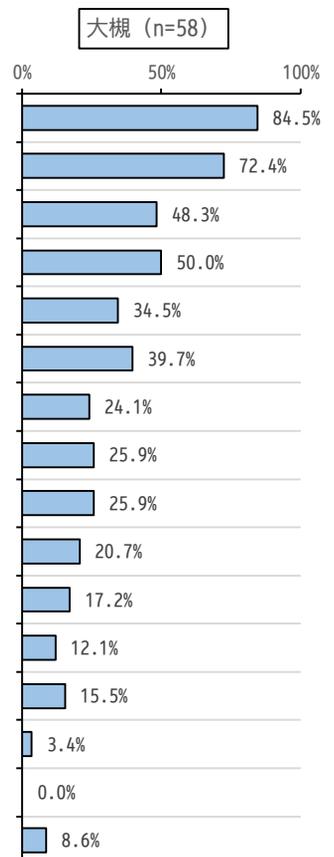
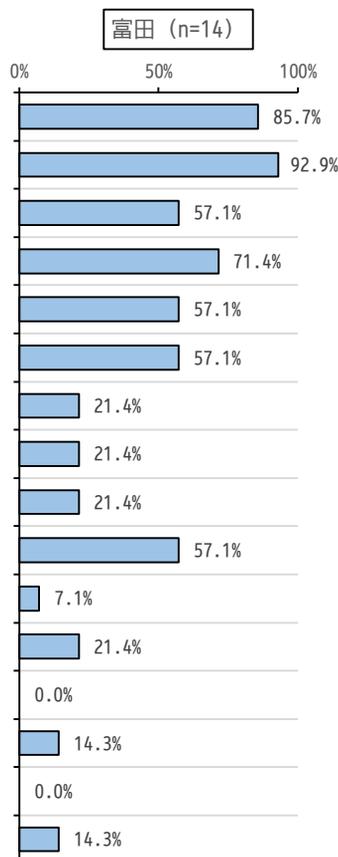
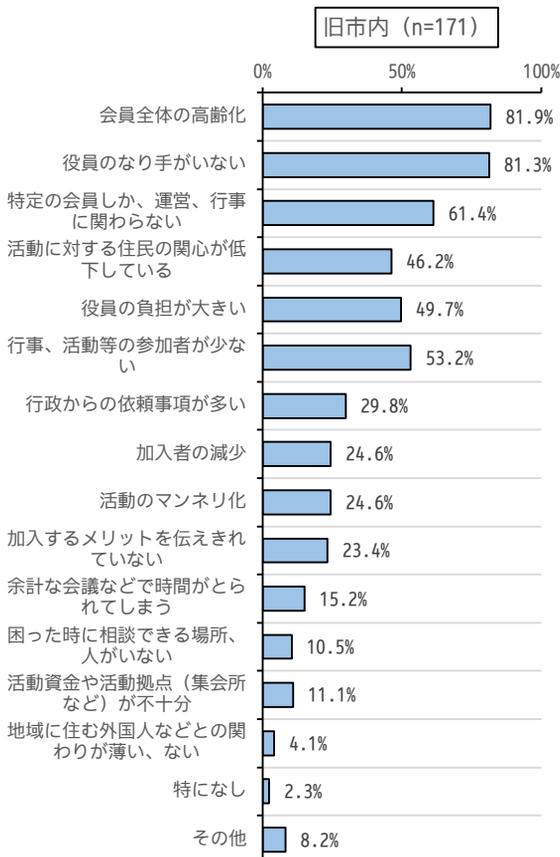
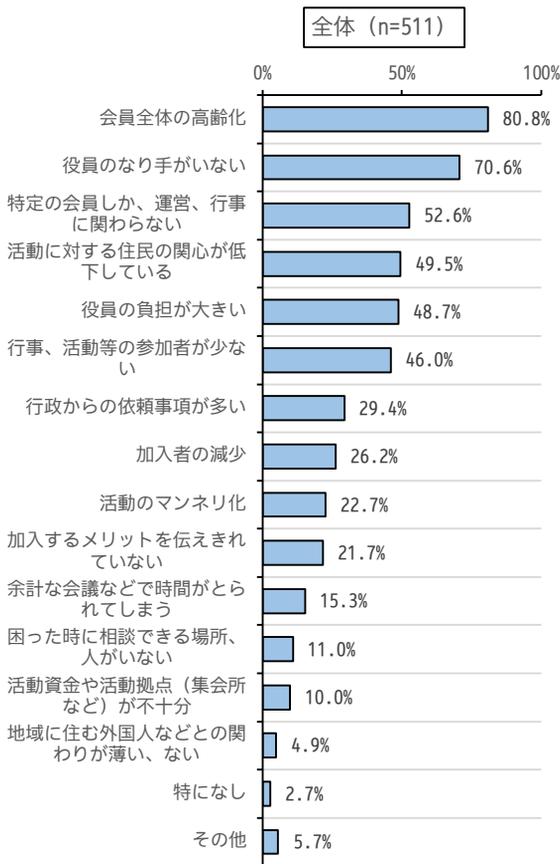
問15 (問14の) 町内会に加入する意義のための活動はできていますか？

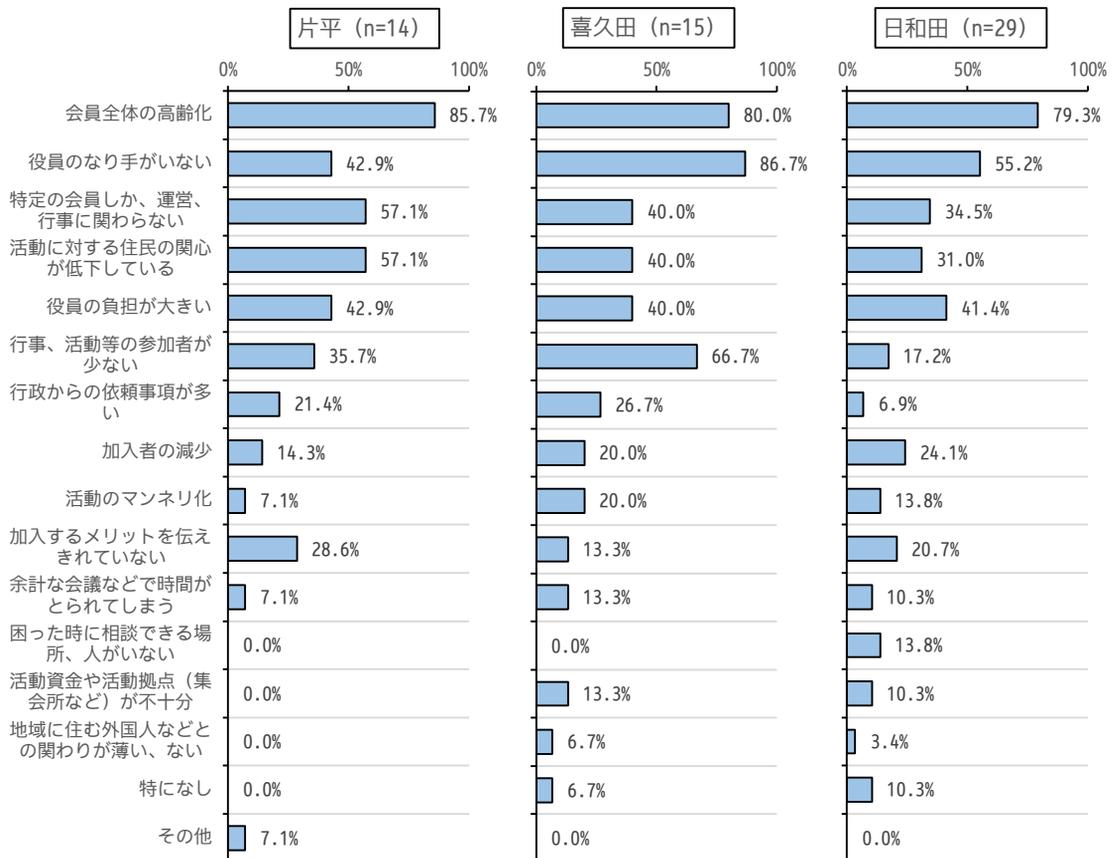
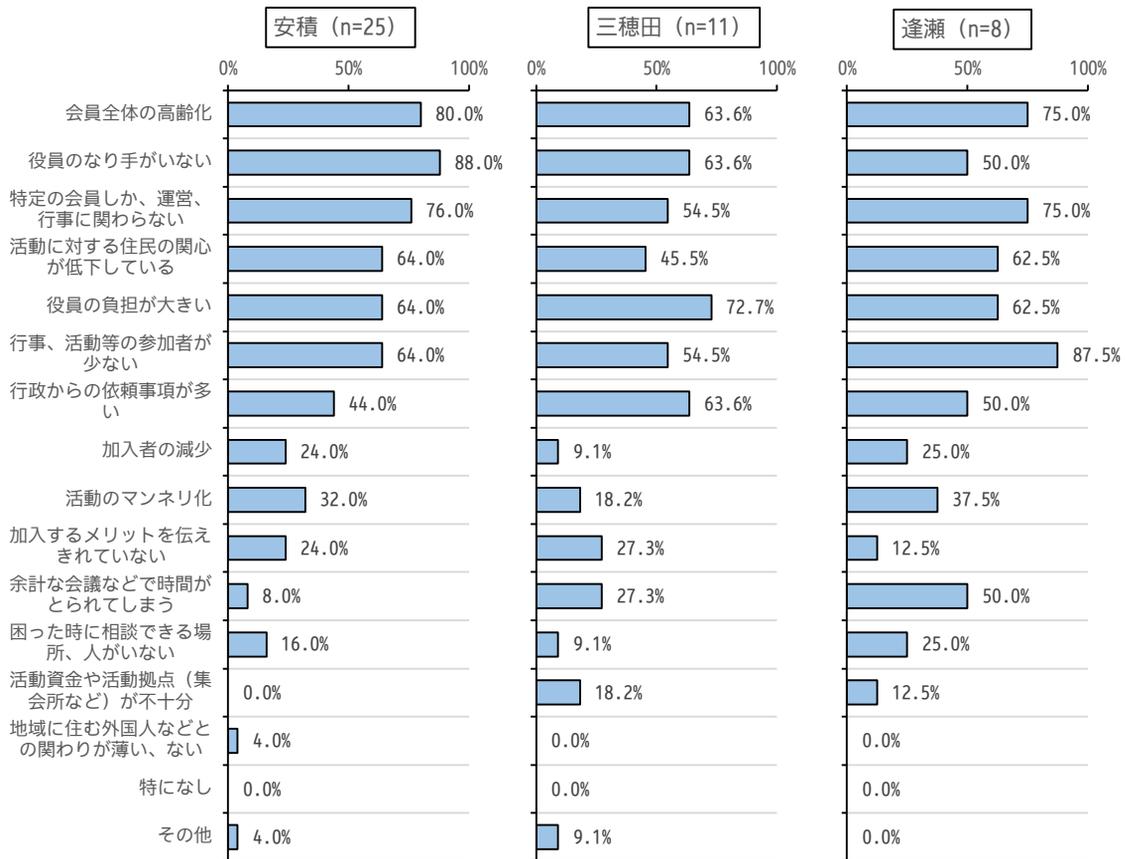
■十分できている ■まあまあできている ■あまりできていない ■できていない ■無回答

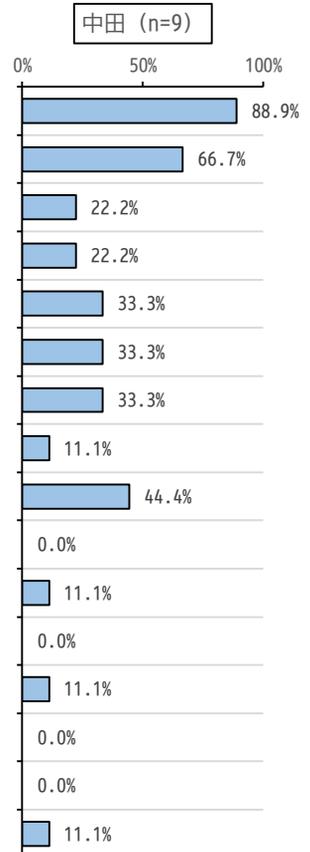
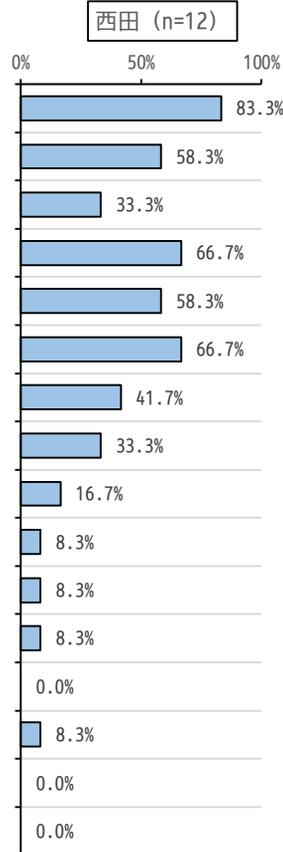
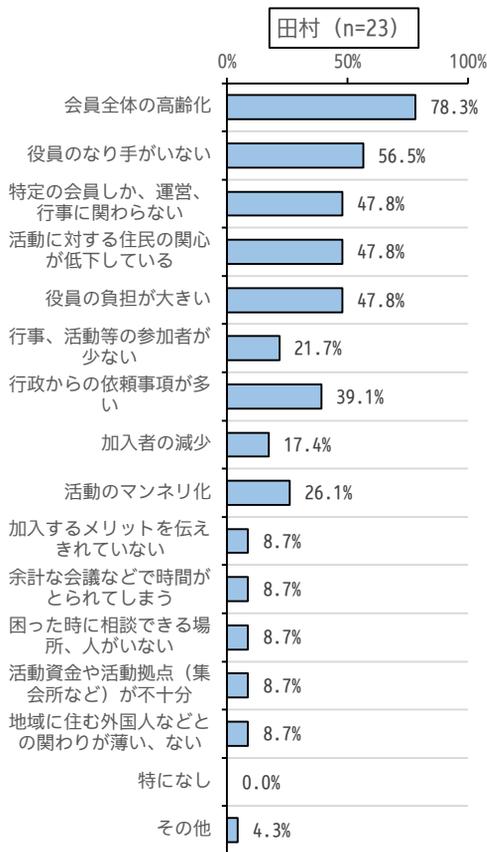
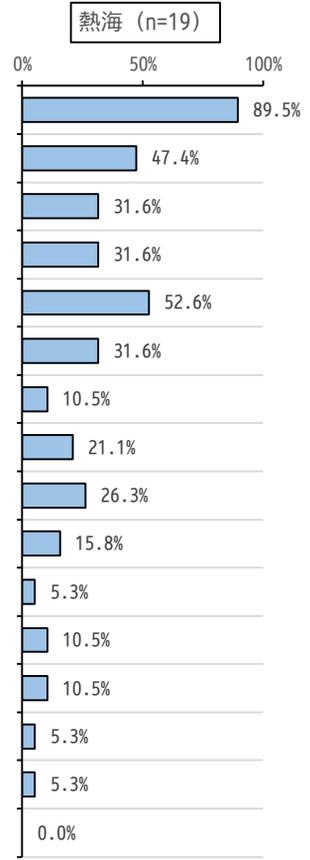
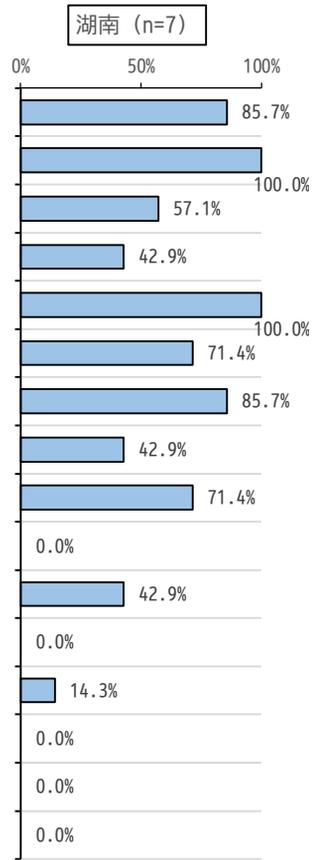
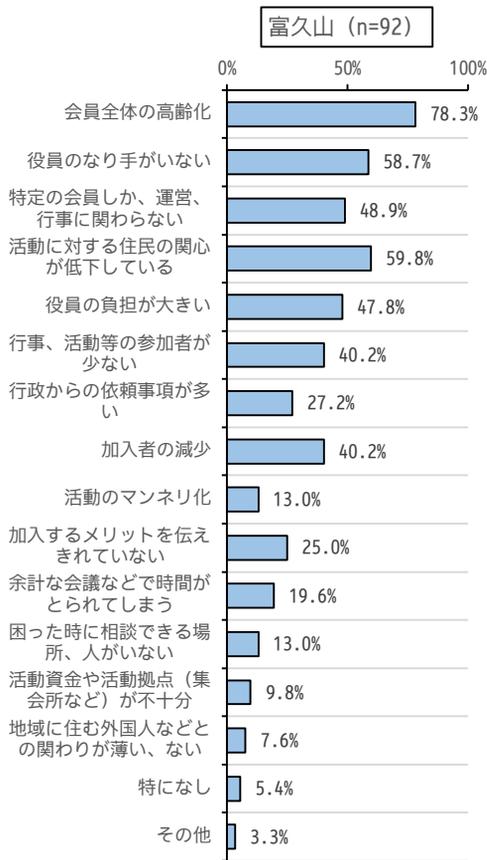


問17 活動するうえでの課題・悩みは何ですか？（複数選択可）

※無回答を除く

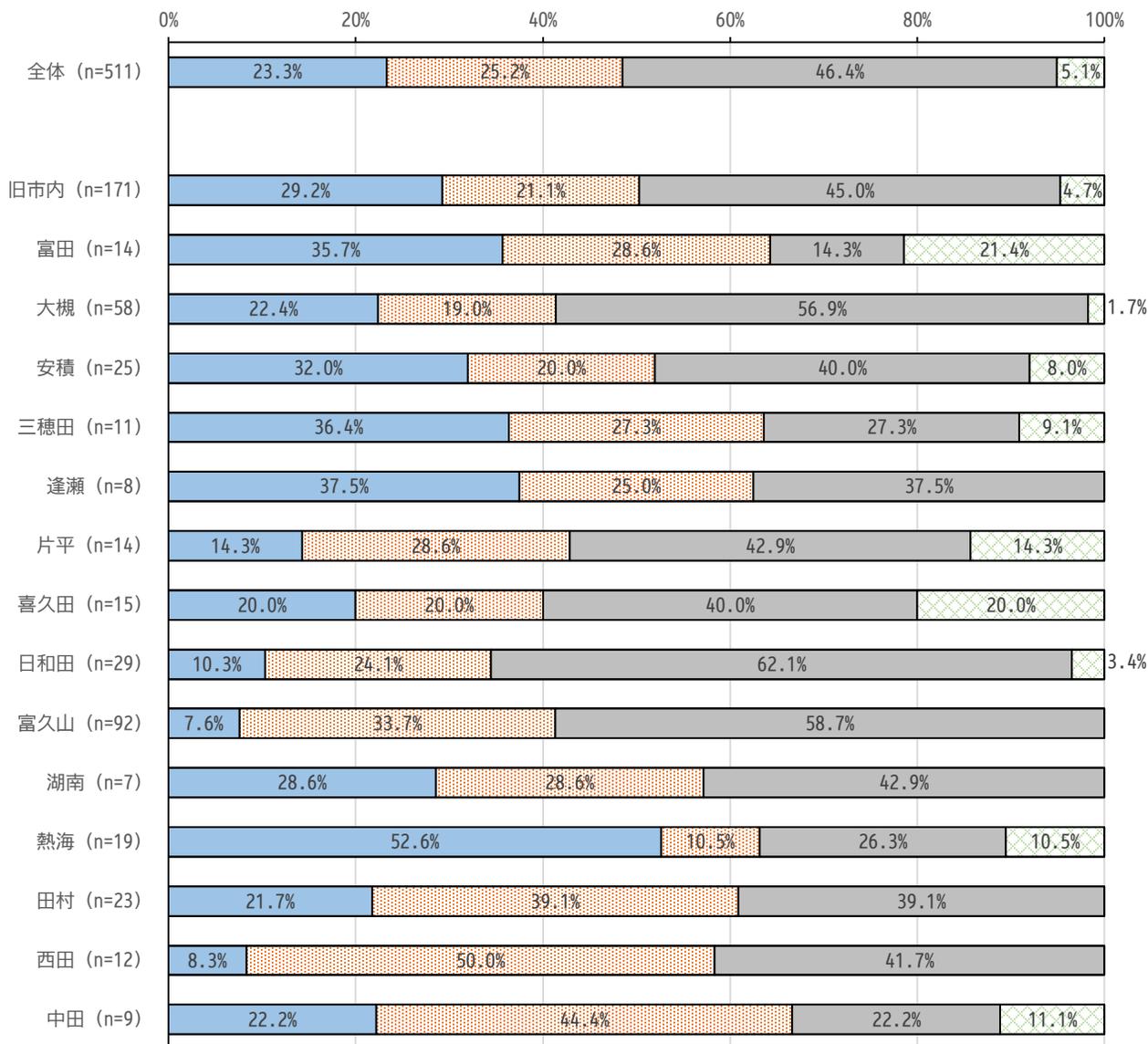




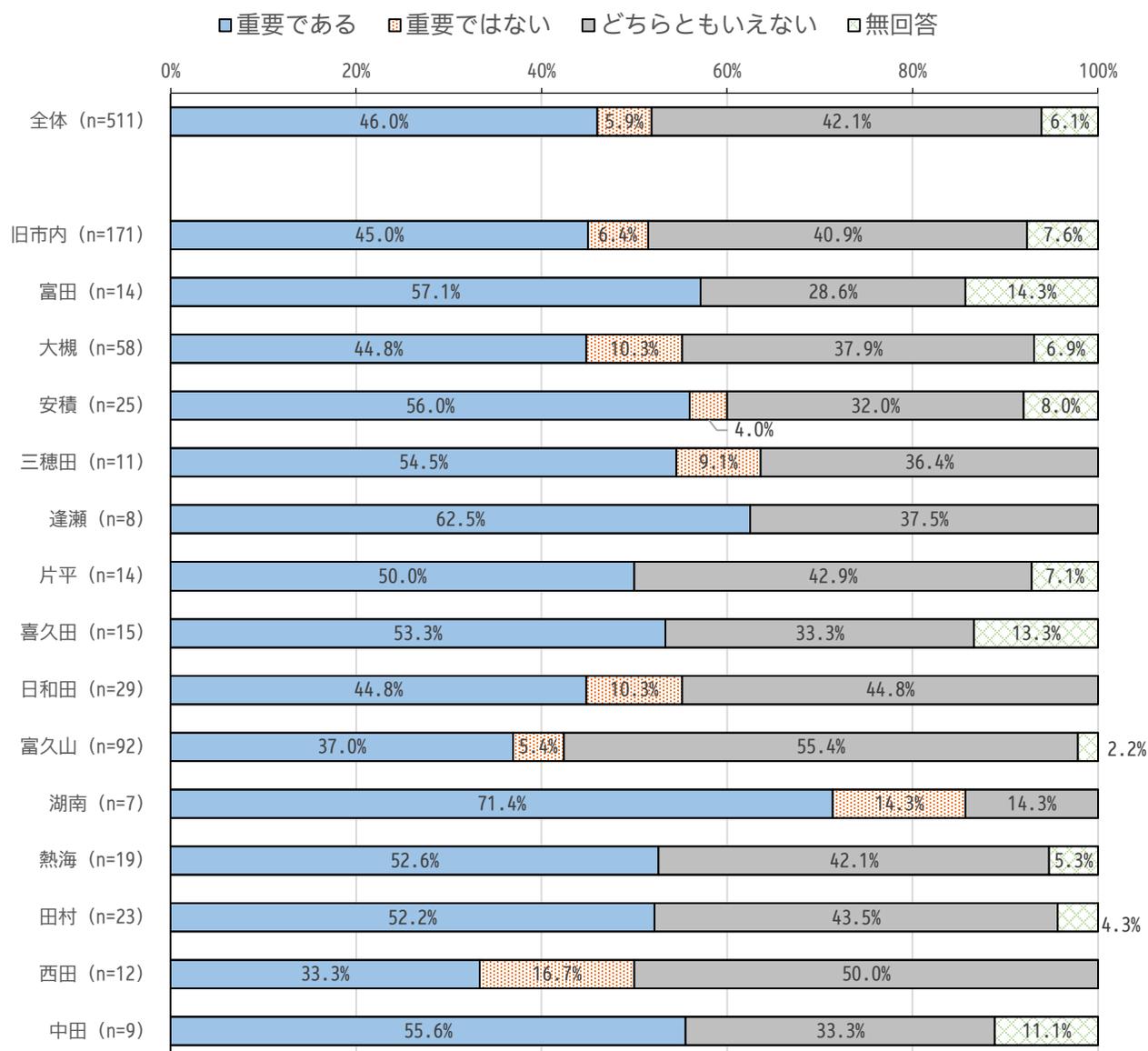


問19 他の団体や行政（市）と交流したり協働で活動したりしたことはありますか？

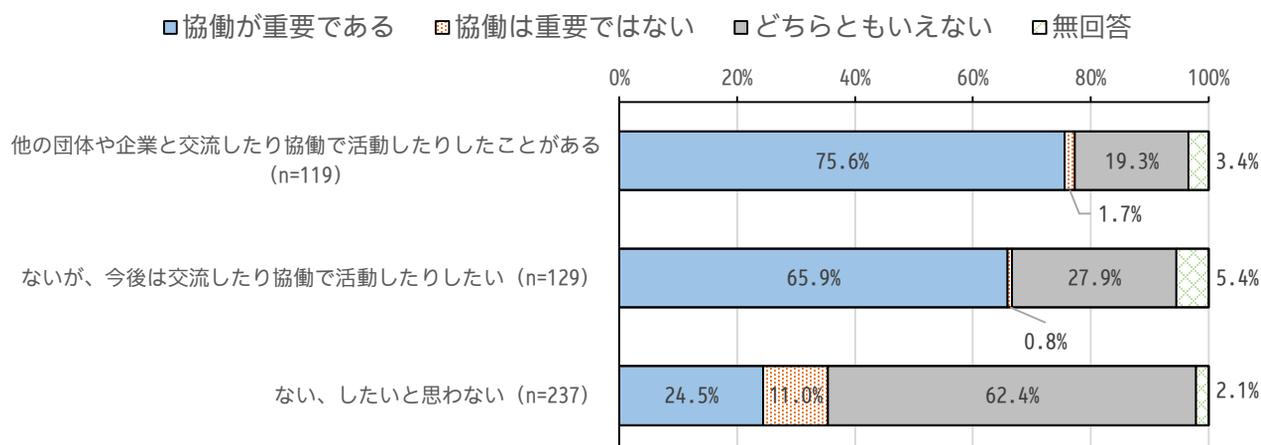
ある
 ないが、今後は交流したり協働で活動したりしたい
 ない、したいと思わない
 無回答



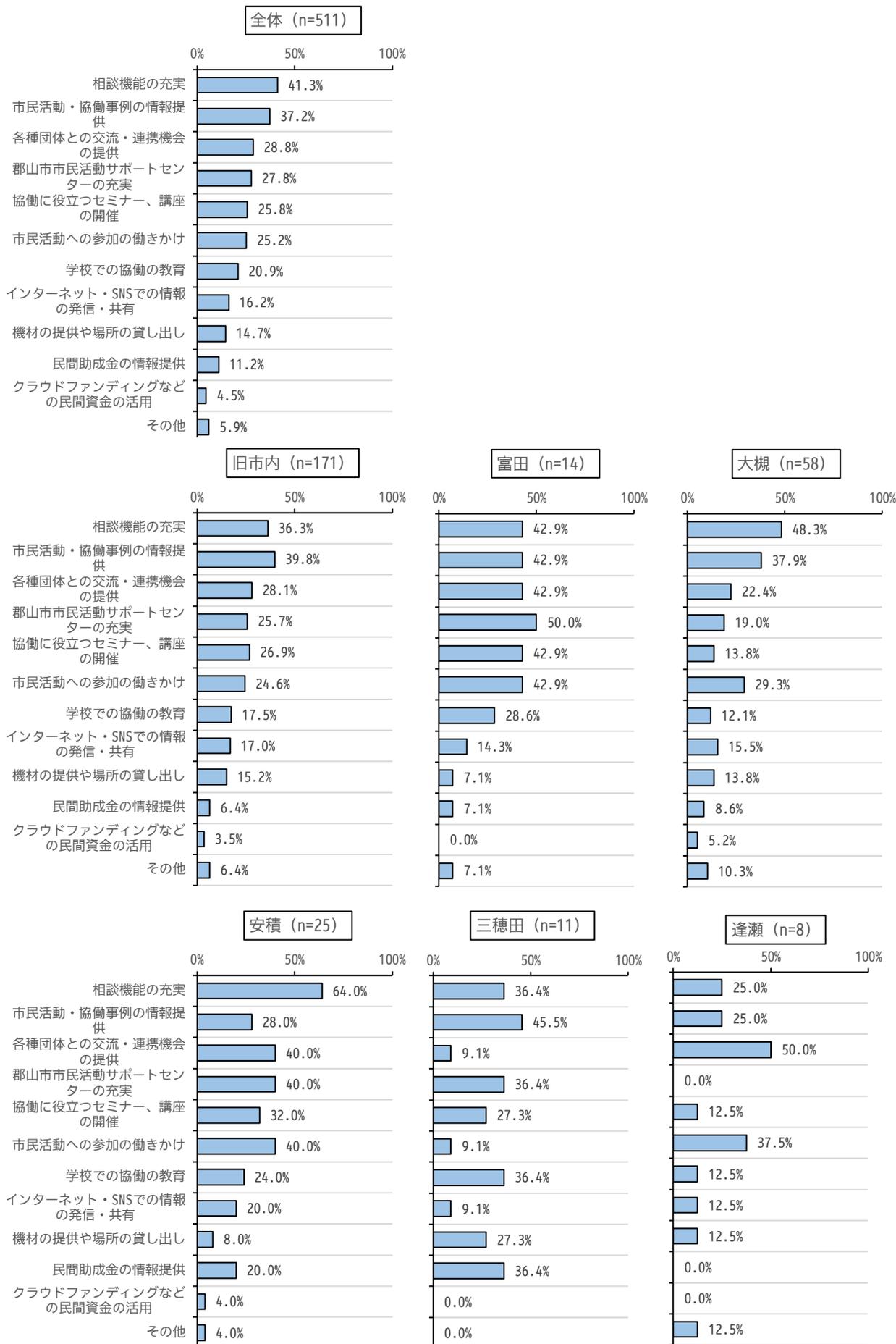
問23 今後のまちづくりにおいて「協働」が重要だと思いますか？

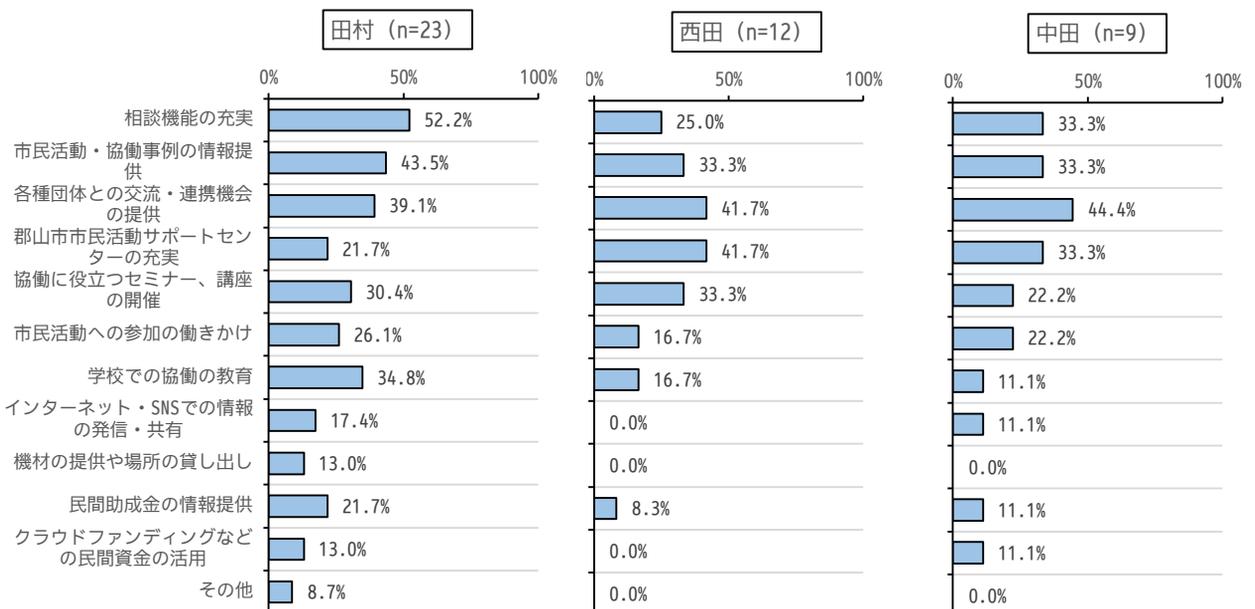
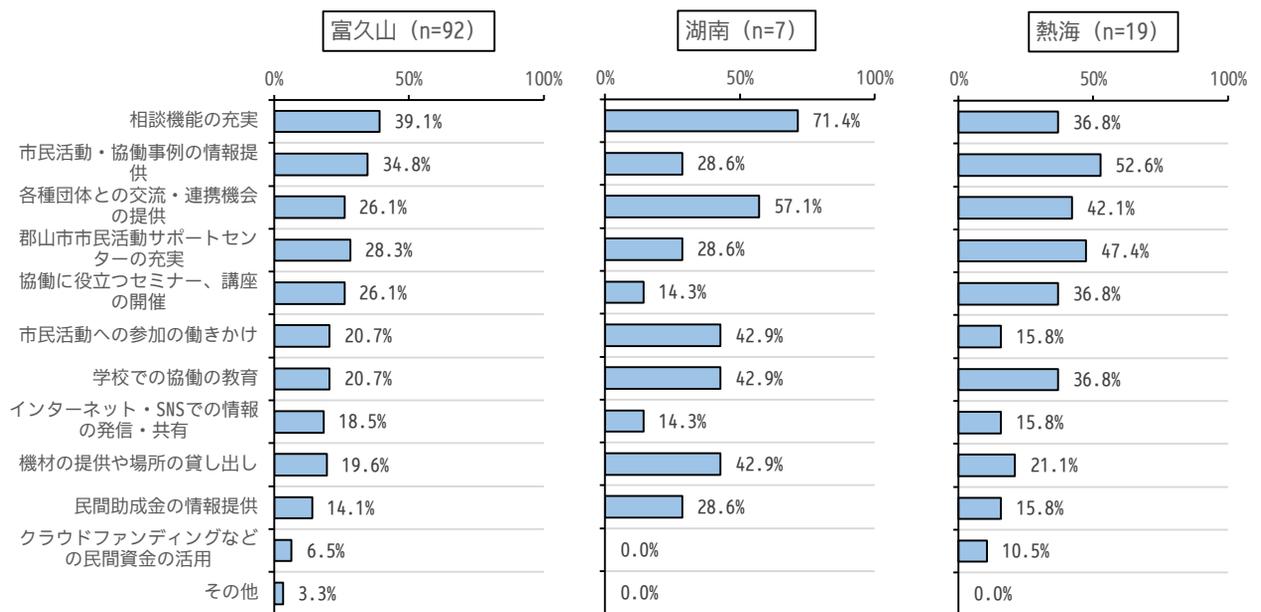
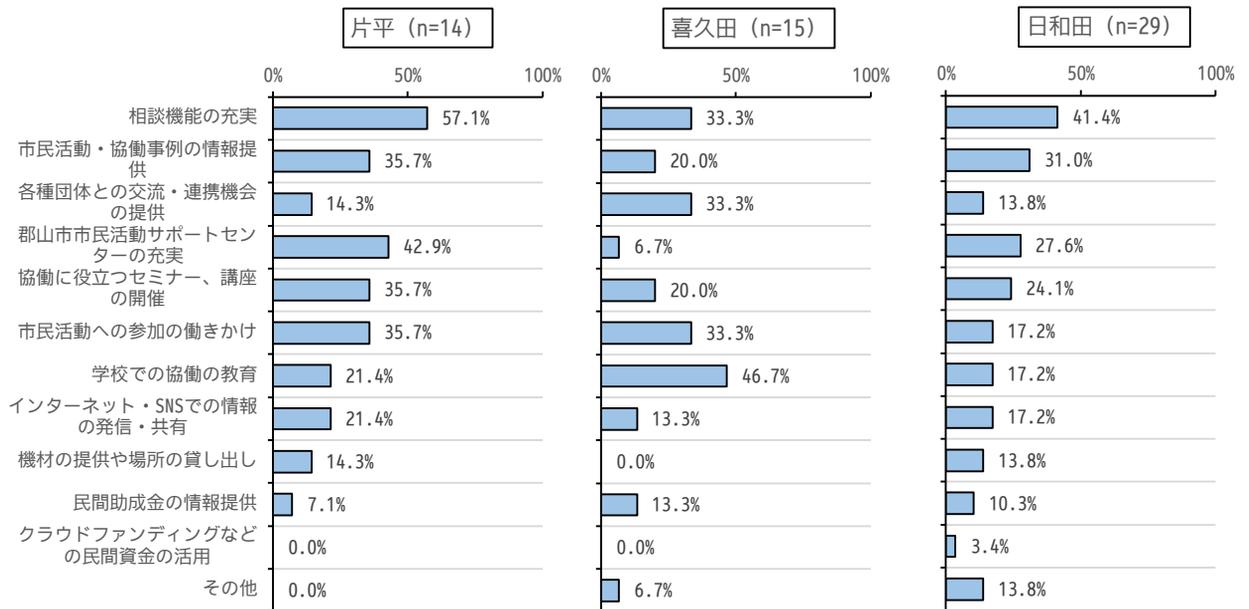


【問19（他の団体や企業、行政（市）と交流したり協働で活動したりしたことはあるか）とのクロス集計】



問24 協働のまちづくりの推進のため、行政が取り組むべきことは何ですか？(複数選択可)
※無回答を除く





V 集計結果（市民活動団体）

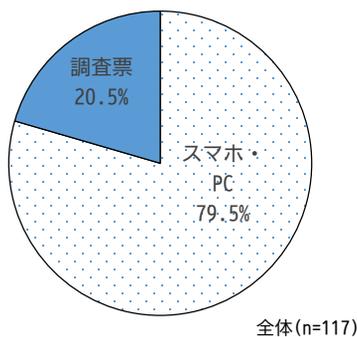
調査の設計

- ◆ 調査対象：郡山市市民活動サポートセンター登録団体・個人
- ◆ 標本数：358件（団体300、個人58）（2024（令和6）年8月1日時点）
- ◆ 調査方法：郵送による調査票の配布・回収、インターネットでの回答
- ◆ 調査期間：2024（令和6）年8月1日～9月30日（61日間）
- ◆ 調査項目：①団体・個人について…16問
②協働のまちづくりについて…9問

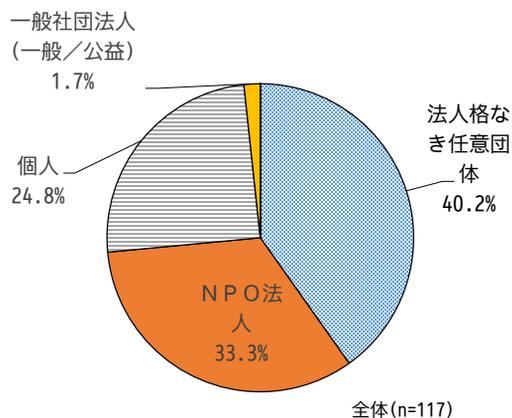
回収結果・回答者の属性

- ◆ 発送数：358件
- ◆ 有効回収数：117件
- ◆ 有効回収率：32.7%

◆ 回答方法別



◆ 団体種別（問1）

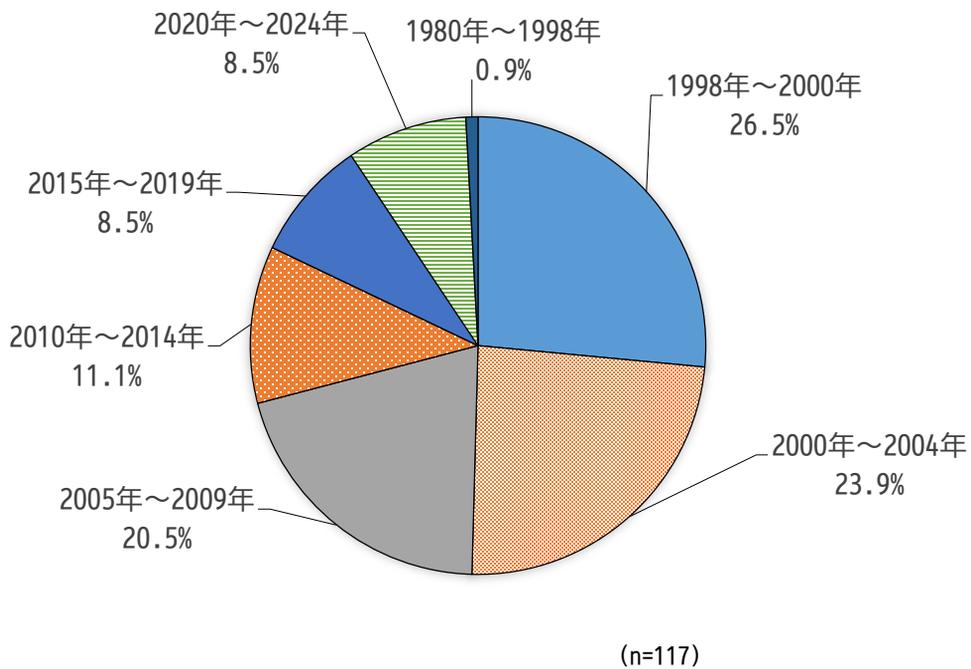


※構成比は、端数を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

問2

活動を始めた時期を教えてください。

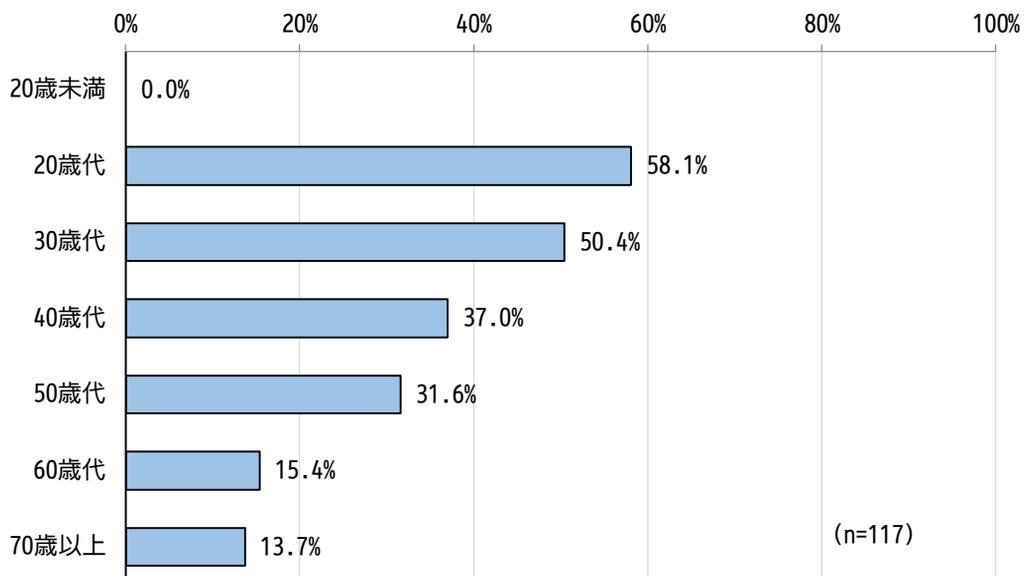
3割弱の団体（個人）が「1998年～2000年」から活動を始めています。



問3

どの年代の方が中心に活動していますか？（複数選択可）

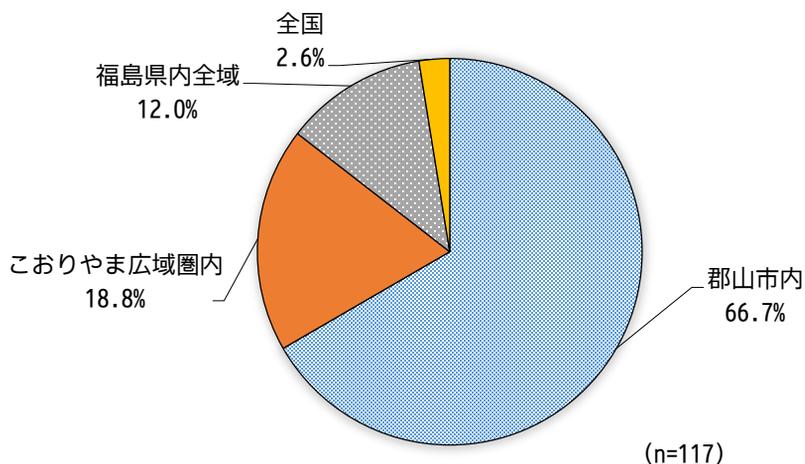
6割弱の団体（個人）で「20歳代」が活動しています。



問4

主な活動の対象地域を教えてください。

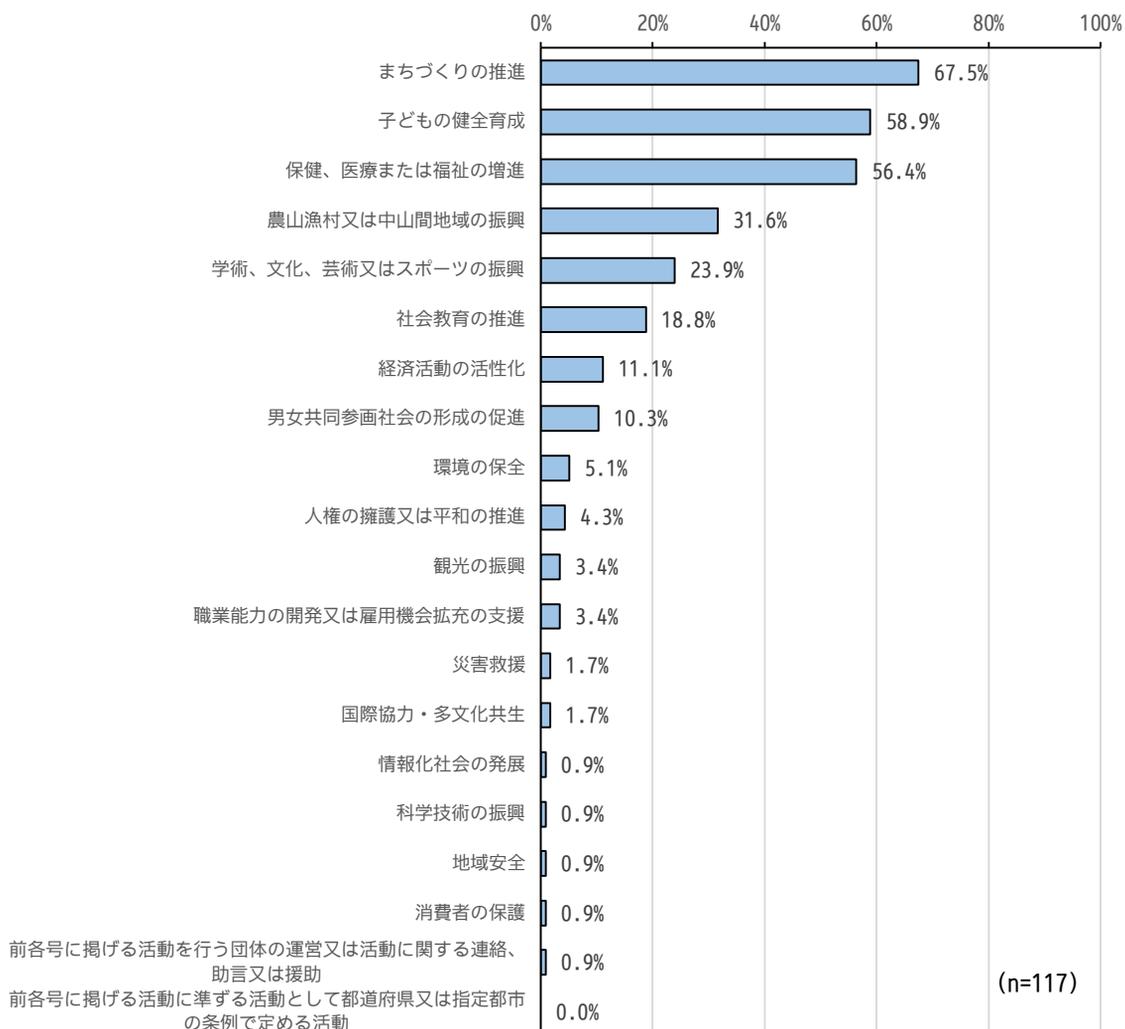
7割弱の団体（個人）が「郡山市内」で活動しています。



問5

主な活動の分野を教えてください。（複数選択可）

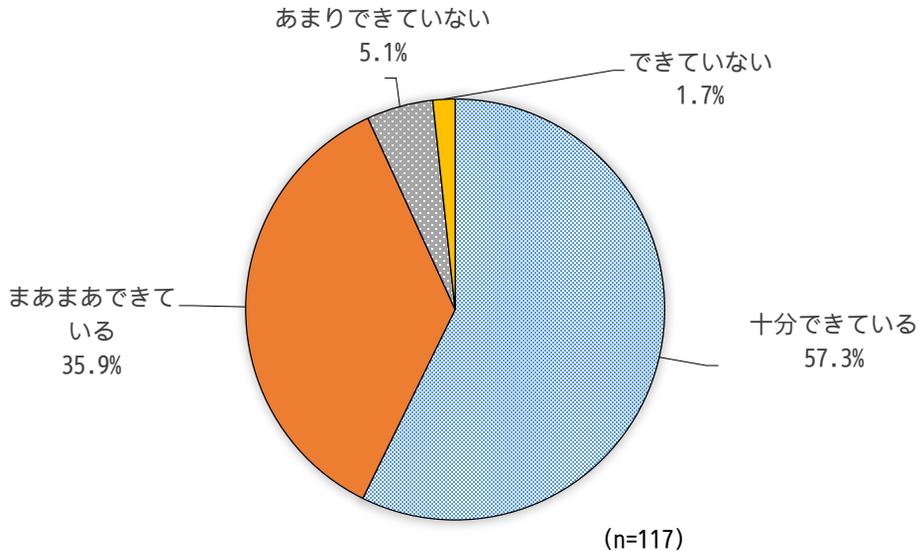
7割弱の団体（個人）が「まちづくりの推進」と回答しています。



問6

現在、活動が十分にできていますか？

9割強の団体（個人）が「できている」と回答しています。

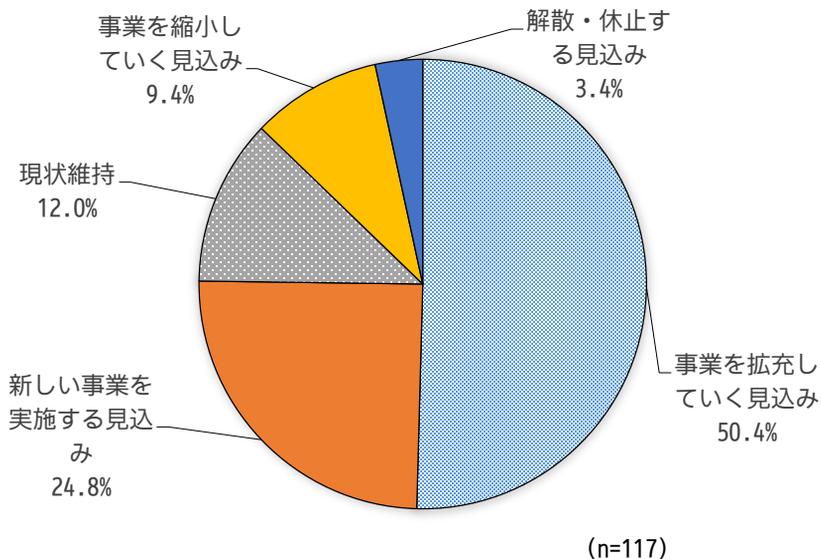


「十分できている」57.3%、「まあまあできている」35.9%を合計すると93.2%となります。

問7

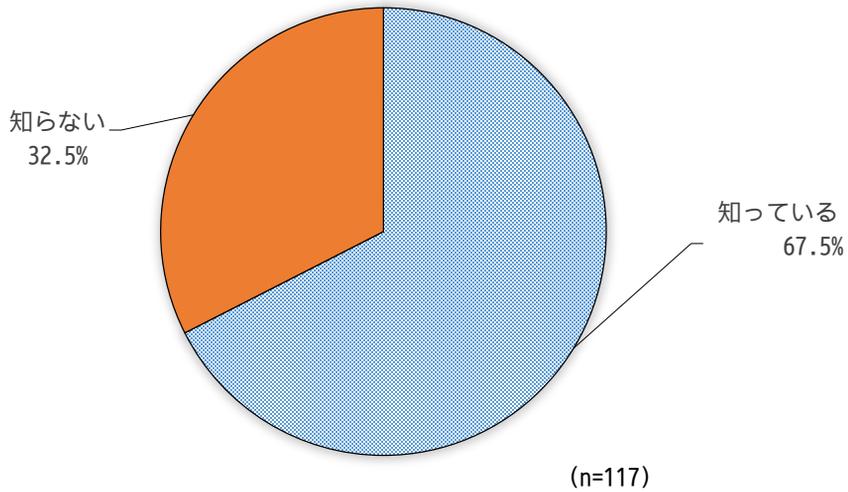
今後の活動の方向性を教えてください。

半数の団体（個人）が「事業を拡充していく見込み」です。



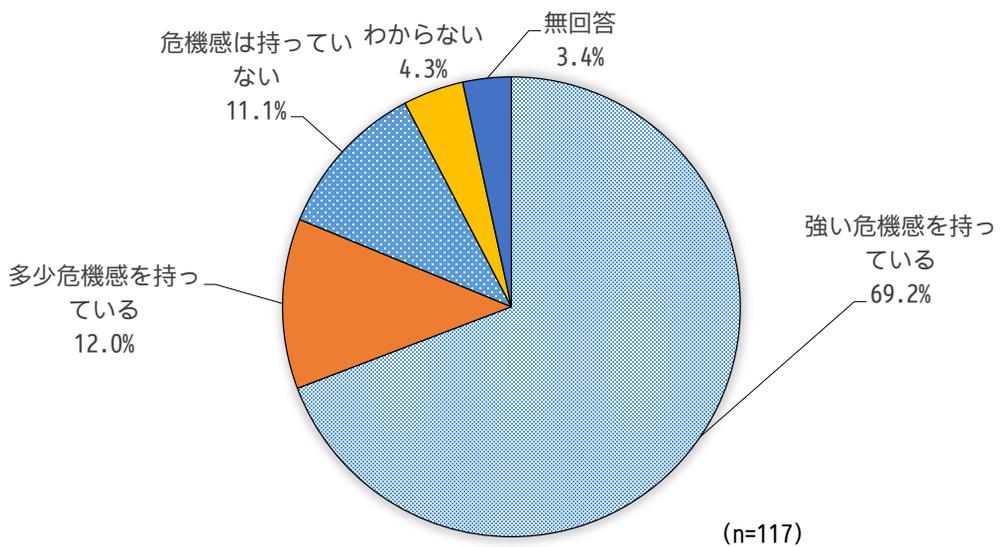
問8 「郡山市の出生数：1985(昭和60)年4,000人超→2022(令和4)年2,000人割る」
このことをご存知でしたか？

7割弱の団体（個人）が「知っている」と回答しています。



問9 少子高齢化・人口減少をどう受け止めていますか？

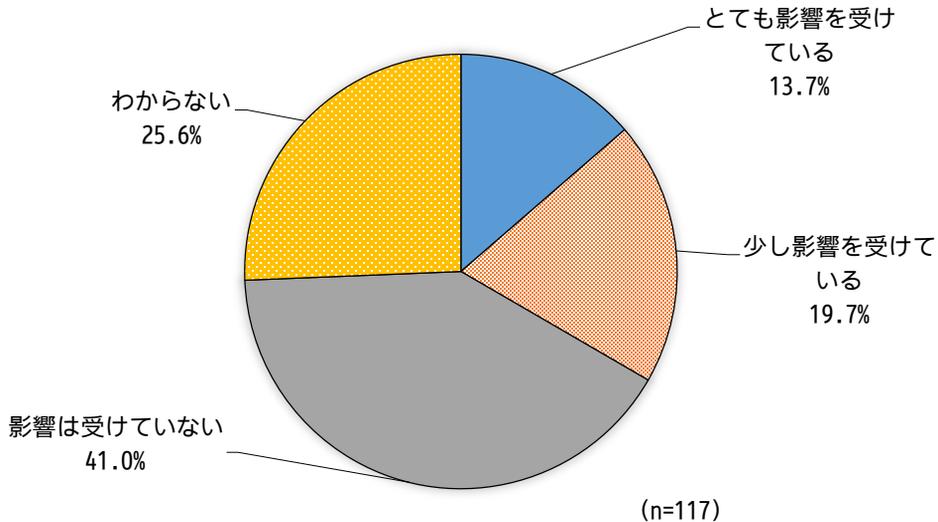
8割の団体（個人）が「危機感を持っている」と回答しています。



「強い危機感を持っている」69.2%、「多少危機感を持っている」12.0%を合計すると81.2%となります。

問10 少子高齢化・人口減少の影響を受けていますか？

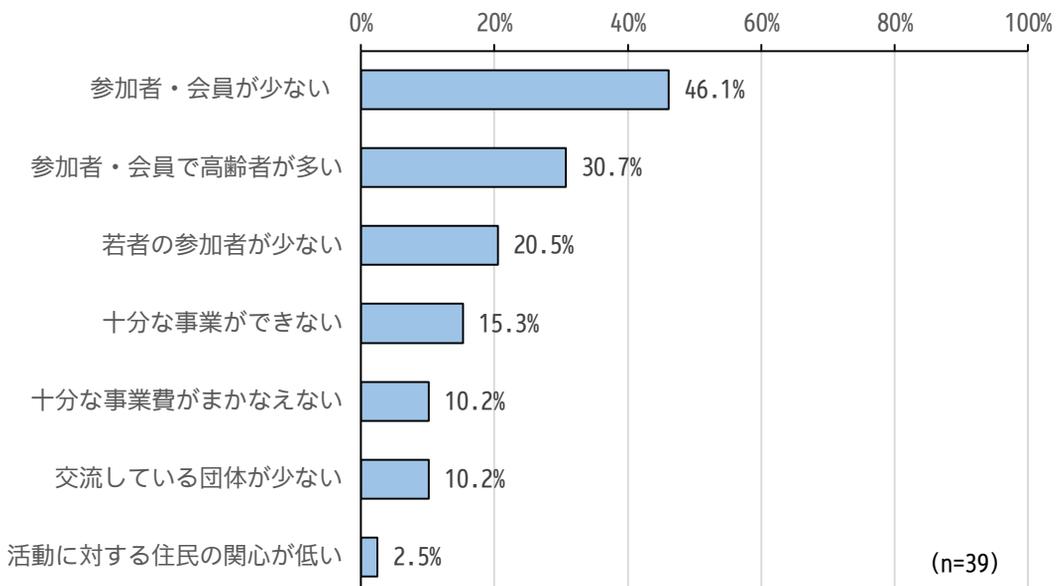
3割強の団体（個人）が「影響を受けている」と回答しています。



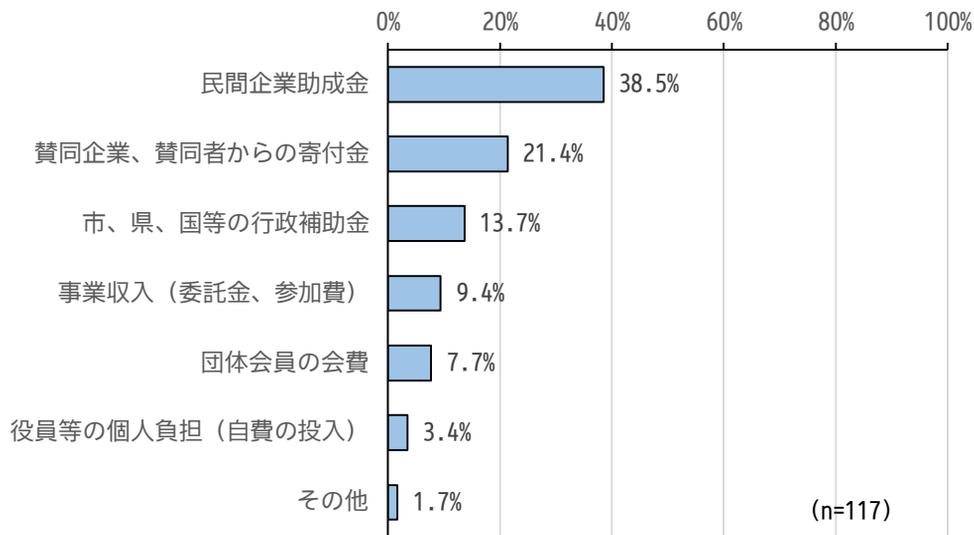
「とても影響を受けている」13.7%、「少し影響を受けている」19.7%を合計すると33.4%となります。

問11 問10で、影響を「とても受けている」「少し受けている」と回答した市民活動団体について具体的にどのような影響を受けていると感じますか？（複数選択可）

5割弱の団体（個人）が「参加者・会員が少ない」と回答しています。



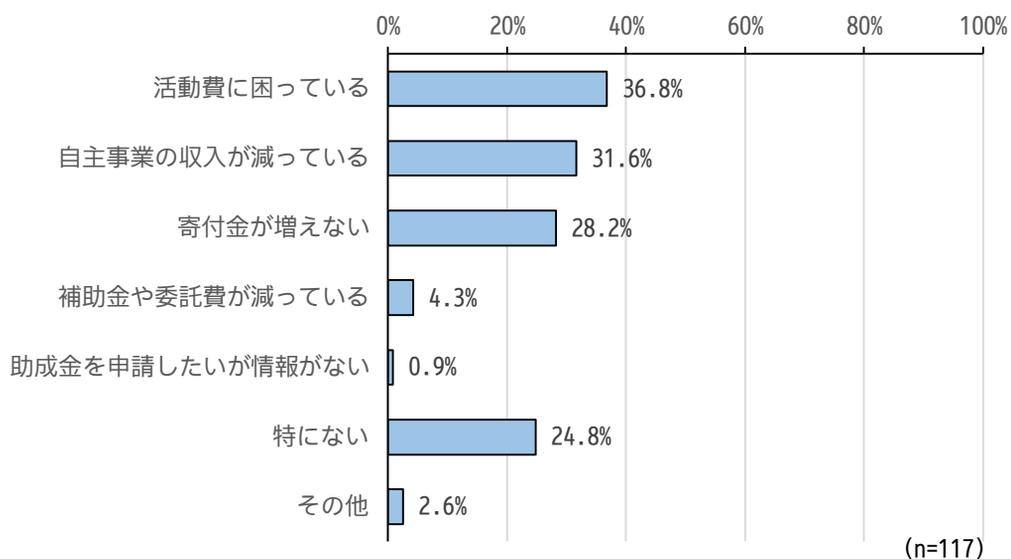
4割弱の団体（個人）が「民間企業助成金」と回答しています。



【その他】の主な内容

- 委託事以外の事業がない
- イベントでの祝い金

4割弱の団体（個人）が「活動費に困っている」と回答しています。

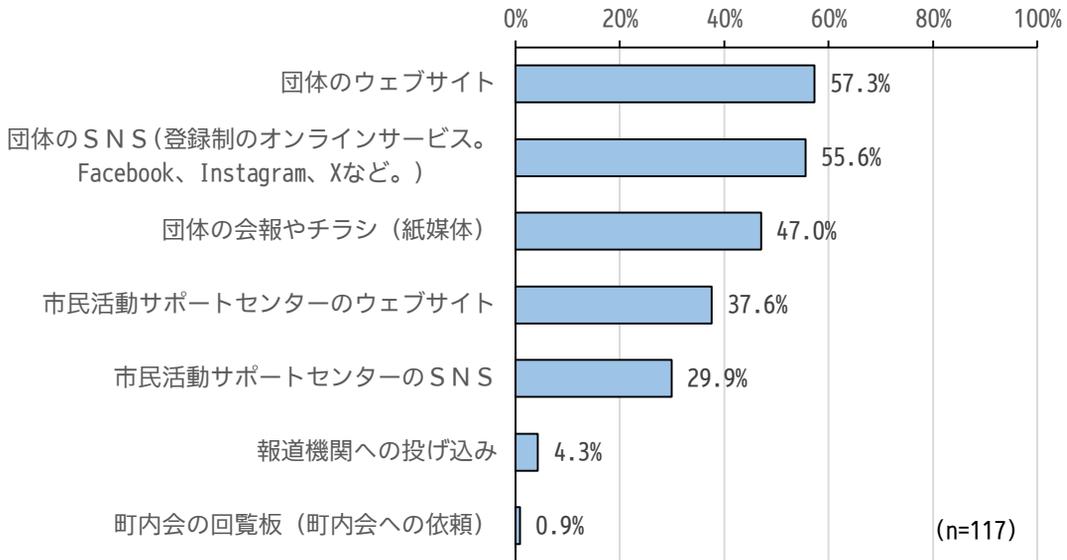


【その他】の主な内容

- より良い広報
- ボランティアの拡充
- 助成金や寄附金に頼らざる得ないため、毎年その申請手続き等が大変

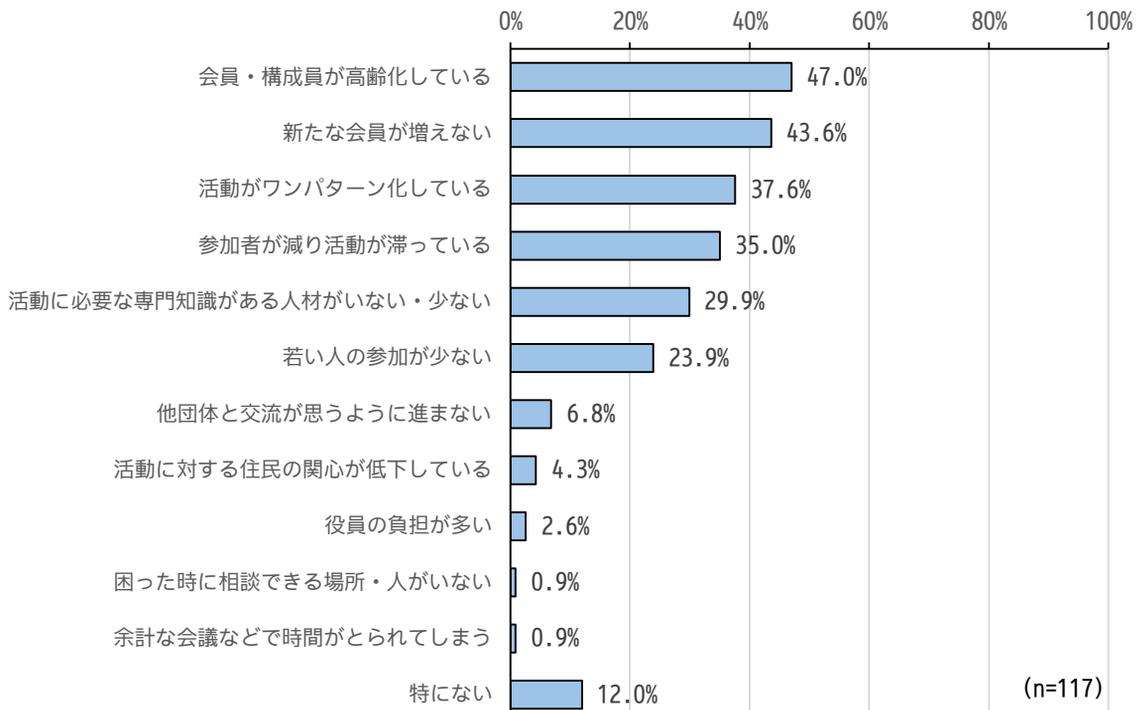
問14 活動の情報発信手段として何を利用していますか？（複数選択可）

6 割弱の団体（個人）が「団体のウェブサイト」と回答しています。



問15 人材や組織に関する課題・悩みは何ですか？（複数選択可）

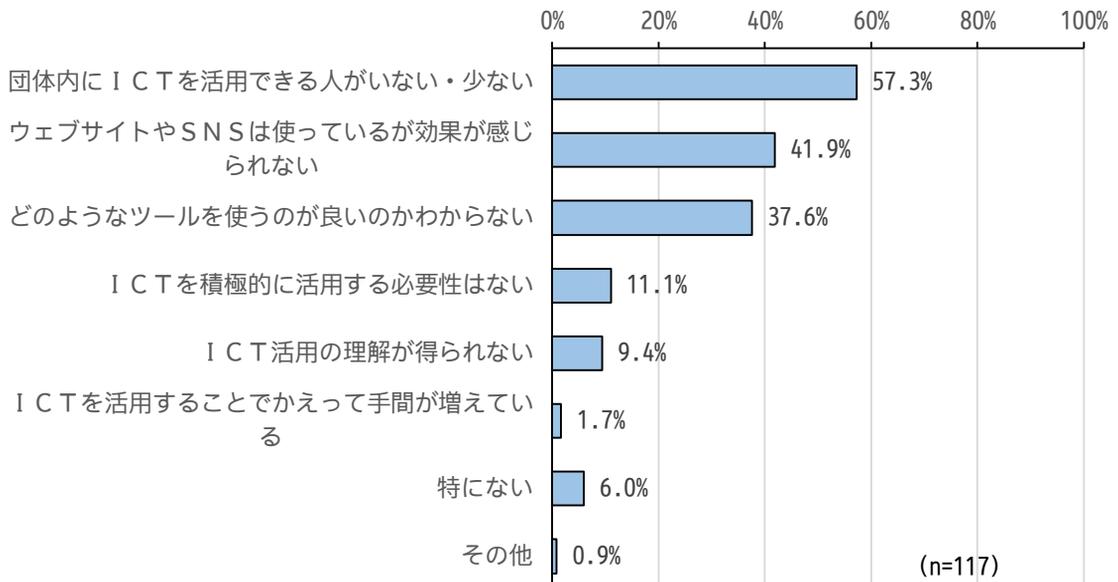
5 割弱の団体（個人）が「会員・構成員が高齢化している」と回答しています。



問16

ICT活用に関する課題・悩みは何ですか？（複数選択可）

6割弱の団体（個人）が「ICTを活用できる人がいない・少ない」と回答しています。



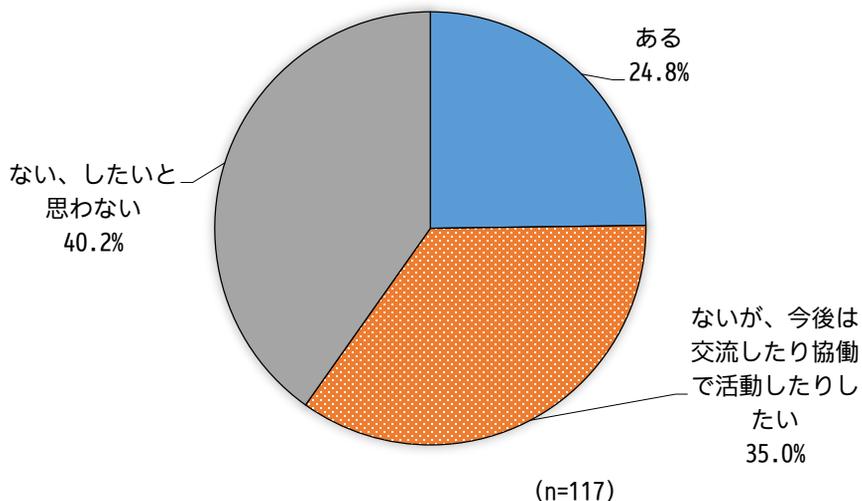
【その他】の主な内容

- SNS等の更新する人材がない

問17

他の団体や行政（市）と交流したり協働で活動したりしたことはありますか？

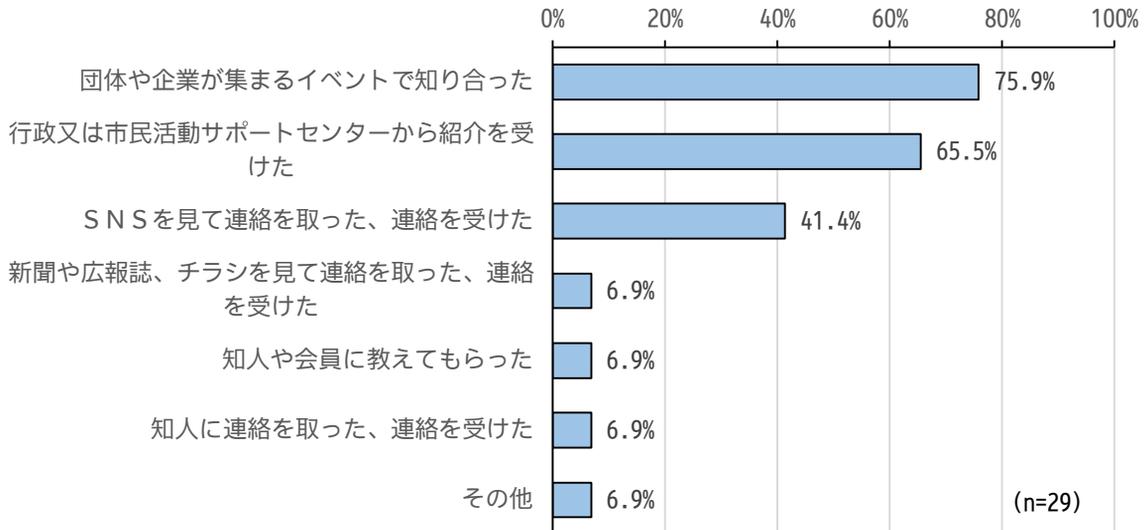
2割強の団体（個人）が「ある」と回答しています。



問18

問17で、交流や協働で活動をしたことが「ある」と回答した市民活動団体について交流や協働のきっかけとなった要因は何ですか？(複数選択可)

8割弱の団体(個人)が「イベントで知り合った」と回答しています。



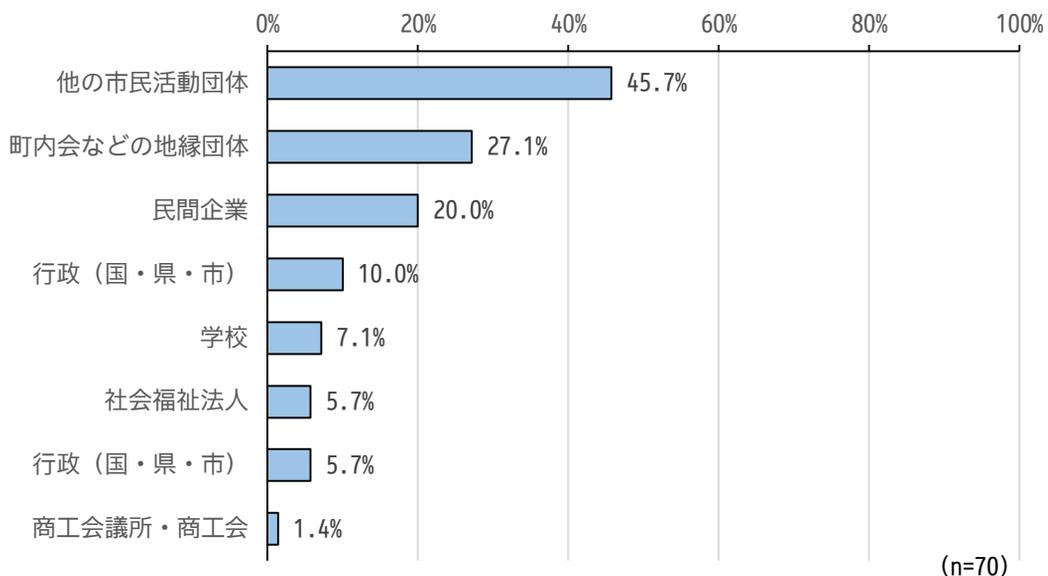
【その他】の主な内容

- 問いあわせ
- 助成団体の仲介

問19

問17で、交流や協働したことが「ある」「ないが今後したい」と回答した市民活動団体について交流や協働した(したい)相手先はどういった団体ですか？(複数選択可)

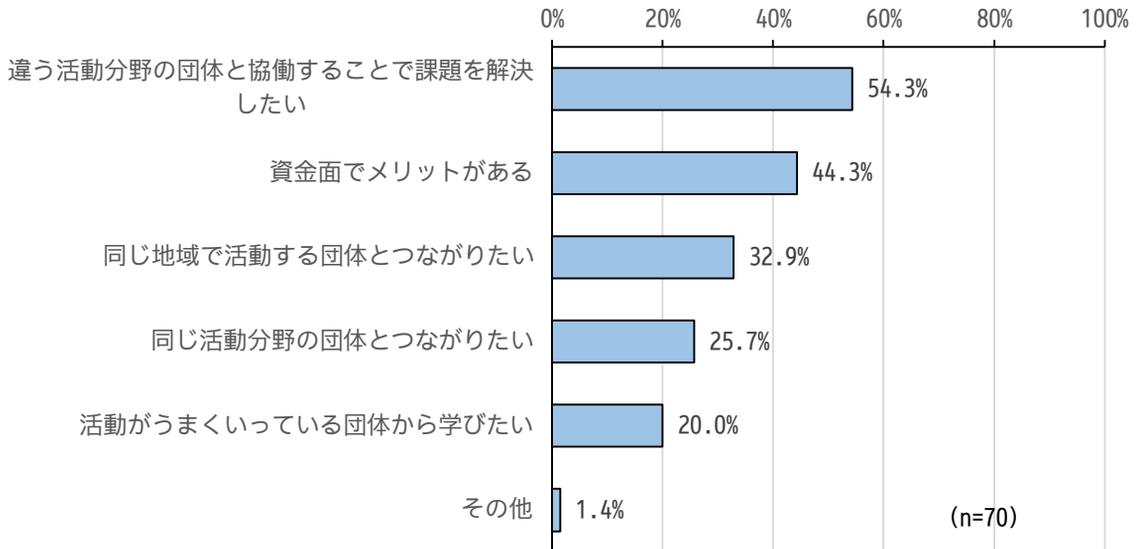
5割弱の団体(個人)が「他の市民活動団体」と回答しています。



問20

問17で、交流や協働したことが「ある」「ないが今後したい」と回答した市民活動団体について
交流や協働した（今後したい）理由は何ですか？（複数選択可）

5割強の団体（個人）が「違う活動分野の団体と協働したい」と回答しています。



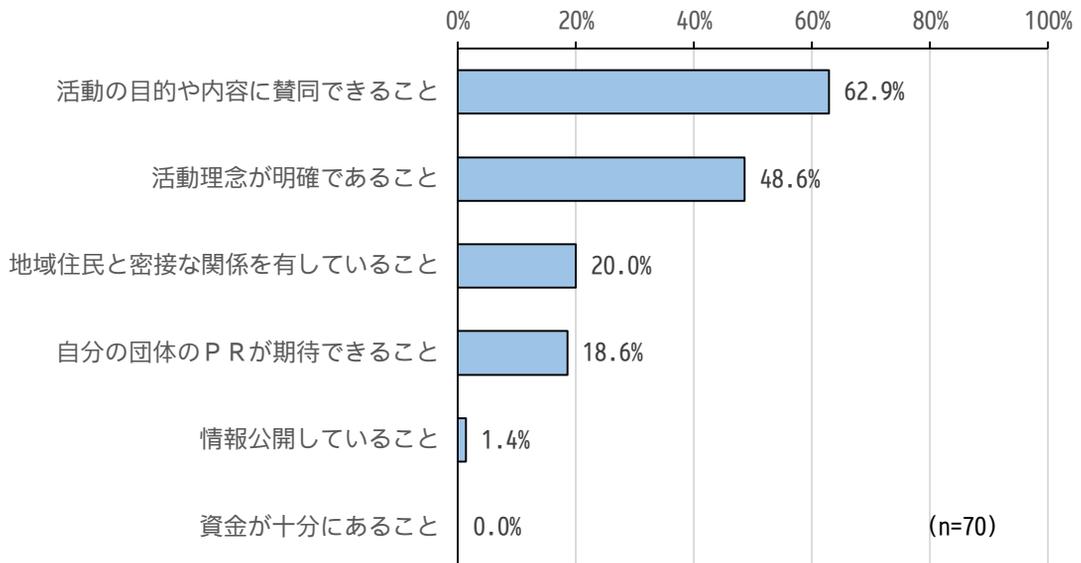
【その他】の主な内容

- 行政と協力して地球温暖化防止等に取り組んでいきたい

問21

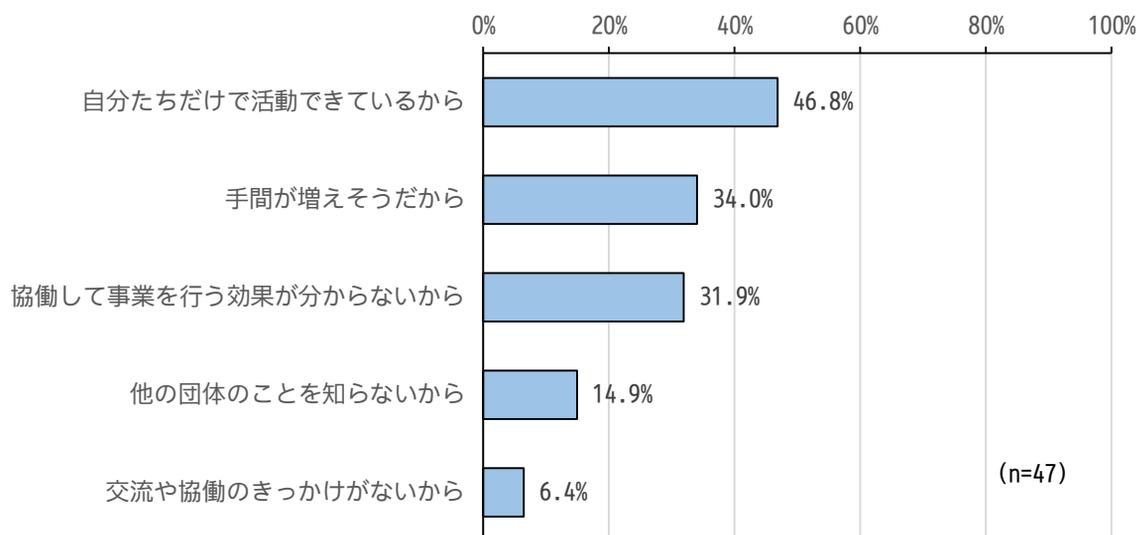
問17で、交流や協働したことが「ある」「ないが今後したい」と回答した市民活動団体について
交流や協働するうえで相手に求めるものは何ですか？（複数選択可）

6割強の団体（個人）が「活動の目的や内容に賛同できること」と回答しています。



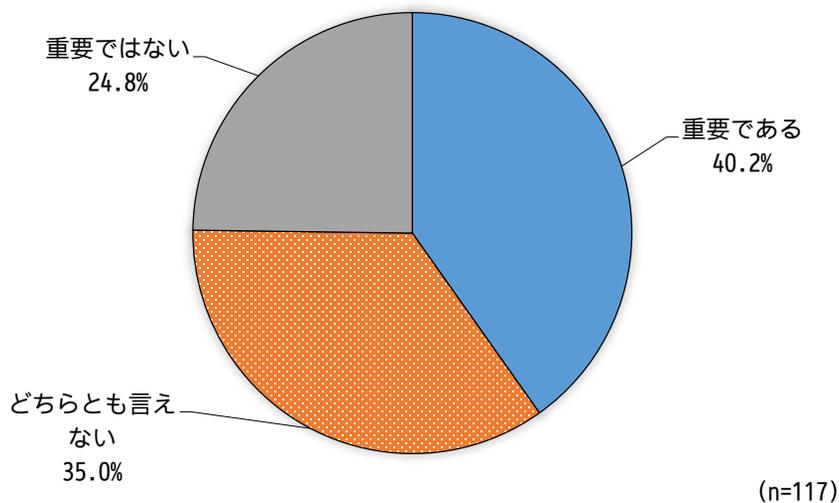
問22 問17で、交流や協働で活動したことが「ない、したいと思わない」と回答した市民活動団体について
交流や協働しない（したくない）理由は何ですか？（複数選択可）

5割弱の団体（個人）が「自分たちだけで活動できているから」と回答しています。



問23 今後のまちづくりにおいて「協働」が重要だと思いますか？

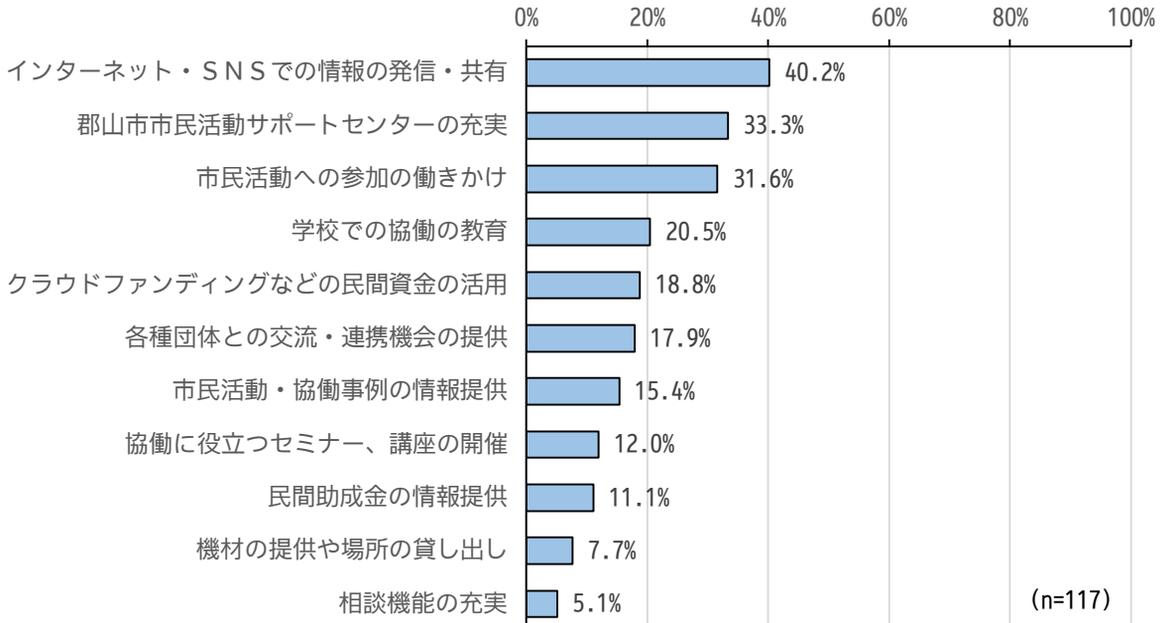
4割の団体（個人）が「重要である」と回答しています。



問24

協働のまちづくりの推進のため 行政が取り組むべきことは何ですか？（複数選択可）

4割の団体(個人)が「インターネット・SNSでの情報発信・共有」と回答しています。



問25

その他ご意見がありましたら自由に記入してください。

主な意見を抜粋し、掲載しました。寄せられたご意見は、今後の協働のまちづくりに活用させていただきます。

- 少子高齢化による孤立、孤独の課題は増加。人とのつながり、居場所が必要。コーディネートする人の育成は必要。
- 子育てしやすい環境づくり
- 高齢者が安心して暮らせる場所、仕組みづくり
- 人口減少によりこれまでの枠組み、制度の在り方そのものを再構築する必要がある、特に行政にその意識を持ってほしい。

VI 集計結果（事業者）

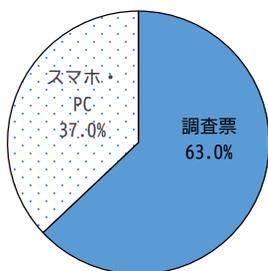
調査の設計

- ◆ 調査対象：郡山市内に本店または支店がある事業者
- ◆ 標本数：300事業者
- ◆ 抽出方法：法人市民税台帳からの無作為抽出
- ◆ 調査方法：郵送による調査票の配布・回収、インターネットでの回答
- ◆ 調査期間：2024（令和6）年7月24日～8月23日(31日間)
- ◆ 調査項目：①事業者の属性について…2問
②社会貢献活動について…8問
③協働のまちづくりについて…9問

回収結果・回答者の属性

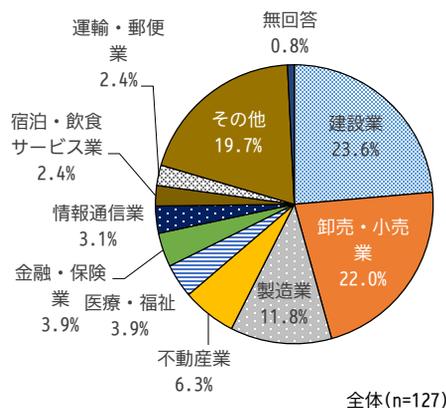
- ◆ 発送数：300件
- ◆ 有効回収数：127件
- ◆ 有効回収率：42.3%

◆ 回答方法別



全体(n=127)

◆ 産業種別（問1）

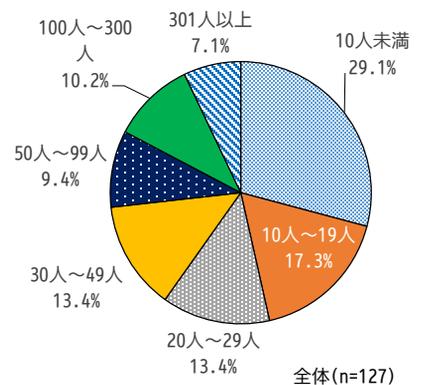


全体(n=127)

【「その他」の主な内容】

- 法律事務所
- 旅行業

◆ 従業者数（問2）



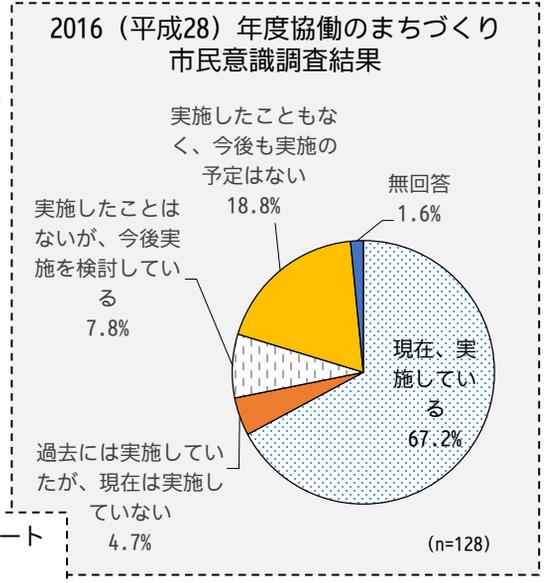
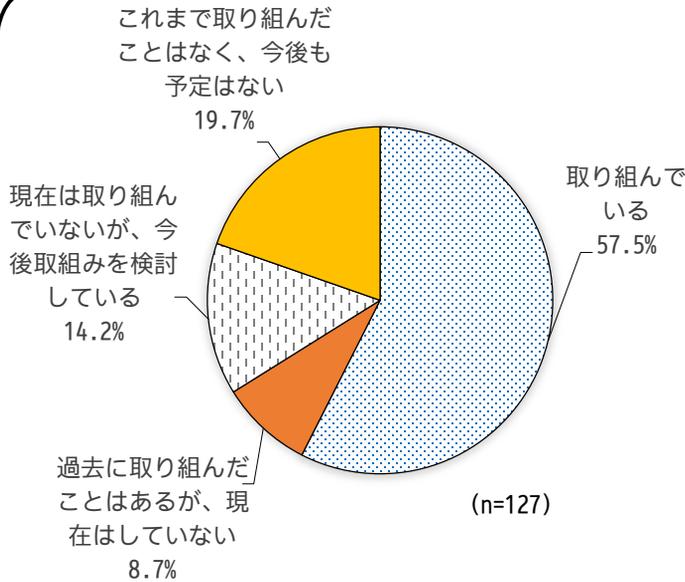
全体(n=127)

※構成比は、端数を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

問3

社会貢献活動に取り組んでいますか？

半数以上の事業者が社会貢献活動に取り組んでいます。

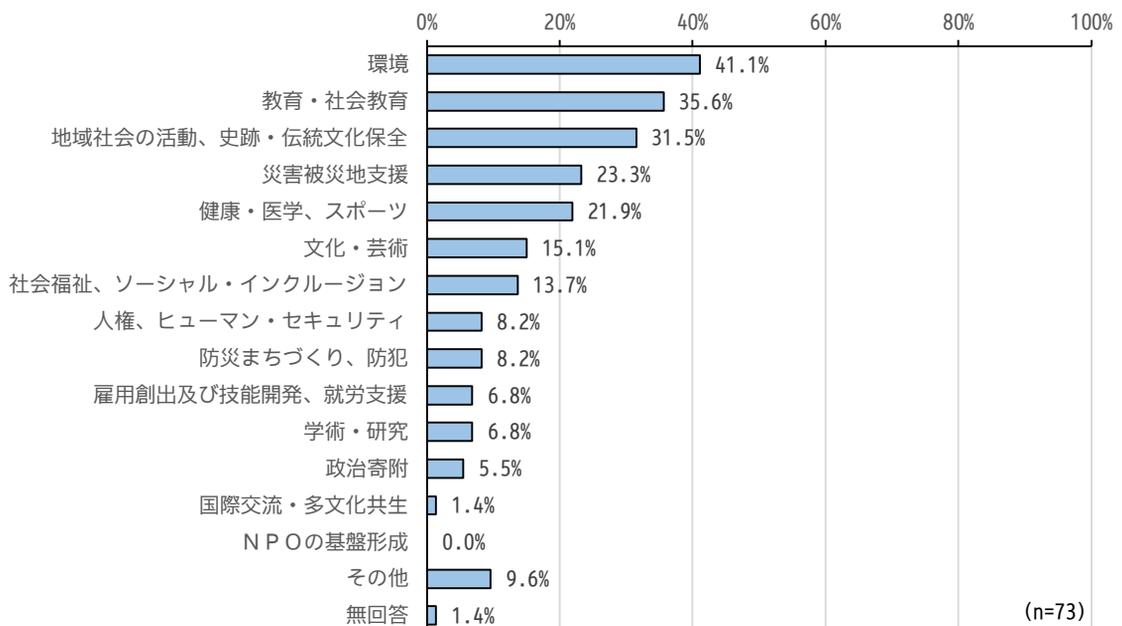


前回の計画策定時のアンケートと比較しています。

問4

問3で、社会貢献活動に「取り組んでいる」と回答した事業所について
どのような社会貢献活動に取り組んでいますか？（複数選択可）

4割以上の事業者が「環境」分野に取り組んでいます。

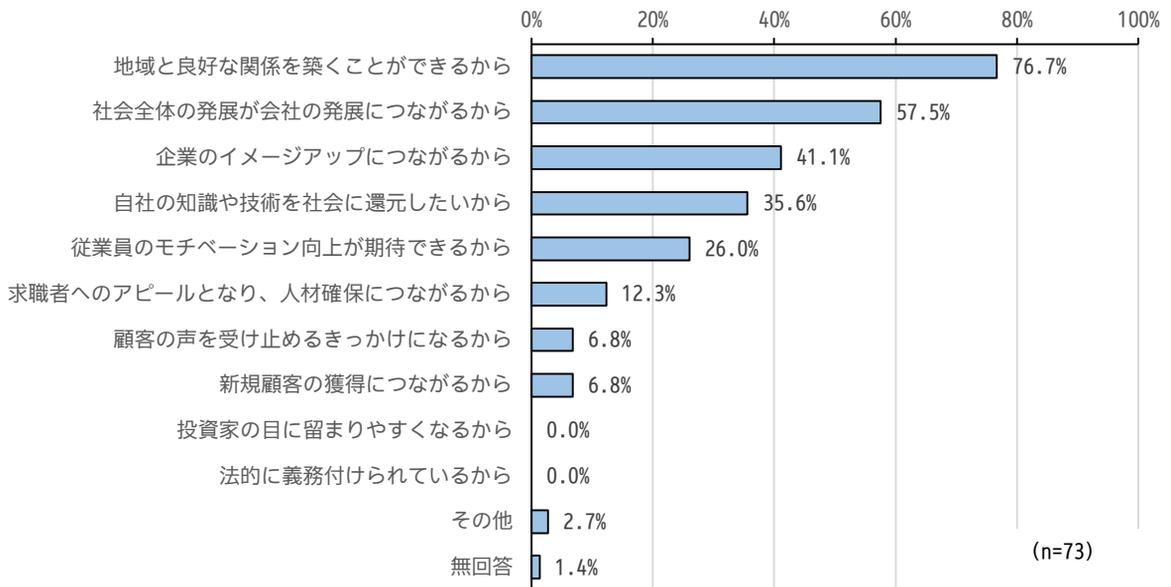


【その他】の主な内容

- 地元の社会福祉協議会へ毎年、寄付を行っている（宿泊・飲食サービス業）
- 無償でAEDを含む救命講習会を実施（その他）

問5 問3で、社会貢献活動に「取り組んでいる」と回答した事業所について
社会貢献活動に取り組んでいる理由は何ですか？（複数選択可）

8割弱の事業所が「地域と良好な関係を築くことができるから」と回答しています。

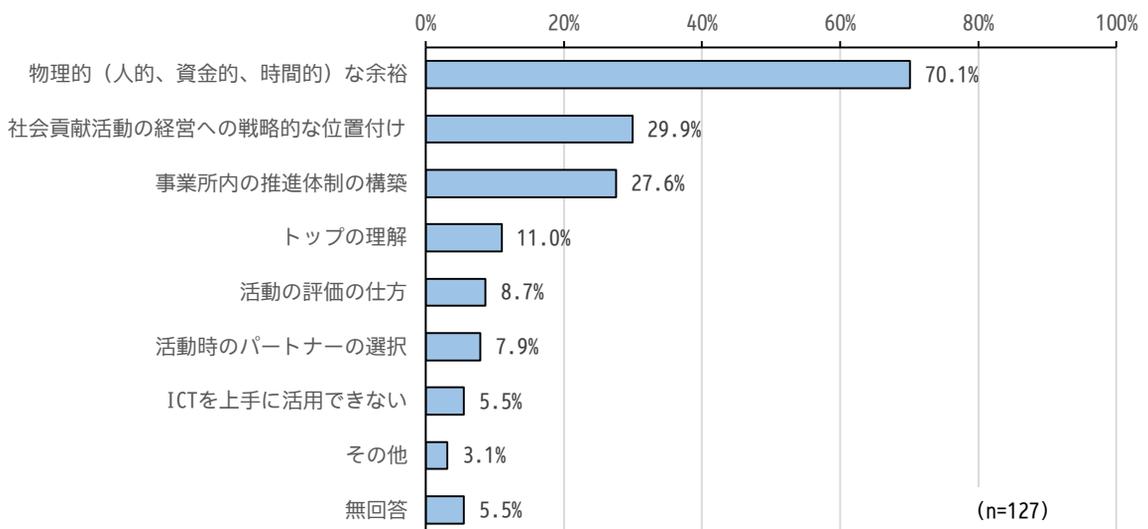


【その他】の主な内容

- 自然災害等の折、奉仕団体の「力」で協力（金銭的にも）出来るから（不動産業）
- 社会貢献に理由はあるのでしょうか？（建設業）

問6 **社会貢献活動を行う際の課題は何ですか？**（複数選択可）

7割の事業所が「物理的(人的、資金的、時間的)な余裕」を課題に感じています。

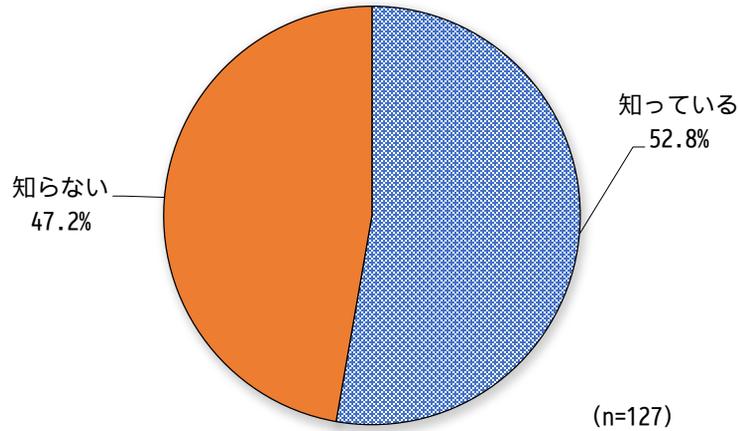


【その他】の主な内容

- どのようなことが社会貢献活動になるのか具体例がわからない（その他）
- 特になし（卸売・小売業）

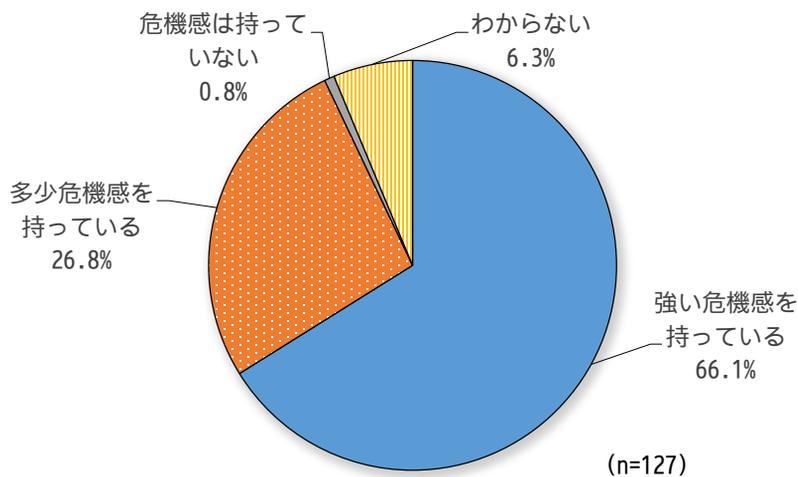
問7 「郡山市の出生数：1985(昭和60)年4,000人超→2022(令和4)年2,000人割る」
このことをご存知でしたか？

半数の事業者が「知っている」と回答しています。



問8 少子高齢化・人口減少をどう受け止めていますか？

9割強の事業者が「危機感を持っている」と回答しています。

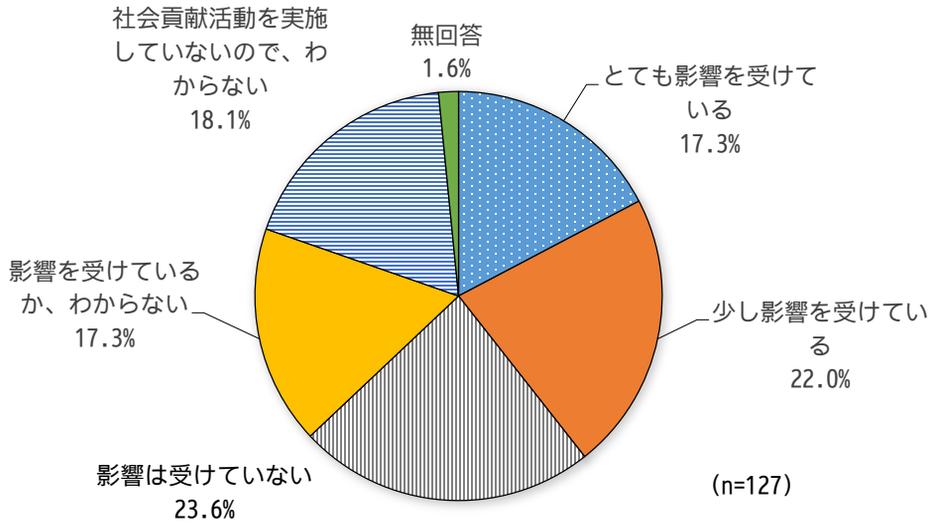


「強い危機感を持っている」66.1%、「多少危機感を持っている」26.8%を合計すると92.9%となります。

問9

社会貢献活動は、 少子高齢化・人口減少の影響を受けていますか？

4割弱の事業者が「影響を受けている」と回答しています。

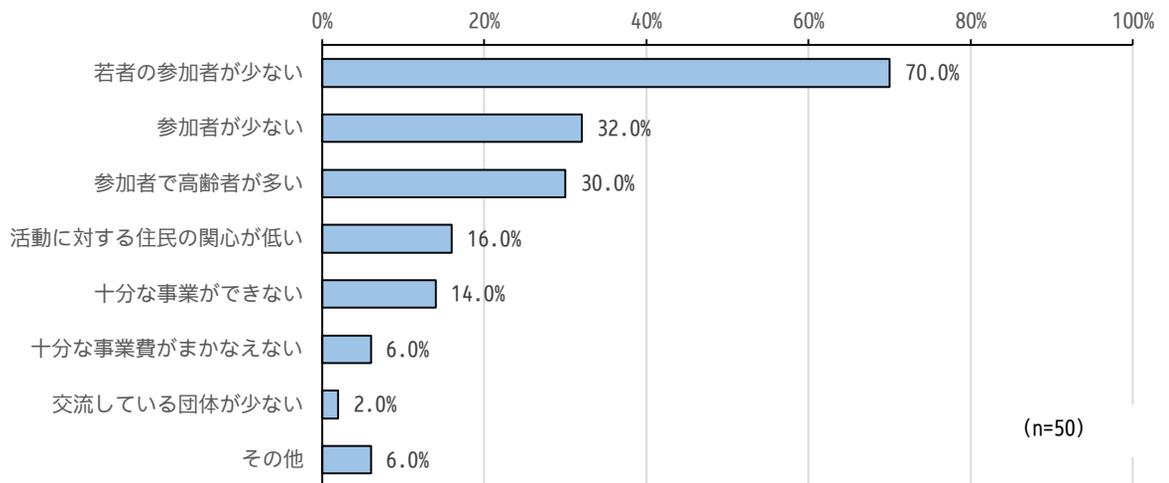


「とても影響を受けている」17.3%、「少し影響を受けている」22.0%を合計すると39.3%となります。

問10

問9で、影響を「とても受けている」「少し受けている」と回答した事業者について、具体的にどのような影響を受けていると感じますか？（複数選択可）

7割の事業者が「若者の参加者が少ない」と回答しています。

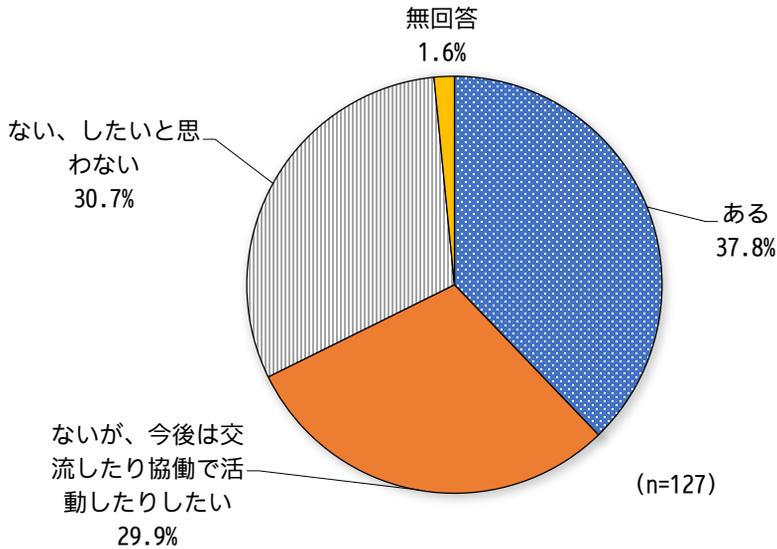


【その他】の主な内容

- 少子高齢化、人口減少だからこそ、地域活動でコミュニティを育む必要があると感じ、行っている事から、そもそもの活動の原点に影響を受けている。（不動産業）
- 私達側の人件（人手）がたりない。（卸売・小売業）

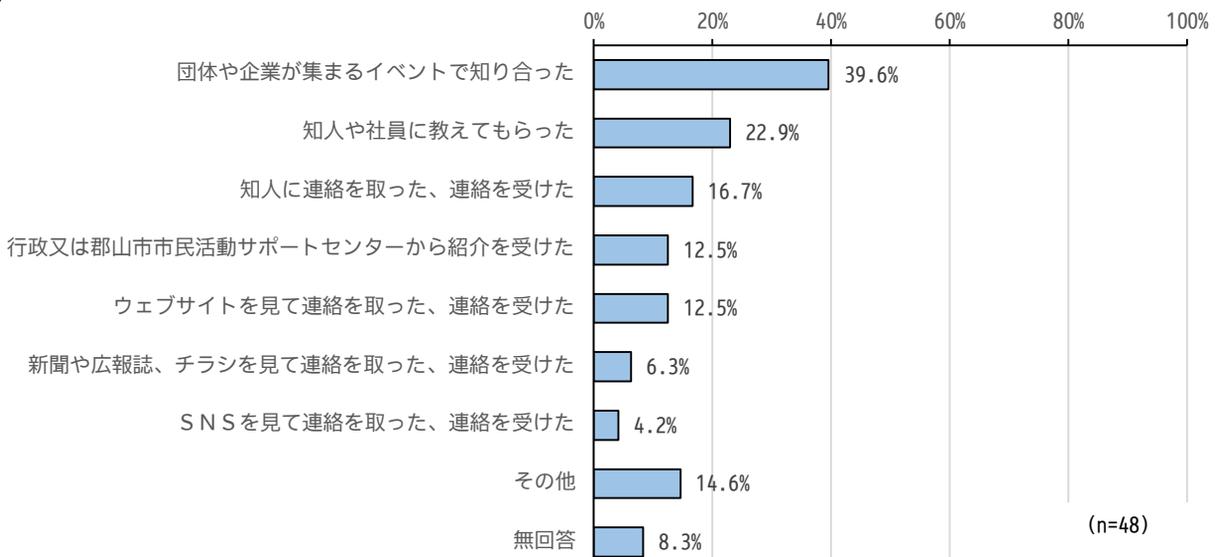
他の団体や行政（市）と交流したり協働で活動したりしたことはありますか？

4割弱の事業所が「ある」と回答しています。



問11で、交流や協働で活動をしたことが「ある」と回答した事業者について
交流や協働のきっかけとなった要因は何ですか？（複数選択可）

4割弱の事業所が「団体や企業が集まるイベントで知り合った」と回答しています。

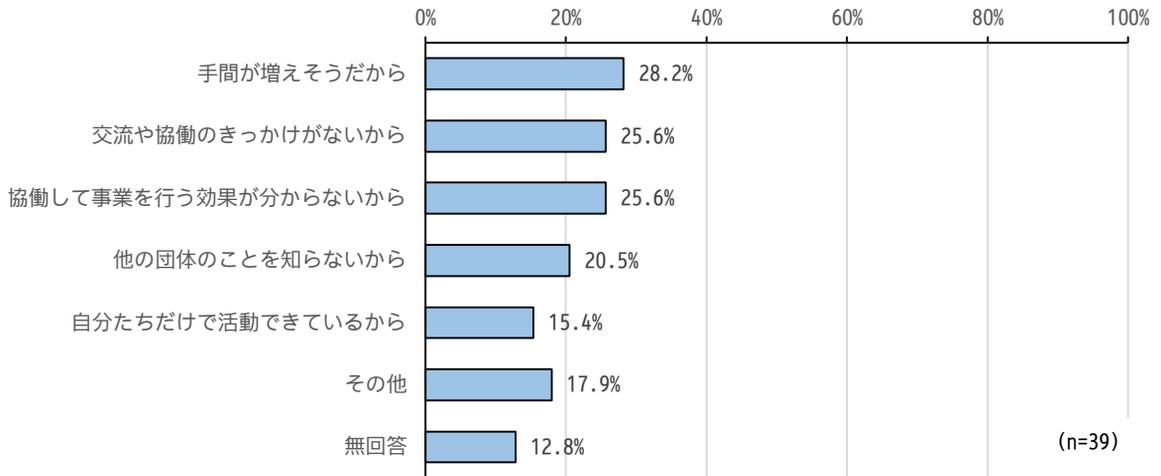


【その他】の主な内容

- 別業種の協働事業者から紹介を受けた（金融・保険業）
- 町内会配布の回覧板（不動産業）

問11で、交流や協働で活動をしたことが「ない、したいと思わない」と回答した事業者について
交流や協働しない（したくない）理由は何ですか？（複数選択可）

3割弱の事業者が「手間が増えそうだから」と回答しています。

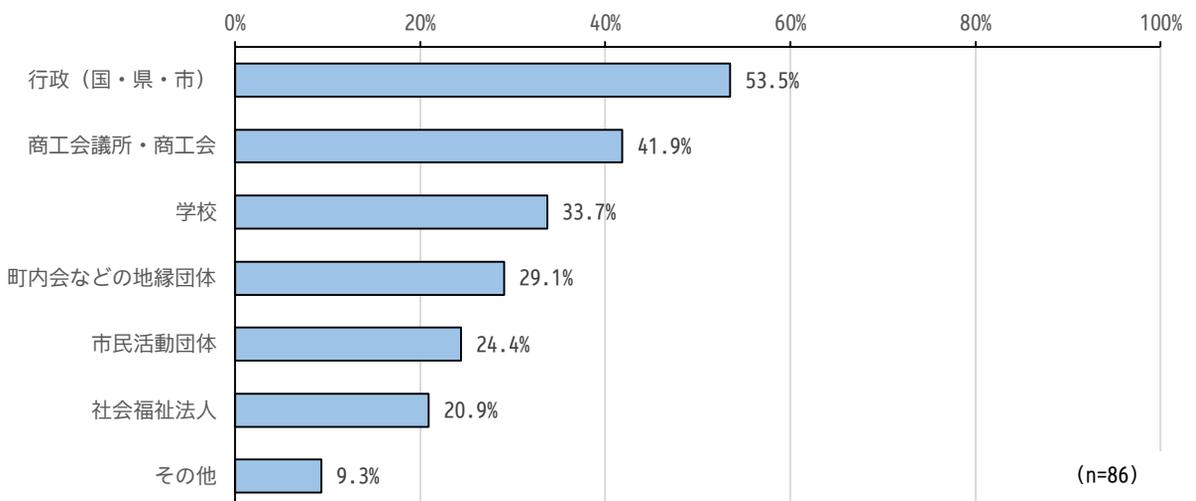


【その他】の主な内容

- 人的、時間的、資金的に余裕がない（製造業）
- 交流する時間が取れそうにないから（その他）

問12 問11で、交流や協働したことが「ある」「ないが今後したい」と回答した事業者について
交流や協働した（したい）相手先はどういった団体ですか？（複数選択可）

5割強の事業者が「行政（国・県・市）」と回答しています。

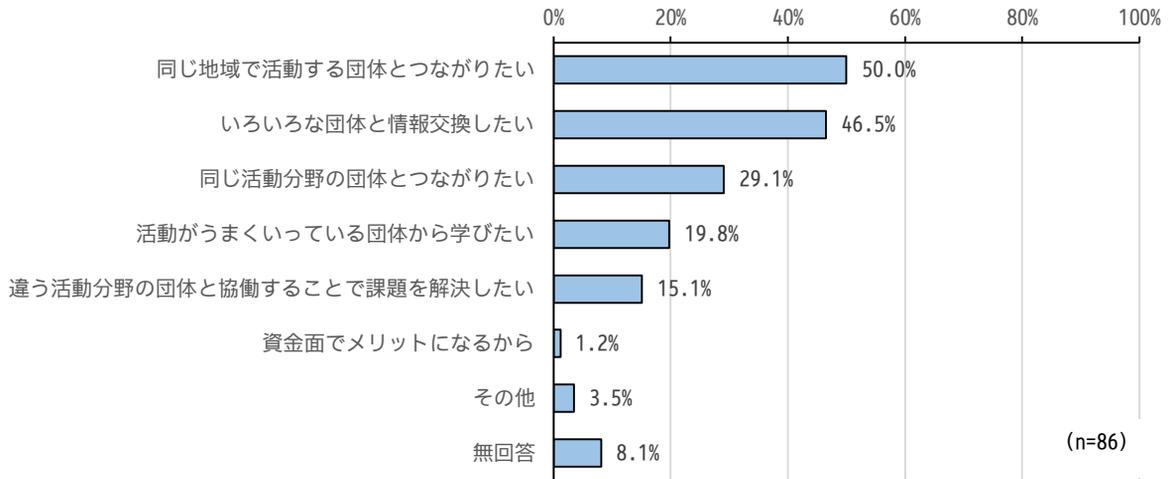


【その他】の主な内容

- NPO法人（卸売・小売業）
- 職能団体（その他）

問13 問11で、交流や協働したことが「ある」「ないが今後したい」と回答した事業者について
交流や協働した（今後したい）理由は何ですか？（複数選択可）

半数の事業者が「同じ地域で活動する団体とつながりたい」と回答しています。

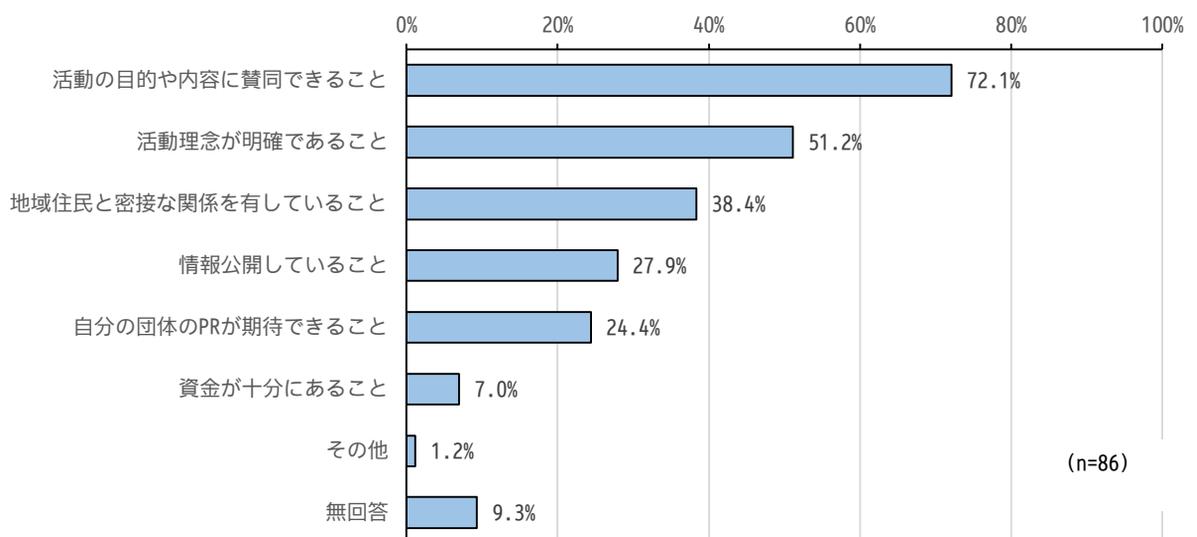


【その他】の主な内容

- 従業員のモチベーションアップ、楽しんで仕事をしてほしい（卸売・小売業）
- 目指す方向や使命に共感したため（卸売・小売業）

問14 問11で、交流や協働したことが「ある」「ないが今後したい」と回答した事業者について
交流や協働するうえで相手に求めるものは何ですか？（複数選択可）

7割強の事業者が「活動の目的や内容に賛同できること」と回答しています。



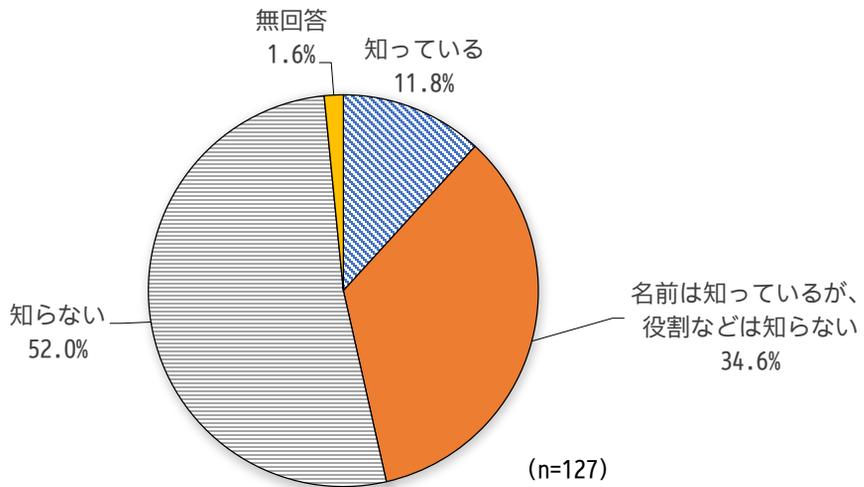
【その他】の主な内容

- 特になし（建設業）

問15

郡山市市民活動サポートセンターは知っていますか？

「知っている」と回答した事業者は1割強にとどまっています。

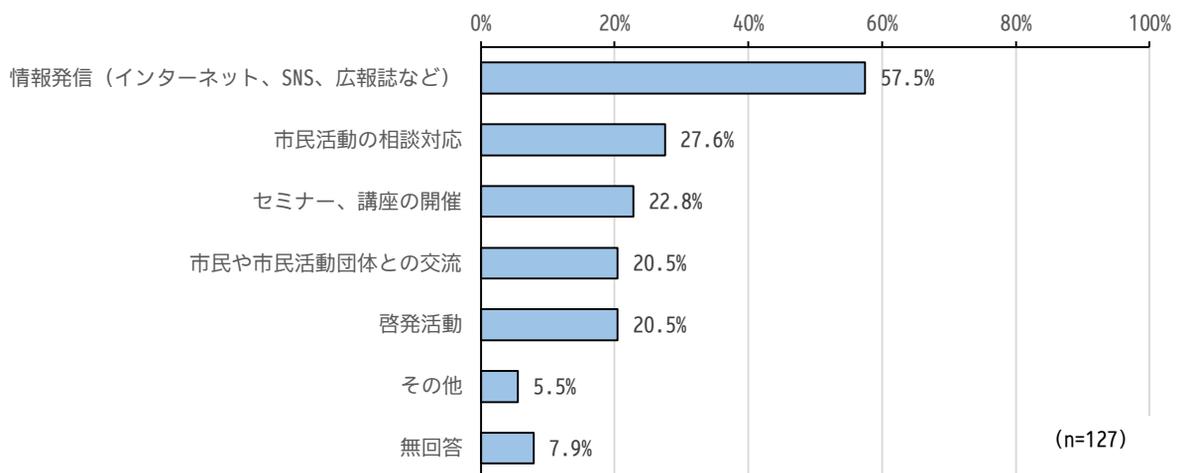


問16

市民活動サポートセンターに望むサービスは何ですか？

(複数選択可)

5割以上の事業者が「情報発信」を望んでいます。

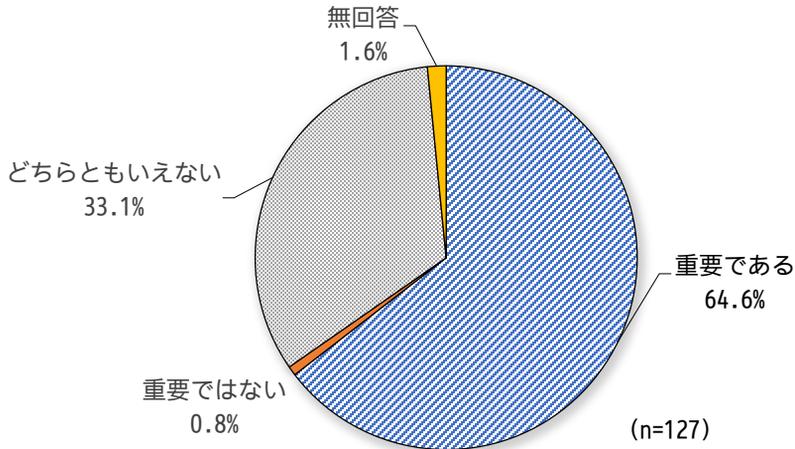


【その他】の主な内容

- どういう内容や活動なのかわからなければ、こちら側も相談も何もわからないし出来ない。(卸売・小売業)
- 考えていない。(その他)

問17 今後のまちづくりにおいて「協働」は重要だと思いますか？

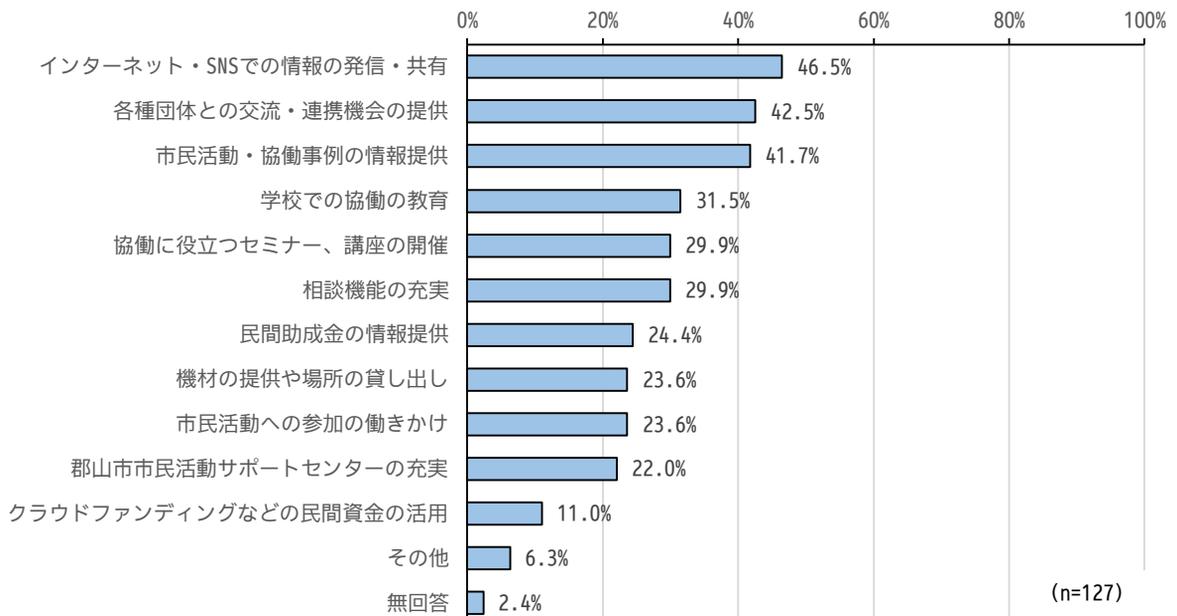
6割強の事業者が「重要である」と回答しています。



問18

協働のまちづくりの推進のため、行政が取り組むべきことは何ですか？（複数選択可）

5割弱の事業者が「インターネット・SNSでの情報の発信・共有」と回答しています。



【その他】の主な内容

- 何の活動をして具体的行動を起こすのかのサジェスションを見出す為にサポートセンターの役割の内容の充実か？（不動産業）
- 人材の充実、協力など（卸売・小売業）

主な意見を抜粋し、掲載しました。寄せられたご意見は、ここに掲載していないものも含め、今後の協働のまちづくりに活用させていただきます。

- 子育て世帯と高齢者との関わりがもてる機会を増やし、協働に関して参加しやすい流れにもっていくことは何だろうと考えています。例えばゴミ拾いをして子ども達に表彰したり、高齢者には外に出る機会を少しで良いので作ったり、積極的に活動したくなる意識づくりが出来たらと思う。(建設業)
- ワークショップ等をやっても意味がない(継続性がない)、教育現場への理解醸成(宿泊・飲食サービス業)
- このアンケート調査の集計したものは、いつ送ってもらえるのでしょうか？老人にもっと目をむけてほしいです。ひとりで生活している方など子供食堂はありますが、高齢者向け、ひとりで生活している方の食堂はあるのでしょうか？このアンケートで本当に「協働まちづくり」が良く取組みできるのでしょうか？人口減少には、他県には郡山市にはない魅力があるからでていくのでしょうか。良く言われるのが、郡山市って行く所ないよね？県外から来た人に紹介する場所もない。良い場所は、カルチャーパークぐらいですかね。人口減少は続くと思います。(建設業)
- 企業側としても協力していきたいが、人手不足で数人を手伝いなどに出向するのが難しい現状。小・中・高に企業の仕事の内容のあっせん等で仕事(測量業)の内容の理解から仕事に就きたいと思ってもらえる事業があれば有難い。子どもの就職の幅が広がり選択肢が増える事で、社会全体の層を片寄らずに厚くできないかと思う。(その他)
- 自然災害の多発する時代ですので「命」を守る活動や防災士等の育成や意識の高揚が必要と思う。(その他)
- 若者が郡山で就労や起業に希望が持てるように情報発信を引き続き積極的におこなっていただくことを期待しております。弊社も何かお役に立てれば幸いです。(情報通信業)
- 40才代、50才代の非婚率減少活動。40才までに結婚推奨する活動。(不動産業)
- 道路の美化、商店街の継続、きれいな町、医療の充実(卸売・小売業)
- 郡山地区の良い所、外部へアピール出来る所等を町おこしとして優遇措置を講じて招へいし、もっと活力ある魅力的な町にしてほしい。(建設業)
- 旧市街地以外の郊外の町へ、若者が移住できる様な政策を考えてほしい。音楽都市も良いですが、あまり偏りすぎると良くない。雪かき、草刈りの作業軽減。地域の風習のようなものが、活動の足かせになるような気がする。(製造業)
- 郡山市全体が盛りあがるためには、片寄った所ばかり市や県と動いていれば今のままだと思います。(卸売・小売業)
- 「日本一」と誇れるものを増やす(製造業)

誰一人取り残されない「協働のまちづくり」

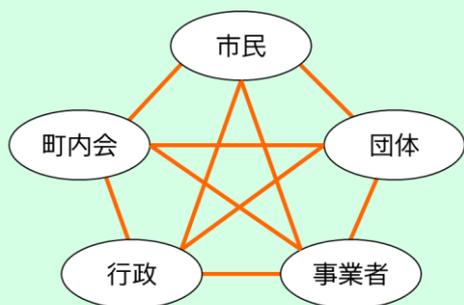
アンケートご協力をお願い

市民の皆さまには、日ごろより本市のまちづくりにご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

郡山市は、皆さまが「このまちが好き」と思えるまちを目指して、「協働推進基本計画」を策定し、皆さまが地域のために協力して取り組む「協働のまちづくり(※)」を進めています。

この度、「郡山市協働推進基本計画」を改訂するにあたり、皆さまが「協働のまちづくり」についてどのようなお考えをお持ちになっているかをお聞きする「郡山市民意識調査(アンケート)」を実施いたします。

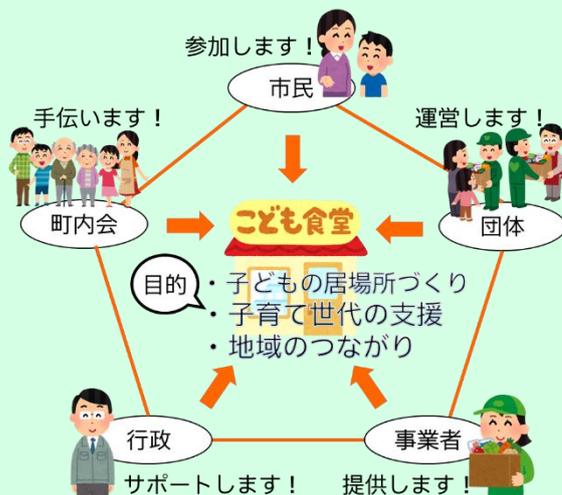
(※) 「協働のまちづくり」とは？



異なる立場の人が、同じ目的のため、それぞれの特性を生かして、協力して取り組むこと

=協働

具体的に「子ども食堂」の場合では



この調査(アンケート)は、郡山市内の満18歳以上の方の中から、1,500人をお無作為に抽出しました。回答は、スマートフォン・タブレット・パソコンからお答えいただけるほか、郵送での返送も可能です。

個人情報をご回答いただく質問は一切ございません。

ご多忙のところ、大変恐縮ではありますが、ぜひご協力くださるようお願いいたします。

なお、ご不明な点等ございましたら下記連絡先までお問合せください。

2024年7月

(連絡先)郡山市 市民部 市民・NPO活動推進課 市民協働推進係

〒963-8601 郡山市朝日一丁目23番7号

電話 024-924-3471 <直通> 平日8:30~17:15

※ 配慮が必要な方は、個別にお問い合わせください。

「協働のまちづくり」アンケート調査

誰一人取り残されない協働のまちづくりのための調査にご協力ください

市民用

《重複を避けるため、回答方法①または②のどちらかで回答してください。》

回答方法①

スマートフォン、タブレット端末

またはパソコンにより

右のQRコードまたはURLからアクセスし、
回答してください。



回答ページに
つながります

パソコン用URL ⇒ <https://www.task-asp.net/cu/eg/lar072036.task?app=202400452>

回答方法②

①調査票を記入



②同封の返信用封筒
(切手不要)に入れる



③ポストに投函



令和6年8月23日(金)までにポストに投函してください。

◆◆◆ 回答に当たって ◆◆◆

- 皆様からの回答は、個人のプライバシー保護を徹底した上ですべて統計的に処理し、個人が特定されることはありません。(返送の際、住所、氏名の記入の必要はありません。)
- 調査票は、原則として「あて名のご本人様」が記入してください。やむを得ず、ご本人様以外の方が記入される場合は、必ずご本人様の意思をご確認の上、記入してください。

○ ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

郡山市 市民部 市民・NPO活動推進課 市民協働推進係 (市役所西庁舎3階)

電話 024-924-3471 <直通> 平日8:30~17:15

※ 配慮が必要な方は、個別にお問い合わせください。

～はじめに～

「協働のまちづくり」とは、市民や市民活動団体、事業者、町内会、市などが、協力して地域の課題の解決に取り組むことをいいます。

全国、特に地方においては、少子高齢化・人口減少がますます進んでおり、郡山市の出生数は1985（昭和60）年が4,000人を超えていたのに対して、2022（令和4）年には2,000人を割っています。郡山市の高齢化率（総人口に占める65歳以上人口の割合）は、1985（昭和60）年が8.7%だったのに対し、2024（令和6）年には28.0%に上がっています。

こうした状況により地域のつながりが弱まっている中、安心して住み続けるためには「協働のまちづくり」が重要になってきます。

本市においても、協働のまちづくりに取り組んでいます。今後の施策の参考とするため、以下の質問にお答えください。

該当する項目の番号を○で囲んでください。

例 ①. 知っている

I ご自身のことについて、おたずねします

問1 あなたの性別（性自認）を教えてください。（あてはまる番号1つに○） ※性別の回答は任意です。

1. 男
2. 女
3. 回答しない

問2 年齢（2024年7月1日時点の満年齢）はおいくつですか。（あてはまる番号1つに○）

1. 18歳～19歳
2. 20歳～29歳
3. 30歳～39歳
4. 40歳～49歳
5. 50歳～59歳
6. 60歳～64歳
7. 65歳～74歳
8. 75歳以上

問3 あなたの職業はどれですか。（あてはまる番号1つに○）

1. 農業
2. 給与所得者
3. 自営業者
4. パート・アルバイト
5. 主婦・主夫
6. 学生
7. 無職
8. その他

問4 郡山市に住んで何年になりますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 1年未満
2. 3年未満
3. 3～9年
4. 10～19年
5. 20～29年
6. 30年以上

問5 お住まいの地域はどこですか。(あてはまる番号1つに○)

1. 富田
2. 大槻
3. 安積
4. 三穂田
5. 逢瀬
6. 片平
7. 喜久田
8. 日和田
9. 富久山
10. 湖南
11. 熱海
12. 田村
13. 西田
14. 中田
15. 上記以外の地域(旧市内)

II 市民活動等について、おたずねします

問6 郡山市の出生数が、1985(昭和60)年は4,000人を超えていたのに対して、2022(令和4)年には2,000人を割っています。このことについて御存知でしたか。(あてはまる番号1つに○)

1. 知っている
2. 知らない

問7 少子高齢化・人口減少について、あなたはどうか受け止めていますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 強い危機感を持っている
2. 多少危機感を持っている
3. 危機感を持っていない
4. わからない

問8 地域でのつきあいについて、もっとも近いものはどれですか。(あてはまる番号1つに○)

1. 地域の人たちと互いに相談し合うような、生活面での協力関係がある
2. 地域の人たちと互いに相談し合うようなことはないが、世間話や立ち話をする
3. 地域の人たちと会話はほとんどしないが、あいさつはする
4. 地域の人たちとつきあいはなく、あいさつもかわさない

問9 町内会などの地域活動やボランティア活動、NPO活動（＝まとめて市民活動と言います）に参加したことがありますか。（あてはまる番号1つに○）

※ 市民活動とは、市民が公共の利益のために自主的・自発的に行う活動です。

1つ選択	「ある」又は「ない」の選択に応じて回答してください。	次の問
1. ある (参加している、参加したことがある)	<p>「ある」場合、参加している(した)活動を選択(あてはまる番号全てに○)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 町内会・自治会活動 2. 防火・防災活動 3. 清掃活動 4. 交通安全活動 5. 防犯活動 6. 子どもの支援活動 7. 障がい者の支援活動 8. 高齢者の支援活動 9. 国際・多文化共生活動 10. スポーツ活動 11. 文化・芸術活動 12. その他(具体的に：) 	⇒ 問10へ
2. ない	<p>「ない」場合、参加したことがない理由を選択(あてはまる番号全てに○)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. きっかけや機会がなかった 2. 忙しくて時間がない 3. 参加する意義を感じない 4. 興味や関心がない 5. 一緒に活動する仲間がいない 6. 健康上の理由 7. 金銭的な負担が難しい 8. 職場または家族の理解が得られない 9. 特に理由はない 10. その他(具体的に：) 	⇒ 問12へ

問10 問9「1. ある(参加している・したことがある)」と回答された方にお聞きします。
参加している(したことがある)活動は、何で知りましたか。(あてはまる番号全てに○)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 人づてに聞いた(誘われた) 2. 町内会・自治会の回覧板 3. チラシ・パンフレット・ポスター 4. テレビ・ラジオ 5. 新聞 6. 広報こおりやま 7. インターネット 8. 講演会、セミナー、学校等 9. その他(具体的に：)
--

問 11 問 9「1.ある（参加している・したことがある）」と回答された方にお聞きします。

活動に参加して、どのような点が課題だと感じましたか。または不安、不満を感じましたか。

（あてはまる番号全てに○）

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 参加する人が増えない（減っている）2. 参加する人の高齢化3. 若い人の参加が少ない4. 資金が確保できない5. 活動する意義が感じられない6. 自分の都合のつく時間に活動できない7. ICT を上手に活用できない
※ICT…パソコン、スマートフォン、SNS(登録制のオンラインサービス。Facebook、Instagram、Xなど。)8. 他団体と交流が思うように進まない9. 困った時に相談できる場所・人がいない10. 特になし11. わからない12. その他（具体的に： _____) |
|--|

問 12 少子高齢化・人口減少がますます進む中で、今後、活動が困難、または負担が増えると思われる活動はどれですか。（あてはまる番号3つまで○）

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 町内会・自治会活動2. 防火・防災活動3. 清掃活動4. 交通安全活動5. 防犯活動6. 子どもの支援活動7. 障がい者の支援活動8. 高齢者の支援活動9. 国際・多文化共生活動10. スポーツ活動11. 文化・芸術活動12. 特になし13. その他（具体的に： _____) |
|--|

問 13 郡山市では、市民活動を支援するために「郡山市市民活動サポートセンター」を設置しています。あなたは「サポートセンター」を知っていますか。(あてはまる番号1つに○)

※ 郡山市市民活動サポートセンターでは、市民や市民活動団体等が行う市民活動を支援するため、各種相談の受付や講座、イベントを開催しています。

1. 知っている
2. 名前は知っているが、役割などは知らない
3. 知らない

問 14 あなたが、郡山市市民活動サポートセンターに望むサービスは何ですか。(あてはまる番号全てに○)

1. 市民活動の相談対応
2. 啓発活動
3. セミナー、講座の開催
4. 情報発信（インターネット、SNS、広報誌など）
5. 市民や市民活動団体との交流
6. その他（具体的に：)

Ⅲ 協働のまちづくりについて、おたずねします

問 15 今後のまちづくりにおいて、あなたは「市民協働」が重要だと思いますか。

(あてはまる番号1つに○)

※ 協働とは、市民や市民活動団体、事業者、市などが対等の立場で協力して、地域の課題の解決に取り組むことをいいます。

1. 重要である
2. 重要ではない
3. どちらともいえない

問 16 あなたが参加したことがある市の取組はどれですか。(あてはまる番号全てに○)

1. 市のイベントにボランティアとして参加
2. みなさんの声（市民提案制度）
3. 住民説明会
4. ワークショップ
5. 意見交換会
6. まちづくりネットモニター
7. パブリックコメント
8. 公募委員
9. その他（具体的に：)

誰一人取り残されない「協働のまちづくり」

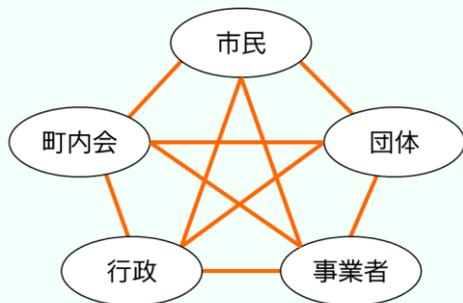
アンケートご協力をお願い

町内会・自治会の皆さまには、日ごろより本市のまちづくりにご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

郡山市は、皆さまが「このまちが好き」と思えるまちを目指して、「協働推進基本計画」を策定し、皆さまが地域のために協力して取り組む「協働のまちづくり(※)」を進めています。

この度、「郡山市協働推進基本計画」を改訂するにあたり、皆さまが「協働のまちづくり」についてどのようなお考えをお持ちになっているかをお聞きする「郡山市民意識調査(アンケート)」を実施いたします。

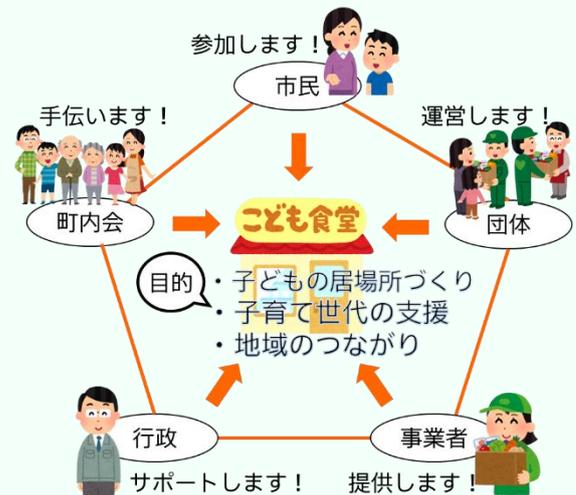
(※) 「協働のまちづくり」とは？



異なる立場の人が、同じ目的のため、それぞれの特性を生かして、協力して取り組むこと

= 協働

具体的に「子ども食堂」の場合では



この調査(アンケート)は、郡山市内のすべての町内会・自治会を対象にお送りしております。回答は、スマートフォン・タブレット・パソコンからお答えいただけるほか、郵送での返送も可能です。

町内会の特定の方の個人情報をご回答いただく質問は一切ございません。

ご多忙のところ、大変恐縮ではありますが、ぜひご協力くださるようお願いいたします。なお、ご不明な点等ございましたら下記連絡先までお問合せください。

2024年7月

(連絡先)郡山市 市民部 市民・NPO 活動推進課 市民協働推進係

〒963-8601 郡山市朝日一丁目 23 番 7 号

電話 **024-924-3471** <直通> 平日 8:30~17:15

※ 配慮が必要な方は、個別にお問い合わせください。

「協働のまちづくり」アンケート調査

誰一人取り残されない協働のまちづくりのための調査にご協力ください

町内会用

《重複を避けるため、回答方法①または②のどちらかで回答してください。》
※回答に当たって、住所、氏名の記入の必要はありません。

回答方法①

スマートフォン、タブレット端末

またはパソコンにより

右のQRコードまたはURLからアクセスし、
回答してください。



回答ページに
つながります

パソコン用URL ⇒ <https://www.task-asp.net/cu/eg/lar072036.task?app=202400492>

回答方法②

①調査票を記入



②同封の返信用封筒
(切手不要)に入れる



③ポストに投函



令和6年8月23日(金)までにポストに投函してください。

○ ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

郡山市 市民部 市民・NPO活動推進課 市民協働推進係 (市役所西庁舎3階)

電話 024-924-3471 <直通> 平日8:30~17:15

※ 配慮が必要な方は、個別にお問い合わせください。

～はじめに～

「協働のまちづくり」とは、市民や市民活動団体、事業者、町内会、市などが、協力して地域の課題の解決に取り組むことをいいます。

全国、特に地方においては、少子高齢化・人口減少がますます進んでおり、郡山市の出生数は1985（昭和60）年が4,000人を超えていたのに対して、2022（令和4）年には2,000人を割っています。郡山市の高齢化率（総人口に占める65歳以上人口の割合）は、1985（昭和60）年が8.7%だったのに対し、2024（令和6）年には28.0%に上がっています。

こうした状況により地域のつながりが弱まっている中、安心して住み続けるためには「協働のまちづくり」が重要になってきます。

本市においても、協働のまちづくりに取り組んでいますが、今後の施策の参考とするため、以下の質問にお答えください。

該当する項目の番号を○で囲んでください。

例 ①.知っている

I 町内会・自治会について、おたずねします

問1 町内会・自治会の所在地域を教えてください。（あてはまる番号1つに○）

- | | |
|--------|--------------------|
| 1. 富田 | 9. 富久山 |
| 2. 大槻 | 10. 湖南 |
| 3. 安積 | 11. 熱海 |
| 4. 三穂田 | 12. 田村 |
| 5. 逢瀬 | 13. 西田 |
| 6. 片平 | 14. 中田 |
| 7. 喜久田 | 15. 上記以外の市内地域（旧市内） |
| 8. 日和田 | |

問2 貴町内会・自治会では現在どのような活動をしていますか。（あてはまる番号全てに○）

- | |
|---------------------------|
| 1. 回覧板などによる情報の共有 |
| 2. 環境美化活動（草刈り、清掃、花壇整備等） |
| 3. 資源回収活動 |
| 4. 地域のお祭り |
| 5. 地区運動会の開催 |
| 6. 防犯活動（こどもの見守り、夜間パトロール等） |
| 7. 会員同士の交流（芋煮会、旅行、忘新年会等） |
| 8. 防災活動（火災予防パトロール、避難訓練等） |
| 9. 交通安全活動（登下校の見守り等） |
| 10. その他（具体的に： _____) |

問3 活動にはどの年代の方が参加していますか。(あてはまる番号全てに○)

1. 19歳以下
2. 20歳代
3. 30歳代
4. 40歳代
5. 50歳代
6. 60歳代
7. 70歳代以上

問4 郡山市の出生数が、1985(昭和 60)年は 4,000 人を超えていたのに対して、2022(令和4)年には 2,000 人を割っています。このことについて御存知でしたか。(あてはまる番号1つに○)

1. 知っている
2. 知らない

問5 少子高齢化・人口減少について、貴町内会・自治会はどう受け止めていますか。
(あてはまる番号1つに○)

1. 強い危機感を持っている
2. 多少危機感を持っている
3. 危機感を持っていない
4. わからない

問6 貴町内会・自治会の活動は、少子高齢化・人口減少の影響を受けていますか。
(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|--|---|-------------------------|
| <ol style="list-style-type: none">1. とても影響を受けている2. 少し影響を受けている3. 影響を受けていない4. わからない | } | 3、4を選択した場合は、 問8へ |
|--|---|-------------------------|

問7 問6「1. とても影響を受けている」「2. 少し影響を受けている」と回答された町内会・自治会にお聞きします。

具体的にどのような影響を受けていると感じますか。(あてはまる番号全てに○)

1. 参加者・会員が少ない
2. 参加者・会員で高齢者が多い
3. 若者の参加者が少ない
4. 十分な事業ができない
5. 十分な事業費がまかなえない
6. 交流している団体が少ない
7. 活動に対する住民の関心が低い
8. その他(具体的に：

)

問8 町内会・自治会の活動に、幅広い年代や外国人など多様な人に参加してもらうために行っていることはありますか。(あてはまる番号全てに○)

- | |
|-----------------------------|
| 1. こども会や老人会など、別団体と連携して行事を行う |
| 2. 回覧板などによる参加の呼びかけ |
| 3. お祭りや運動会など世帯全体で参加できる行事を行う |
| 4. やさしい日本語で案内文などを作成 |
| 5. 特になし |
| 6. その他(具体的に：) |

問9 コロナ前と現在を比べて、貴町内会・自治会では活動の内容や規模に変化はありましたか。(あてはまる番号1つに○)

- | |
|----------|
| 1. 大いにある |
| 2. 少しある |
| 3. ない |
| 4. わからない |
- } 3、4を選択した場合は、問11へ

問10 問9「1. 大いにある」「2. 少しある」と回答された町内会・自治会にお聞きします。具体的にどのように影響がありましたか。(あてはまる番号全てに○)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. デジタルの活用が進んだ |
| 2. 書面開催が増えた |
| 3. できる範囲で活動するために活動の効率化が図られた |
| 4. 行事を縮小・休止していたため、中身のわかる人がいない・少なくなった |
| 5. 行事を縮小・休止していたため、地域のつながりが薄くなったと感じる |
| 6. その他(具体的に：) |

問11 貴町内会・自治会では、スマートフォンやパソコンなどのICT(※)は活用していますか。又は活用したいと思いますか。(あてはまる番号1つに○)

(※)ICT…パソコン、スマートフォン、SNS(登録制のオンラインサービス。Facebook、Instagram、Xなど。)

- | |
|---------------------------|
| 1. 活用している |
| 2. 活用していないが、今後活用したいと思う |
| 3. 活用していないし、今後も活用したいと思わない |
| 4. わからない |
- } 3、4を選択した場合は、問13へ

問 12 問 11「1. 活用している」「2. 活用していないが、今後活用したいと思う」と回答された町内会・自治会にお聞きします。

具体的にどのような活動等に ICT を活用していますか。又は活用したいですか。

(あてはまる番号全てに○)

- | |
|---|
| 1. 会員同士の連絡
2. 地域行事、活動等の情報発信
3. 町内会の掲示板
4. 定期的な会議
5. 回覧板
6. その他（具体的に：) |
|---|

問 13 ICT 活用に関する課題や悩みを教えてください。(あてはまる番号全てに○)

- | |
|--|
| 1. どのようなツールを使うのが良いのかわからない
2. 団体内に ICT 活用できる人がいない・少ない
3. SNSは使っているが効果が感じられない
4. ICT を活用することでかえって手間が増えている
5. ICT 活用の理解が得られない
6. ICT を積極的に活用する必要性はない
7. その他（具体的に：) |
|--|

問 14 町内会に加入することの意義（メリット）はどのようなことだと思いますか。

(あてはまる番号全てに○)

- | |
|---|
| 1. 良好な近所づきあいができる
2. 地域コミュニティの形成
3. 地域の環境美化が図られる
4. 広報等の行政情報の取得
5. 子供や高齢者の見守りをしてもらえる
6. 地域の防犯や防災の面で安心できる
7. いざという時に助け合える関係が築ける
8. その他（具体的に：) |
|---|

問 15 貴町内会・自治会では、問 14 で回答した活動が十分にできていますか。(あてはまる番号1つに○)

- | |
|---|
| 1. 十分できている
2. まあまあできている
3. あまりできていない
4. できていない |
|---|

問 16 町内会・自治会に加入する人を増やすためにはどのような取り組みが必要だと思いますか。
(あてはまる番号全てに○)

1. 活動状況や加入のメリットを積極的に情報発信する
2. 役員の負担を軽減する
3. 不要な活動をやめるなど、活動のスリム化を図る
4. 加入の呼びかけを積極的に行う
5. 任意の加入なので増やすための取り組みは必要ない
6. 活動が十分にできているので増やす必要はない
7. その他（具体的に：

)

問 17 活動する上での課題・悩みを教えてください。(あてはまる番号全てに○)

1. 役員のなり手がいない
2. 行事、活動等の参加者が少ない
3. 会員全体の高齢化
4. 役員の負担が大きい
5. 特定の会員しか、運営、行事に関わらない
6. 加入者の減少
7. 活動のマンネリ化
8. 行政からの依頼事項が多い
9. 活動資金や活動拠点（集会所など）が不十分
10. 加入するメリットを伝えきれていない
11. 活動に対する住民の関心が低下している
12. 困った時に相談できる場所、人がいない
13. 余計な会議などで時間がとられてしまう
14. 地域に住む外国人などとの関わりが薄い、ない
15. 特になし
16. その他（具体的に：

)

問 18 町内会・自治会を含め、地域コミュニティを維持していくために、今後必要な取り組みは何だと思いますか。(あてはまる番号全てに○)

1. 町内会として、今のままの事業の維持
2. 町内会として、必要な事業の取捨選択、スリム化
3. 町内会と他団体との連携
4. 町内会より大きなコミュニティの形成
5. 町内会より小さなコミュニティの形成

問 20 問 19「1. ある」「2. ないが、今後は交流したり協働で活動したりしたい」と回答された町内会・自治会にお聞きします。

交流や協働した（今後したい）相手先はどういった団体ですか。（あてはまる番号全てに○）

- | |
|---|
| 1. 市民活動団体 |
| 2. 他の町内会などの地縁団体 |
| 3. 民間企業 |
| 4. 社会福祉法人 |
| 5. 商工会議所・商工会 |
| 6. 学校 |
| 7. 行政（国・県・市） |
| 8. その他（具体的に： ） |

問 21 問 19「1. ある」「2. ないが、今後は交流したり協働で活動したりしたい」と回答された町内会・自治会にお聞きします。

交流や協働した（今後したい）理由は何ですか。（あてはまる番号全てに○）

- | |
|---|
| 1. 同じ活動分野の団体とつながりたい |
| 2. 同じ地域で活動する団体とつながりたい |
| 3. いろいろな団体と情報交換したい |
| 4. 活動がうまくいっている団体から学びたい |
| 5. 資金面でメリットになるから |
| 6. 違う活動分野の団体と協働することで課題を解決したい |
| 7. その他（具体的に： ） |

問 22 問 19「1. ある」「2. ないが、今後は交流したり協働で活動したりしたい」と回答された町内会・自治会にお聞きします。

交流や協働するうえで、相手先に求めるものは何ですか。（あてはまる番号全てに○）

- | |
|---|
| 1. 活動の目的や内容に賛同できること |
| 2. 地域住民と密接な関係を有していること |
| 3. 活動理念が明確であること |
| 4. 自分の団体の PR が期待できること |
| 5. 資金が十分にあること |
| 6. 情報公開していること |
| 7. その他（具体的に： ） |

問 23 今後のまちづくりにおいて、貴町内会・自治会は「協働」が重要だと思いますか。

（あてはまる番号1つに○）

- | |
|--------------|
| 1. 重要である |
| 2. 重要ではない |
| 3. どちらともいえない |

問 24 少子高齢化・人口減少が進む中、協働のまちづくりを推進するために、貴町内会・自治会が必要と思う行政が取り組むべきことは何ですか。(あてはまる番号全てに○)

1. 相談機能の充実
2. 協働に役立つセミナー、講座の開催
3. インターネット・SNS での情報の発信・共有
4. 各種団体との交流・連携機会の提供
5. 市民活動・協働事例の情報提供
6. 郡山市市民活動サポートセンターの充実
7. 学校での協働の教育
8. 市民活動への参加の働きかけ
9. 民間助成金の情報提供
10. クラウドファンディングなどの民間資金の活用
11. 機材の提供や場所の貸し出し
12. その他（具体的に： _____)

問 25 その他ご意見がありましたら自由に記入してください。

※協働に関して、少子高齢化・人口減少が進行する中で必要だと思うこと、郡山市で実現したいことなど、自由に記入してください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

恐れ入りますが、本紙を3つ折りにして、同封の返信用封筒で2024（令和6）年8月23日（金）までにご投函ください。

令和6年度 郡山市市民活動サポートセンター登録団体・個人 利用者アンケート

郡山市市民活動サポートセンター
〒963-8601 福島県郡山市朝日一丁目23番7号
TEL: 024(924)3352

平素より郡山市市民活動サポートセンター（以下、センターという）をご利用いただき誠にありがとうございます。

センターでは、協働のまちづくり（※）を推進するため、市民の主体的・公益的な活動を支援していくうえで、多様化・複雑化する市民ニーズやセンターへの期待等を把握し、よりよいサービスを提供することを目的に、利用登録団体・個人にアンケートを実施いたします。ご多忙のところ誠に恐縮ですが、ご協力をお願いいたします。

※「協働のまちづくり」とは、市民や市民活動団体、事業者、町内会、市などが、協力して地域の課題の解決に取り組むことをいいます。全国、特に地方においては、少子高齢化・人口減少がますます進んでおり、郡山市の出生数は1985年が4,000人を超えていたのに対して、2022年には2,000人を割っています。高齢化率（総人口に占める65歳以上人口の割合）は、1985年が8.7%だったのに対し、2024年には28.0%に上がっています。そういったことにより地域のつながりが弱まっている中、安心して住み続けるためには、協働のまちづくりが重要になってきます。本市においても、協働のまちづくりに取り組んでいますが、今後の施策の参考とするため、以下の質問にお答えください。

回答期日 8月31日（土）17時までご回答ください

回答の
提出方法

1. Web回答フォーム（右QRコード）
2. サポートセンター窓口
3. FAX
4. 郵送

回答フォーム



1. 貴団体・個人について

問1：団体の種別を教えてください。【1つ選択】

<input type="checkbox"/>	法人格なき任意団体
<input type="checkbox"/>	NPO法人
<input type="checkbox"/>	社団法人（一般／公益）
<input type="checkbox"/>	財団法人（一般／公益）
<input type="checkbox"/>	町内会
<input type="checkbox"/>	個人
<input type="checkbox"/>	その他（例）株式会社、合資会社、地縁組織、自治会・町内会

問2：活動を始めた時期を教えてください。【開始時期：○年○月（記述）】

(例) ○○○○年○月○日設立、○○年○○月頃から

問3：どの年代の方が中心に活動していますか？【複数選択】

<input type="checkbox"/>	20歳未満
<input type="checkbox"/>	20歳代
<input type="checkbox"/>	30歳代
<input type="checkbox"/>	40歳代
<input type="checkbox"/>	50歳代
<input type="checkbox"/>	60歳代
<input type="checkbox"/>	70歳以上

問4：主な活動の対象地域を教えてください。【1つ選択】

<input type="checkbox"/>	郡山市内
<input type="checkbox"/>	こおりやま広域圏内
<input type="checkbox"/>	福島県内全域
<input type="checkbox"/>	全国
<input type="checkbox"/>	その他（具体的に)

問5：主な活動の分野を教えてください。【3つまで選択可】

<input type="checkbox"/>	保健、医療または福祉の増進
<input type="checkbox"/>	社会教育の推進
<input type="checkbox"/>	まちづくりの推進
<input type="checkbox"/>	観光の振興
<input type="checkbox"/>	農山漁村又は中山間地域の振興
<input type="checkbox"/>	学術、文化、芸術又はスポーツの振興

<input type="checkbox"/>	環境の保全
<input type="checkbox"/>	災害救援
<input type="checkbox"/>	地域安全
<input type="checkbox"/>	人権の擁護又は平和の推進
<input type="checkbox"/>	国際協力・多文化共生
<input type="checkbox"/>	男女共同参画社会の形成の促進
<input type="checkbox"/>	子どもの健全育成
<input type="checkbox"/>	情報化社会の発展
<input type="checkbox"/>	科学技術の振興
<input type="checkbox"/>	経済活動の活性化
<input type="checkbox"/>	職業能力の開発又は雇用機会拡充の支援
<input type="checkbox"/>	消費者の保護
<input type="checkbox"/>	前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助
<input type="checkbox"/>	前各号に掲げる活動に準ずる活動として都道府県又は指定都市の条例で定める活動

2. 活動状況について

問6：現在、活動が十分にできていますか。【1つ選択】

<input type="checkbox"/>	十分できている
<input type="checkbox"/>	まあまあできている
<input type="checkbox"/>	あまりできていない
<input type="checkbox"/>	できていない

問7：今後の活動の方向性を教えてください。【1つ選択】

<input type="checkbox"/>	事業を拡充していく見込み
<input type="checkbox"/>	新しい事業を実施する見込み
<input type="checkbox"/>	現状維持
<input type="checkbox"/>	事業を縮小していく見込み
<input type="checkbox"/>	解散・休止する見込み

問8：郡山市の出生数が、1985年は4,000人を超えていたのに対して、2022年には2,000人を割っています。このことについて御存知でしたか。【1つ選択】

<input type="checkbox"/>	知っている
<input type="checkbox"/>	知らない

問 9 : 少子高齢化・人口減少について、貴団体・貴方はどう受け止めていますか。【1つ選択】

<input type="checkbox"/>	強い危機感を持っている
<input type="checkbox"/>	多少危機感を持っている
<input type="checkbox"/>	危機感は持っていない
<input type="checkbox"/>	わからない

問 10 : 貴団体・貴方の活動は、少子高齢化・人口減少の影響を受けていますか。【1つ選択】

<input type="checkbox"/>	とても影響を受けている	【問 11 へ】
<input type="checkbox"/>	少し影響を受けている	【問 11 へ】
<input type="checkbox"/>	影響は受けていない	【問 12 へ】
<input type="checkbox"/>	わからない	【問 12 へ】

問 11 : 問 10 で「とても影響を受けている」「少し影響を受けている」と回答された方にお聞きします。

具体的にどのような影響を受けていますか。【複数選択】

<input type="checkbox"/>	参加者・会員が少ない
<input type="checkbox"/>	参加者・会員で高齢者が多い
<input type="checkbox"/>	若者の参加者が少ない
<input type="checkbox"/>	十分な事業ができない
<input type="checkbox"/>	十分な事業費がまかなえない
<input type="checkbox"/>	交流している団体が少ない
<input type="checkbox"/>	活動に対する住民の関心が低い
<input type="checkbox"/>	その他（具体的に)

問 12 : 主な収入源を教えてください。【複数選択】

<input type="checkbox"/>	民間企業助成金
<input type="checkbox"/>	市、県、国等の行政補助金
<input type="checkbox"/>	賛同企業、賛同者からの寄付金
<input type="checkbox"/>	事業収入（委託金、参加費）
<input type="checkbox"/>	団体会員の会費
<input type="checkbox"/>	役員等の個人負担（自費の投入）
<input type="checkbox"/>	その他（具体的に)

問 1 3 : 資金について、課題はありますか。【複数選択】

<input type="checkbox"/>	活動費に困っている
<input type="checkbox"/>	自主事業の収入が減っている
<input type="checkbox"/>	補助金や委託費が減っている
<input type="checkbox"/>	助成金を申請したいが情報がない
<input type="checkbox"/>	寄付金が増えない
<input type="checkbox"/>	特にない
<input type="checkbox"/>	その他（具体的に)

問 1 4 : 活動に関する情報を発信する手段として何を利用していますか。【複数選択】

<input type="checkbox"/>	団体のウェブサイト
<input type="checkbox"/>	団体の SNS (登録制のオンラインサービス。Facebook、Instagram、X など。)
<input type="checkbox"/>	団体の会報やチラシ（紙媒体）
<input type="checkbox"/>	報道機関への投げ込み
<input type="checkbox"/>	市民活動サポートセンターのウェブサイト
<input type="checkbox"/>	市民活動サポートセンターの SNS
<input type="checkbox"/>	町内会の回覧板（町内会への依頼）
<input type="checkbox"/>	その他（具体的に)

問 1 5 : 活動する上での人材や組織に関する課題・悩みを教えてください。【複数選択】

<input type="checkbox"/>	新たな会員が増えない
<input type="checkbox"/>	会員・構成員が高齢化している
<input type="checkbox"/>	参加者が減り活動が滞っている
<input type="checkbox"/>	活動に必要な専門知識がある人材がいらない・少ない
<input type="checkbox"/>	活動がワンパターン化している
<input type="checkbox"/>	若い人の参加が少ない
<input type="checkbox"/>	役員の負担が多い
<input type="checkbox"/>	活動に対する住民の関心が低下している
<input type="checkbox"/>	他団体と交流が思うように進まない
<input type="checkbox"/>	困った時に相談できる場所・人がいない
<input type="checkbox"/>	余計な会議などで時間がとられてしまう
<input type="checkbox"/>	特にない
<input type="checkbox"/>	その他（具体的に)

問16：活動する上で、ICT（※）活用に関する課題・悩みを教えてください。【複数選択】

（※）ICT…パソコン、スマホ、SNS

<input type="checkbox"/>	どのようなツールを使うのが良いのかわからない
<input type="checkbox"/>	団体内にICTを活用できる人がいない・少ない
<input type="checkbox"/>	ウェブサイトやSNSは使っているが効果が感じられない
<input type="checkbox"/>	ICTを活用することでかえって手間が増えている
<input type="checkbox"/>	ICT活用の理解が得られない
<input type="checkbox"/>	ICTを積極的に活用する必要性はない
<input type="checkbox"/>	特になし
<input type="checkbox"/>	その他（具体的に)

3. 協働のまちづくりについて

問17：他の団体や企業、行政（市）と交流したり協働（※）で活動したりしたことはありますか。

【1つ選択】

（※）協働とは、市民や市民活動団体、事業者、市など、相互の信頼関係の下に、協力して地域の課題の解決に取り組むことをいいます。

<input type="checkbox"/>	ある	【問18へ】
<input type="checkbox"/>	ないが、今後は交流したり協働で活動したりしたい	【問19へ】
<input type="checkbox"/>	ない、したいと思わない	【問22へ】

問18：問17で「ある」と回答された方にお聞きします。

交流や協働のきっかけとなった要因は何ですか。【複数選択】

<input type="checkbox"/>	ウェブサイトを見て連絡を取った、連絡を受けた
<input type="checkbox"/>	SNSを見て連絡を取った、連絡を受けた
<input type="checkbox"/>	新聞や広報誌、チラシを見て連絡を取った、連絡を受けた
<input type="checkbox"/>	知人や会員に教えてもらった
<input type="checkbox"/>	知人に連絡を取った、連絡を受けた
<input type="checkbox"/>	団体や企業が集まるイベントで知り合った
<input type="checkbox"/>	行政又は市民活動サポートセンターから紹介を受けた
<input type="checkbox"/>	その他（具体的に)

問19：問17で「ある」「ないが、今後は交流したり協働で活動したりしたい」と回答された方にお聞きします。

交流や協働した（今後したい）相手先はどういった団体ですか。【複数選択】

<input type="checkbox"/>	他の市民活動団体
<input type="checkbox"/>	町内会などの地縁団体
<input type="checkbox"/>	民間企業
<input type="checkbox"/>	社会福祉法人
<input type="checkbox"/>	商工会議所・商工会
<input type="checkbox"/>	学校
<input type="checkbox"/>	行政（国・県・市）
<input type="checkbox"/>	その他（具体的に)

問20：問17で「ある」「ないが、今後は交流したり協働で活動したりしたい」と回答された方にお聞きします。

交流や協働した（今後したい）理由は何ですか。【複数選択】

<input type="checkbox"/>	同じ活動分野の団体とつながりたい
<input type="checkbox"/>	同じ地域で活動する団体とつながりたい
<input type="checkbox"/>	同じ地域で活動する団体とつながりたい
<input type="checkbox"/>	活動がうまくいっている団体から学びたい
<input type="checkbox"/>	資金面でメリットがある
<input type="checkbox"/>	違う活動分野の団体と協働することで課題を解決したい
<input type="checkbox"/>	その他（具体的に)

問21：問17で「ある」「ないが、今後は交流したり協働で活動したりしたい」と回答された方にお聞きします。

交流や協働するうえで、相手先に求めるものは何ですか。【複数選択】

<input type="checkbox"/>	活動の目的や内容に賛同できること
<input type="checkbox"/>	地域住民と密接な関係を有していること
<input type="checkbox"/>	活動理念が明確であること
<input type="checkbox"/>	自分の団体のPRが期待できること
<input type="checkbox"/>	資金が十分にあること
<input type="checkbox"/>	情報公開していること
<input type="checkbox"/>	その他（具体的に)

⇒問23にお進みください。

問22：問17で「ない、したいと思わない」と回答された方にお聞きします。

交流や協働しない（したくない）理由は何ですか。【複数選択】

<input type="checkbox"/>	自分たちだけで活動できているから
<input type="checkbox"/>	手間が増えそうだから
<input type="checkbox"/>	交流や協働のきっかけがないから
<input type="checkbox"/>	他の団体のことを知らないから
<input type="checkbox"/>	協働して事業を行う効果が分からないから
<input type="checkbox"/>	その他（具体的に)

問23：今後のまちづくりにおいて、貴団体・貴方は「協働」が重要だと思いますか。【1つ選択】

<input type="checkbox"/>	重要である
<input type="checkbox"/>	重要ではない
<input type="checkbox"/>	どちらとも言えない

問24：少子高齢化・人口減少が進む中、協働のまちづくりを推進するために、貴団体・貴方が必要と思う行政が取り組むべきことは何ですか。【複数選択】

<input type="checkbox"/>	相談機能の充実
<input type="checkbox"/>	協働に役立つセミナー、講座の開催
<input type="checkbox"/>	インターネット・SNSでの情報の発信・共有
<input type="checkbox"/>	各種団体との交流・連携機会の提供
<input type="checkbox"/>	市民活動・協働事例の情報提供
<input type="checkbox"/>	郡山市市民活動サポートセンターの充実
<input type="checkbox"/>	学校での協働の教育
<input type="checkbox"/>	市民活動への参加の働きかけ
<input type="checkbox"/>	民間助成金の情報提供
<input type="checkbox"/>	クラウドファンディングなどの民間資金の活用
<input type="checkbox"/>	機材の提供や場所の貸し出し
<input type="checkbox"/>	その他（具体的に)

問25：その他ご意見がありましたら自由に記入してください。

※協働に関して、少子高齢化・人口減少が進行する中で必要だと思うこと、郡山市で実現したいことなど、自由に記入してください。【自由記載】

--

誰一人取り残されない「協働のまちづくり」

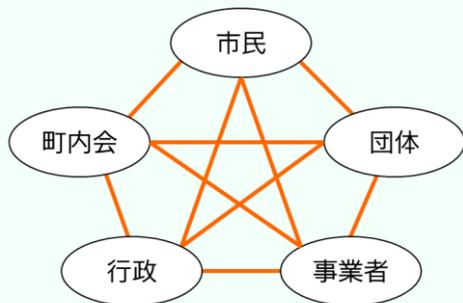
アンケートご協力をお願い

事業者の皆さまには、日ごろより本市のまちづくりにご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

郡山市は、皆さまが「このまちが好き」と思えるまちを目指して、「協働推進基本計画」を策定し、皆さまが地域のために協力して取り組む「協働のまちづくり(※)」を進めています。

この度、「郡山市協働推進基本計画」を改訂するにあたり、皆さまが「協働のまちづくり」についてどのようなお考えをお持ちになっているかをお聞きする「郡山市民意識調査(アンケート)」を実施いたします。

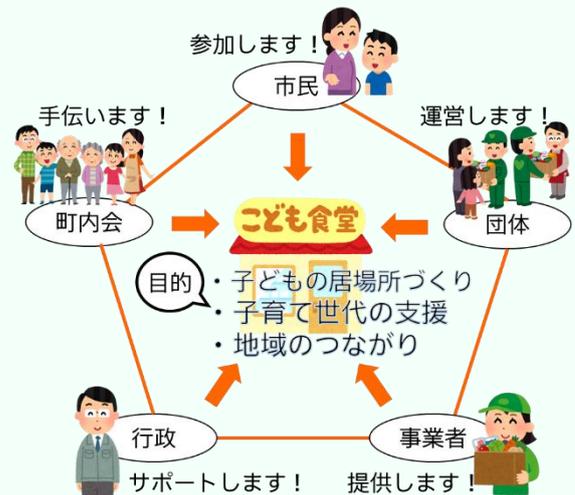
(※) 「協働のまちづくり」とは？



異なる立場の人が、同じ目的のため、それぞれの特性を生かして、協力して取り組むこと

= 協働

具体的に「子ども食堂」の場合では



この調査(アンケート)は、郡山市内に本店または支店のある事業者の中から、300 事業者を無作為に抽出しました。回答は、スマートフォン・タブレット・パソコンからお答えいただけるほか、郵送での返送も可能です。

ご多忙のところ、大変恐縮ではありますが、ぜひご協力くださるようお願いいたします。

なお、ご不明な点等ございましたら下記連絡先までお問合せください。

2024 年 7 月

(連絡先)郡山市 市民部 市民・NPO 活動推進課 市民協働推進係

〒963-8601 郡山市朝日一丁目 23 番 7 号

電話 024-924-3471 <直通> 平日 8:30~17:15

※ 配慮が必要な方は、個別にお問い合わせください。

「協働のまちづくり」アンケート調査

誰一人取り残されない協働のまちづくりのための調査にご協力ください

《事業者用》

社会貢献活動について、ご担当部署が異なる場合は、お手数ですが貴事業所内のご担当部署への転送をお願いいたします。

《重複を避けるため、回答方法①または②のどちらかで回答してください。》
※回答に当たって、住所、事業所名の記入の必要はありません。

回答方法①

スマートフォン、タブレット端末

またはパソコンにより

右のQRコードまたはURLからアクセスし、
回答してください。



回答ページに
つながります

パソコン用URL ⇒ <https://www.task-asp.net/cu/eg/lar072036.task?app=202400505>

回答方法②

①調査票を記入



②同封の返信用封筒
(切手不要)に入れる



③ポストに投函



令和6年8月23日(金)までにポストに投函してください。

○ ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

郡山市 市民部 市民・NPO活動推進課 市民協働推進係 (市役所西庁舎3階)

電話 024-924-3471 <直通> 平日8:30~17:15

※ 配慮が必要な方は、個別にお問い合わせください。

問4 問3「1. 取り組んでいる」と回答された事業所にお聞きします。

どのような社会貢献活動に取り組んでいますか。(あてはまる番号全てに○)

1. 教育・社会教育
2. 文化・芸術
3. 健康・医学、スポーツ
4. 学術・研究
5. 地域社会の活動、史跡・伝統文化保全
6. 環境
7. 災害被災地支援
8. 社会福祉、ソーシャル・インクルージョン
9. 国際交流・多文化共生
10. NPOの基盤形成
11. 政治寄附
12. 雇用創出及び技能開発、就労支援
13. 防災まちづくり、防犯
14. 人権、ヒューマン・セキュリティ
15. その他（具体的に：)

問5 問3「1. 取り組んでいる」と回答された事業所にお聞きします。

社会貢献活動に取り組んでいる理由は何ですか。(あてはまる番号全てに○)

1. 自社の知識や技術を社会に還元したいから
2. 新規顧客の獲得につながるから
3. 企業のイメージアップにつながるから
4. 従業員のモチベーション向上が期待できるから
5. 地域と良好な関係を築くことができるから
6. 社会全体の発展が会社の発展につながるから
7. 法的に義務付けられているから
8. 求職者へのアピールとなり、人材確保につながるから
9. 顧客の声を受け止めるきっかけになるから
10. 投資家の目に留まりやすくなるから
11. その他（具体的に：)

問6 社会貢献活動を行う際の課題は何ですか。(あてはまる番号全てに○)

1. 社会貢献活動の経営への戦略的な位置付け
2. 物理的（人的、資金的、時間的）な余裕
3. 事業所内の推進体制の構築
4. トップの理解
5. 活動の評価の仕方
6. 活動時のパートナーの選択
7. ICT（※）を上手に活用できない
※ICT…パソコン、スマホ、SNS（登録制のオンラインサービス。Facebook、Instagram、Xなど。）
8. その他（具体的に：)

問7 郡山市の出生数が、1985(昭和 60)年は 4,000 人を超えていたのに対して、2022(令和4)年には 2,000 人を割っています。このことについて御存知でしたか。(あてはまる番号 1 つに○)

- 1. 知っている
- 2. 知らない

問8 少子高齢化・人口減少について、貴事業所はどう受け止めていますか。
(あてはまる番号 1 つに○)

- 1. 強い危機感を持っている
- 2. 多少危機感を持っている
- 3. 危機感を持っていない
- 4. わからない

問9 貴事業所の社会貢献活動は、少子高齢化・人口減少の影響を受けていますか。
(あてはまる番号 1 つに○)

- 1. とても影響を受けている
- 2. 少し影響を受けている
- 3. 影響は受けていない
- 4. 影響を受けているか、わからない
- 5. 社会貢献活動を実施していないので、わからない

} 3、4、5を選択した場合は、問11へ

問10 問9「1. とても影響を受けている」「2. 少し影響を受けている」と回答された事業所にお聞きします。

具体的にどのような影響を受けていると感じますか。(あてはまる番号 全 てに○)

- 1. 参加者が少ない
- 2. 参加者で高齢者が多い
- 3. 若者の参加者が少ない
- 4. 十分な事業ができない
- 5. 十分な事業費がまかなえない
- 6. 交流している団体が少ない
- 7. 活動に対する住民の関心が低い
- 8. その他(具体的に：)

問 12 問 11「1. ある」「2. ないが、今後は交流したり協働で活動したりしたい」と回答された事業所にお聞きします。

交流や協働した（今後したい）相手先はどういった団体ですか。（あてはまる番号全てに○）

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 市民活動団体2. 町内会などの地縁団体3. 社会福祉法人4. 商工会議所・商工会5. 学校6. 行政（国・県・市）7. その他（具体的に： |) |
|--|---|

問 13 問 11「1. ある」「2. ないが、今後は交流したり協働で活動したりしたい」と回答された事業所にお聞きします。

交流や協働した（今後したい）理由は何ですか。（あてはまる番号全てに○）

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 同じ活動分野の団体とつながりたい2. 同じ地域で活動する団体とつながりたい3. いろいろな団体と情報交換したい4. 活動がうまくいっている団体から学びたい5. 資金面でメリットになるから6. 違う活動分野の団体と協働することで課題を解決したい7. その他（具体的に： |) |
|--|---|

問 14 問 11「1. ある」「2. ないが、今後は交流したり協働で活動したりしたい」と回答された事業所にお聞きします。

交流や協働するうえで、相手先に求めるものは何ですか。（あてはまる番号全てに○）

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 活動の目的や内容に賛同できること2. 地域住民と密接な関係を有していること3. 活動理念が明確であること4. 自分の団体の PR が期待できること5. 資金が十分にあること6. 情報公開していること7. その他（具体的に： |) |
|--|---|

問 15 郡山市では、市民活動を支援するために「郡山市市民活動サポートセンター」を設置しています。貴事業所は「サポートセンター」を知っていますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 知っている
2. 名前は知っているが、役割などは知らない
3. 知らない

問 16 貴事業所が社会貢献活動をするにあたり、郡山市市民活動サポートセンターに望むサービスは何ですか。(あてはまる番号全てに○)

1. 市民活動の相談対応
2. 啓発活動
3. セミナー、講座の開催
4. 情報発信（インターネット、SNS、広報誌など）
5. 市民や市民活動団体との交流
6. その他（具体的に：)

問 17 今後のまちづくりにおいて、貴事業所は「協働」が重要だと思いますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 重要である
2. 重要ではない
3. どちらともいえない

問 18 少子高齢化・人口減少が進む中、協働のまちづくりを推進するために、貴事業所が必要と思う行政が取り組むべきことは何ですか。(あてはまる番号全てに○)

1. 相談機能の充実
2. 協働に役立つセミナー、講座の開催
3. インターネット・SNS での情報の発信・共有
4. 各種団体との交流・連携機会の提供
5. 市民活動・協働事例の情報提供
6. 郡山市市民活動サポートセンターの充実
7. 学校での協働の教育
8. 市民活動への参加の働きかけ
9. 民間助成金の情報提供
10. クラウドファンディングなどの民間資金の活用
11. 機材の提供や場所の貸し出し
12. その他（具体的に：)

問 19 その他ご意見がありましたら自由に記入してください。

※協働に関して、少子高齢化・人口減少が進行する中で必要だと思うこと、郡山市で実現したいことなど、自由に記入してください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

恐れ入りますが、本紙を3つ折りにして、同封の返信用封筒で2024（令和6）年8月23日（金）までにご投函ください。

■編集

郡山市市民部市民・NPO活動推進課

〒963-8601

郡山市朝日一丁目23番7号

TEL.024(924)3471

FAX.024(931)5186